

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の内容	1
3. 報告書の見方	1
4. 回答要約	2
II 調査対象者の属性や家庭状況など	7
1. 居住地区	7
2. 子どもと家庭の状況	7
3. 子どもの育ちをめぐる環境	11
4. 保護者の仕事の状況	17
III 小学校入学前の児童に関する調査結果	25
1. 平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況	25
2. 地域の子育て支援事業（サービス）の利用状況	36
3. 土曜日や日曜日・祝日の教育・保育サービスの利用希望	43
4. 不定期の教育・保育サービスなどの利用について	49
5. 子どもの放課後の過ごし方について	55
6. 職場の両立支援制度について	61
7. その他	70
IV 小学生の児童に関する調査結果	72
1. 地域の子育て支援事業の利用状況	72
2. 子どもの病気の際の対応	74
3. 放課後や休日の過ごし方について	78
4. 職場の両立支援制度について	85
5. 子どもの生活について	93

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の教育・保育・子育て支援に関する現在の利用状況や、今後の希望を伺い、2020年度から5年間を期間とする「第2期紀の川市 子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料とするために実施しました。

2. 調査の内容

- 調査地域：紀の川市全域
- 調査対象者：紀の川市内在住の、
 - ①小学校入学前の児童（0～5歳）がいる世帯・保護者（1,000件）
 - ②小学生の児童（6～9歳）がいる世帯・保護者（1,000件）
- 抽出方法：住民基本台帳より、対象年齢者がいる世帯を無作為抽出
- 調査方法：郵送配布、郵送回収
- 調査期間：平成30年11月30日（金）～12月17日（月）
- 回収結果：

	配布数	有効回収数	有効回収率
小学校入学前児童の世帯	1,000	416	41.6%
小学生の世帯	1,000	406	40.6%

3. 報告書の見方

- 回答結果は、小数点以下第2位を四捨五入して、それぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても、合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合は、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ及び表の「N（number of case）」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は、文言を簡略化している場合があります。

4. 回答要約

(1) 居住地区について

問1 お住まいの地区。(1つに○)

小学校入学前の児童がいる世帯(以下、「就学前」という。)、小学生の児童がいる世帯(以下、「小学生」という。)ともに、「打田地域」が3割を超え、最も多くなっています。就学前、小学生ともに、「貴志川地域」が第2位で、いずれも3割を超えていません。

(2) 子どもと家庭の状況について

問3 子どものきょうだいの数(本人を含む)と末子の年齢(平成30年11月1日時点)。(数字で記入)

就学前では、「2人」が4割を超え、最も多くなっています。小学生では、「2人」が半数を超え、最も多くなっています。

問5 回答者の配偶関係。(1つに○)

就学前では、「配偶者がいる」が9割を超えています。小学生では、「配偶者がいる」が8割を超えています。

(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 子育てや子どもの教育に日常的に関わっている人や施設。

(○はいくつでも)

就学前では、「父母ともに」が6割を超え、最も多くなっています。小学生では、「父母ともに」が6割弱と、最も多くなっています。

問9 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人はいるか。(○はいくつでも)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前で6割近く、小学生で半数近くと、それぞれ最も多くなっています。

問10 子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所はあるか。

(1つに○)

就学前、小学生ともに、「いる/ある」が9割前後となっています。前回調査との比較では、就学前で「いる/ある」が増加しています。

(4) 保護者の仕事の状況について

問 12 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）と1年以内の希望。
（それぞれ1つに○）

<母親の現状>

「パートタイムなどで働いている」が就学前で4割近く、小学生で半数近くと、それぞれ最も多くなっています。前回調査との比較では、就学前で「パートタイムなどで働いている」が増加し、「フルタイムで働いている」と「専業主婦」が減少しています。小学生で「フルタイムで働いている」と「パートタイムなどで働いている」が増加し、「専業主婦」が減少しています。

<父親の現状>

就学前、小学生ともに「フルタイムで働いている」が8割を超えています。前回調査との比較では、就学前で「パートタイムなどで働いている」が増加し、「フルタイムで働いている」と「専業主夫」が減少しています。小学生で「パートタイムなどで働いている」が増加し、「フルタイムで働いている」が減少しています。

(5) 平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況について

問 14（就学前） 子どもの幼稚園や保育所、認定こども園などの利用の有無。
（1つに○）

「利用している」が7割近くとなっています。前回調査との比較では、「利用している」が7.5ポイント増加しています。

問 14-1（就学前） 子どもが、現在、定期的に利用しているサービスと、今後利用したいサービス。（○はいくつでも）

定期的に利用しているサービスでは、「公立の認可保育所」が4割を超え、最も多くなっています。「公立の認可保育所」と「私立の認可保育所」を合わせると、7割を超えています。今後利用したいサービスでは、「公立の認可保育所」が4割を超え、「公立の認可保育所」と「私立の認可保育所」を合わせると、7割を超えています。現状と希望の大きな乖離はみられませんでした。

（6）地域の子育て支援事業（サービス）の利用状況について

問 18（就学前）／問 14（小学生）

地域子育て支援センターの利用の有無（1つに○）と、利用したことがある人の利用頻度（数字で記入）。

<就学前>

「利用したことがある」と「利用したことはない」が、いずれも半数近くとなっています。前回調査との比較では、「利用したことがある」が 35.7 ポイントと、大幅に増加しています。

<小学生>

「利用したことがある」が、3割近くとなっています。

問 18（就学前） 地域子育て支援センターの利用意向（1つに○）と、希望の利用頻度（数字で記入）。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が6割近くとなっています。前回調査との比較では、「利用していないが、今後利用したい」が 9.5 ポイント減少し、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 5.7 ポイント増加しています。

（7）土曜日や日曜日・祝日の教育・保育サービスの利用希望について

問 21（就学前） 土曜日や日曜日・祝日の定期的な教育・保育サービスの利用希望（それぞれ1つに○）と、利用希望時間（数字で記入）。

「利用する必要はない」が土曜日で6割近く、日曜日・祝日で7割以上となっています。前回調査との比較では、土曜日に「利用する必要はない」と答えた人が 8.3 ポイント減少し、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」がやや増加しています。日曜日・祝日に「利用する必要はない」と答えた人がほぼ前回並みで、「ほぼ毎週利用したい」がやや減少、「月に1～2回は利用したい」がやや増加しています。

(8) 子どもの放課後の過ごし方について

- 問 26 (就学前) 子どもが小学校に上がった後、放課後の時間をどこで過ごさせたいか。(子どもが5歳以上の人への質問)
(○はいくつでも)
- 問 17 (小学生) 子どもに放課後の時間をどこで過ごさせたいか。
(○はいくつでも)

<就学前>

低学年(1~3年生)の間は、「自宅」と「放課後児童クラブ(学童保育)」がともに半数近くとなっており、「習い事」が3割近くとなっています。前回調査との比較では、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」と「習い事」が2ケタ(10.0ポイント以上)の減少となり、「放課後児童クラブ(学童保育)」が8.1ポイント増加しています。

高学年(4~6年生)の間は、「自宅」が半数近く、「習い事」が4割近く、「放課後児童クラブ(学童保育)」が2割近くとなっています。前回調査との比較では、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」と「習い事」が20.0ポイント以上の減少となっており、「放課後児童クラブ(学童保育)」が10.0ポイント近い減少となっています。

<小学生>

低学年(1~3年生)の間は、「自宅」が7割近くとなっており、「習い事」が6割近く、「放課後児童クラブ(学童保育)」が4割近くとなっています。前回調査との比較では、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」と「放課後児童クラブ(学童保育)」が増加しており、なかでも「自宅」が10.0ポイント近い増加となっています。

高学年(4~6年生)の間は、「自宅」が8割近く、「習い事」が6割近く、「祖父母宅や友人・知人宅」が3割近くとなっています。前回調査との比較では、「自宅」と「放課後児童クラブ(学童保育)」が増加しており、なかでも「放課後児童クラブ(学童保育)」が2ケタの増加となっています。

(9) 職場の両立支援制度について

- 問 28 (就学前) / 問 19 (小学生)

子どもが生まれた時の育児休業取得の有無。(それぞれ1つに○)

<就学前>

母親では、「働いていなかった」が半数近くとなっており、「取得した(取得中である)」が4割近くとなっています。前回調査との比較では、「働いていなかった」が減少し、「取得した(取得中である)」が10.0ポイント以上の増加となっています。

父親では、「取得していない」が9割近くとなっています。前回調査との比較では、「取得した(取得中である)」と「取得しない」がやや増加しています。

<小学生>

母親では、「働いていなかった」が6割近くとなっており、「取得した(取得中である)」が2割強、「取得していない」が1割近くとなっています。前回調査との比較では、「働いていなかった」が減少し、「取得した(取得中である)」と「取得していない」がやや増加しています。

父親では、「取得していない」が9割近くとなっています。前回調査との比較では、「取得した(取得中である)」がやや増加しています。

(10) 子どもの生活について

問 20 (小学生) 過去1年間に、お金がなくて家族が必要とする食料や衣服が買えないことがあったか。(1つに○)

「なかった」が9割近くと、最も多くなっています。「年に1～3回ぐらいあった」が6.8%となっています。

問 23 (小学生) 子どもにかかる費用のうち、経済的に負担が大きいと感じるものは何か。(○はいくつでも)

「学習塾や習い事にかかる費用」が7割近くと、最も多くなっています。「制服・体操服の購入費」が4割近く、「給食費等の学校の諸経費」が2割近くとなっています。

(11) その他について

問 30 (就学前) / 問 25 (小学生)

紀の川市の子育ての環境や支援制度への満足度。(5段階評価)

就学前、小学生とも、「満足度3」(普通)が最も多くなっています。前回調査との比較では、就学前、小学生とも、「3」(普通)、「4」(やや高い)と「5」(高い)が増加しています。

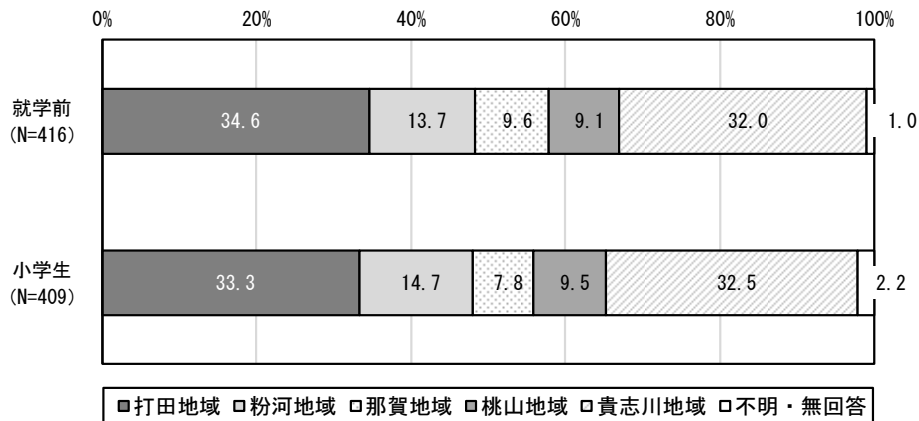
Ⅱ 調査対象者の属性や家庭状況など

1. 居住地区

問1 お住まいの地区。(1つに〇)

就学前では、「打田地域」が34.6%と最も多く、次いで「貴志川地域」が32.0%、「粉河地域」が13.7%となっています。

小学生では、「打田地域」が33.3%と最も多く、次いで「貴志川地域」が32.5%、「粉河地域」が14.7%となっています。

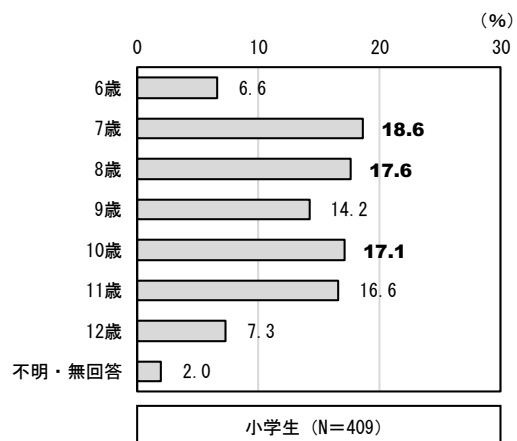
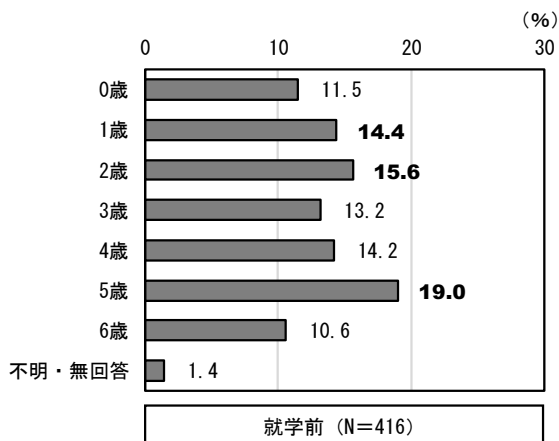


2. 子どもと家庭の状況

問2 子どもの年齢(平成30年11月1日時点)。(数字で記入)

就学前では、「5歳」が19.0%と最も多く、次いで「2歳」が15.6%、「1歳」が14.4%となっています。

小学生では、「7歳」が18.6%と最も多く、次いで「8歳」が17.6%、「10歳」が17.1%となっています。



問3 子どものきょうだいの数（本人を含む）と末子の年齢（2人以上の子どもがいる場合。平成30年11月1日時点）。（数字で記入）

<きょうだいの数>

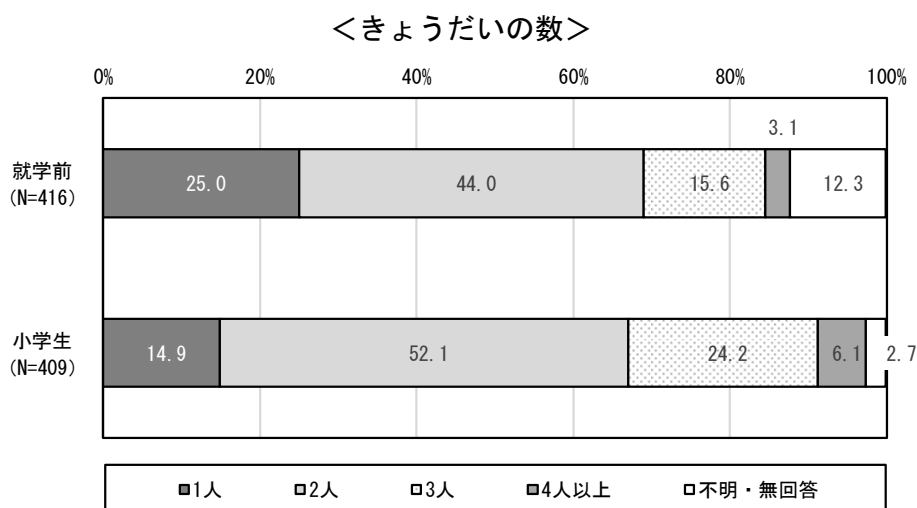
就学前では、「2人」が44.0%と最も多く、次いで「1人」が25.0%、「3人」が15.6%となっています。

小学生では、「2人」が52.1%と最も多く、次いで「3人」が24.2%、「1人」が14.9%となっています。

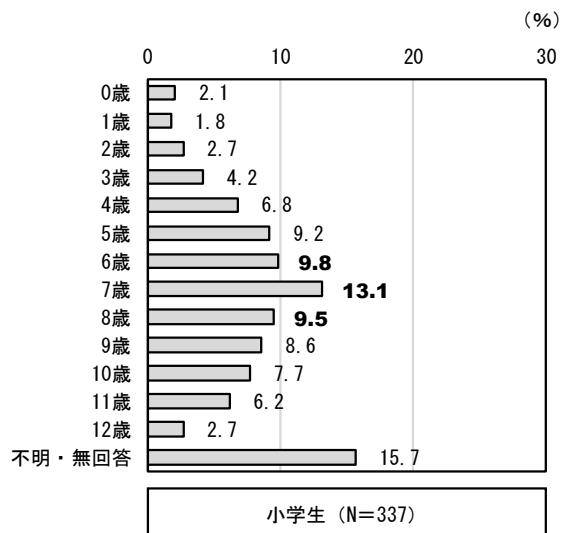
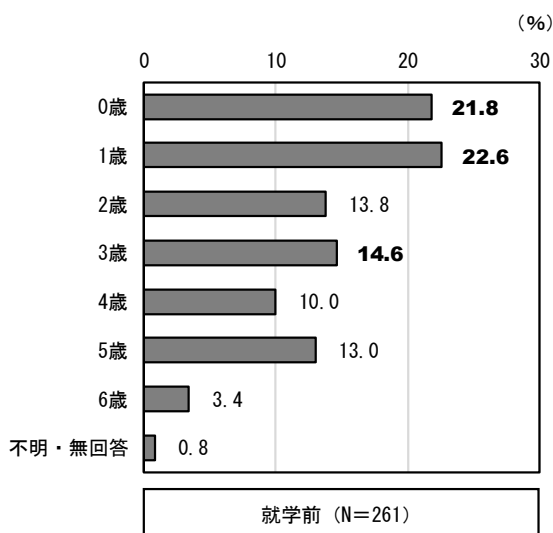
<末子の年齢>

就学前では、「1歳」が22.6%と最も多く、次いで「0歳」が21.8%、「3歳」が14.6%となっています。

小学生では、「7歳」が13.1%と最も多く、次いで「6歳」が9.8%、「8歳」が9.5%となっています。



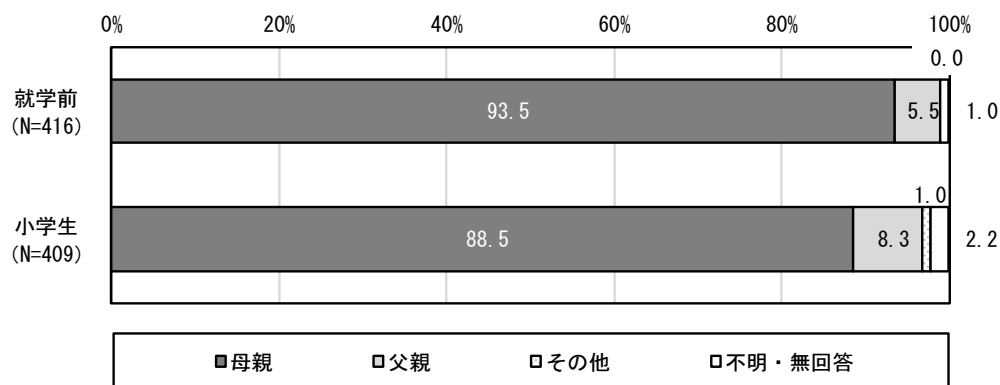
<末子の年齢>



問4 回答者の内訳（子どもからみた関係）。（1つに〇）

就学前では、「母親」が93.5%、「父親」が5.5%となっています。

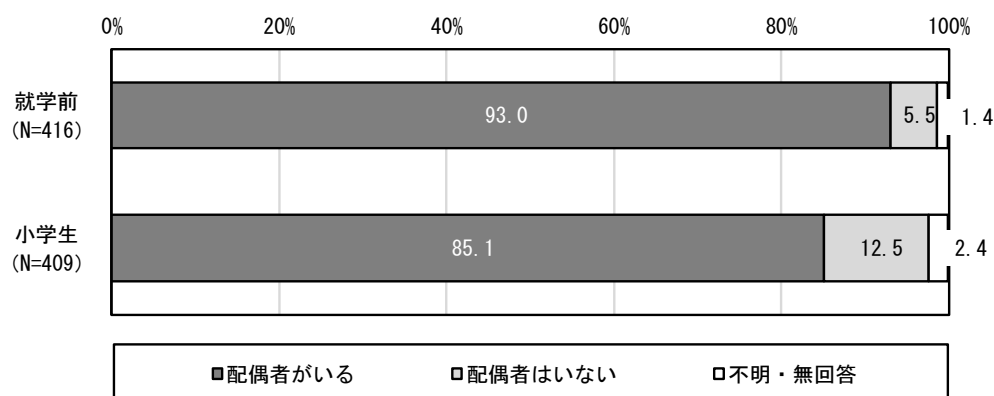
小学生では、「母親」が88.5%、「父親」が8.3%、「その他」が1.0%となっています。



問5 回答者の配偶関係。（1つに〇）

就学前では、「配偶者がいる」が93.0%、「配偶者はいない」が5.5%となっています。

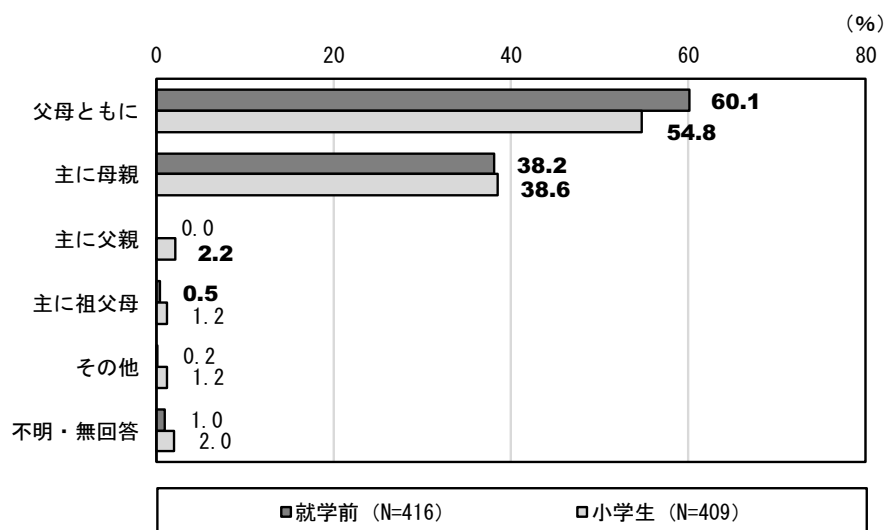
小学生では、「配偶者がいる」が85.1%、「配偶者はいない」が12.5%となっています。



問6 子どもの子育てや教育を主に行っている人。(1つに○)

就学前では、「父母ともに」が60.1%と最も多く、次いで「主に母親」が38.2%、「主に祖父母」が0.5%となっています。

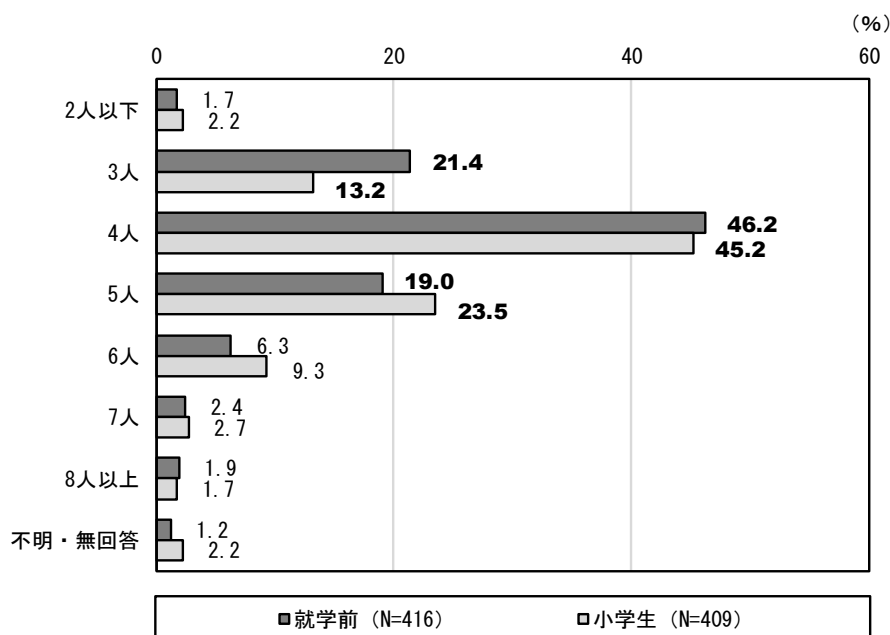
小学生では、「父母ともに」が54.8%と最も多く、次いで「主に母親」が38.6%、「主に父親」が2.2%となっています。



問7 世帯人数。(数字で記入)

就学前では、「4人」が46.2%と最も多く、次いで「3人」が21.4%、「5人」が19.0%となっています。

小学生では、「4人」が45.2%と最も多く、次いで「5人」が23.5%、「3人」が13.2%となっています。



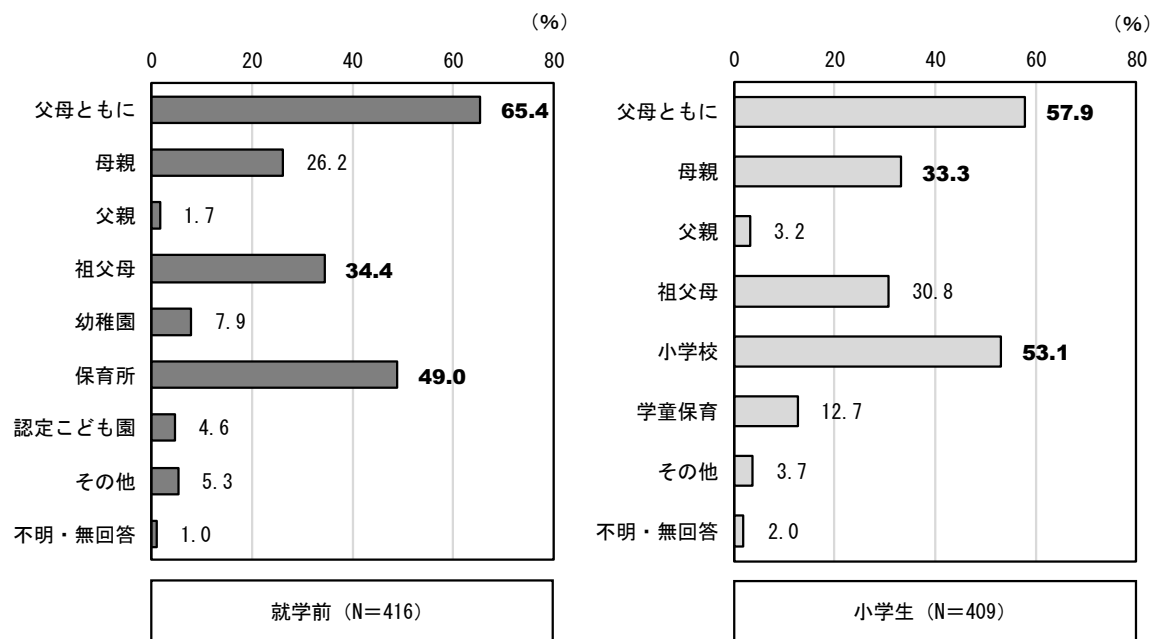
3. 子どもの育ちをめぐる環境

問8 子育てや子どもの教育に日常的に関わっている人や施設。

(〇はいくつでも)

就学前では、「父母ともに」が65.4%と最も多く、次いで「保育所」が49.0%、「祖父母」が34.4%となっています。

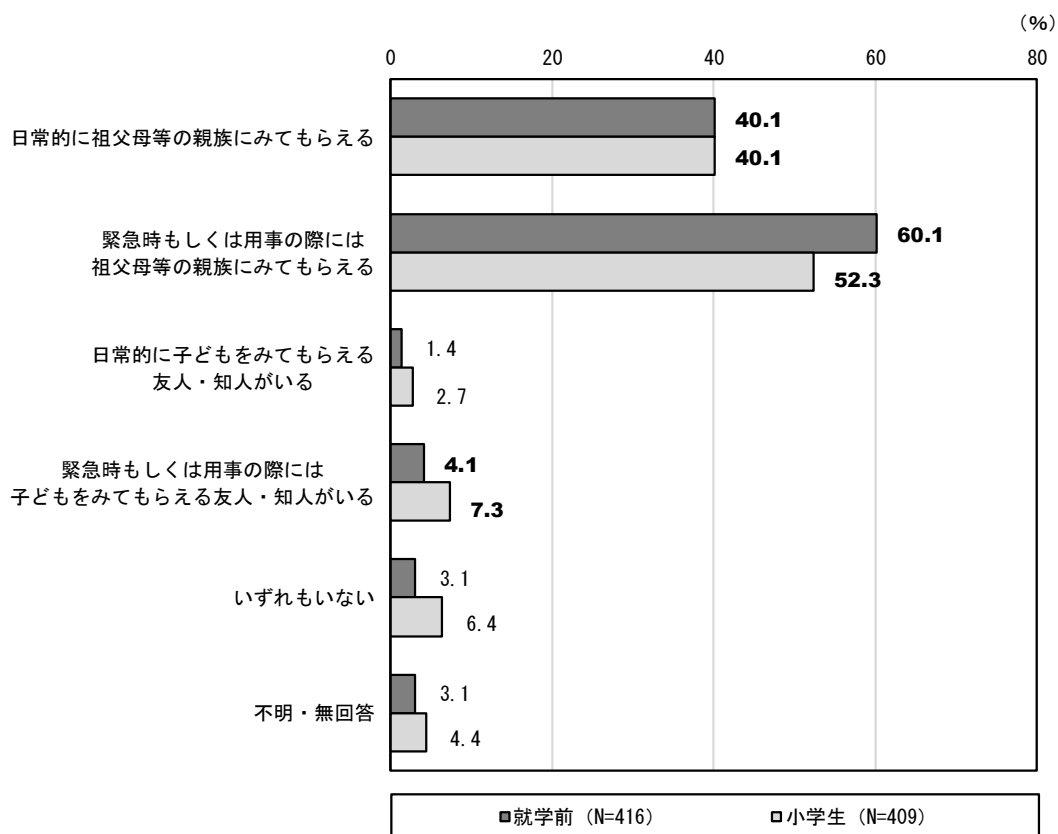
小学生では、「父母ともに」が57.9%と最も多く、次いで「小学校」が53.1%、「母親」が33.3%となっています。



問9 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人はいるか。(〇はいくつでも)

就学前では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が60.1%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が40.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が4.1%となっています。

小学生では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が52.3%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が40.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が7.3%となっています。

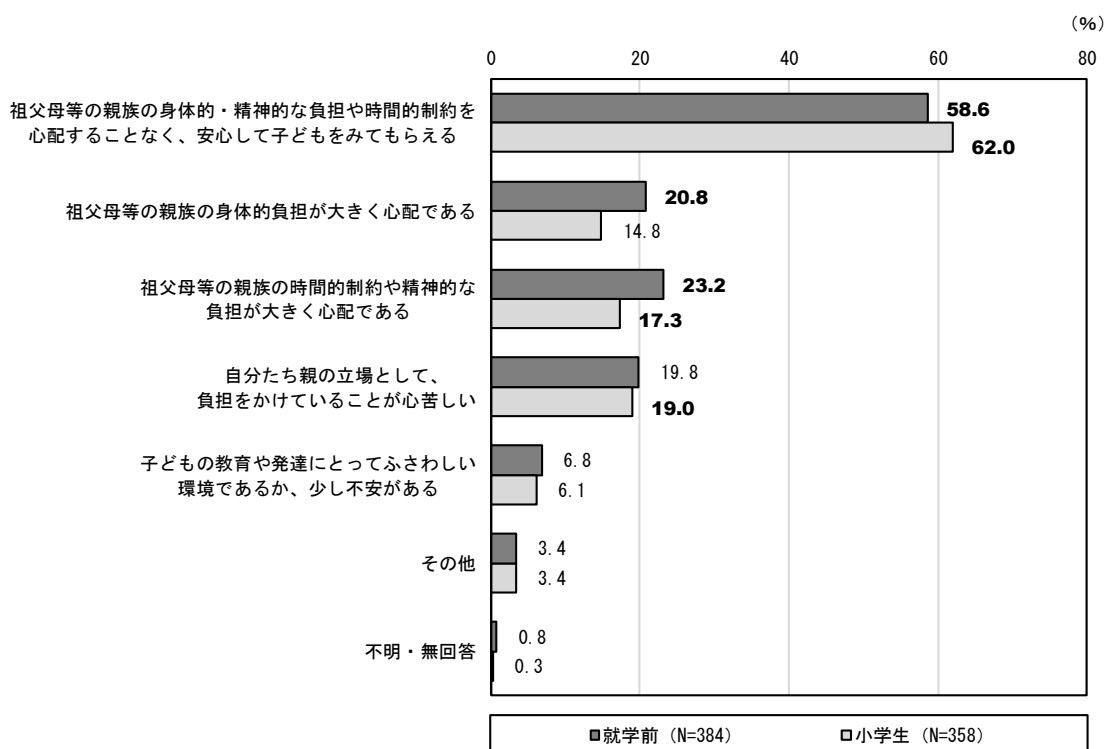


問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた人への質問

問9-1 子どもをみてもらっている状況。(○はいくつでも)

就学前では、「(祖父母等の親族の) 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が58.6%と最も多く、次いで「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が23.2%、「身体的負担が大きく心配である」が20.8%となっています。

小学生では、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が62.0%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が19.0%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が17.3%となっています。

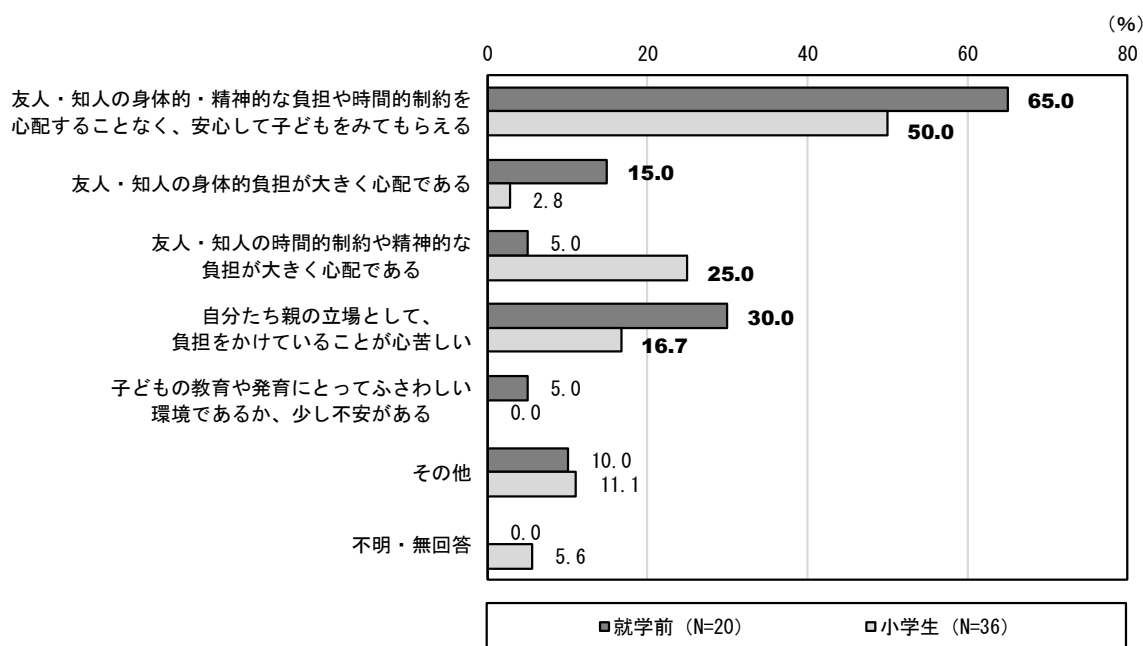


問9で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた人への質問

問9-2 友人・知人に子どもみてもらっている状況。(○はいくつでも)

就学前では、「(友人・知人の) 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が65.0%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が30.0%、「身体的負担が大きく心配である」が15.0%となっています。

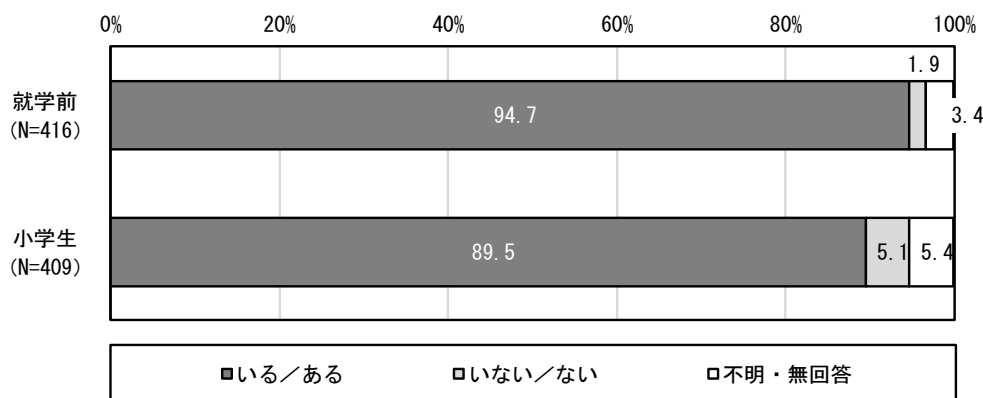
小学生では、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が50.0%と最も多く、次いで「身体的負担が大きく心配である」が25.0%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が16.7%となっています。



問 10 子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所はあるか。

(1つに○)

就学前では、「いる／ある」が94.7%、「いない／ない」が1.9%となっています。
小学生では、「いる／ある」が89.5%、「いない／ない」が5.1%となっています。

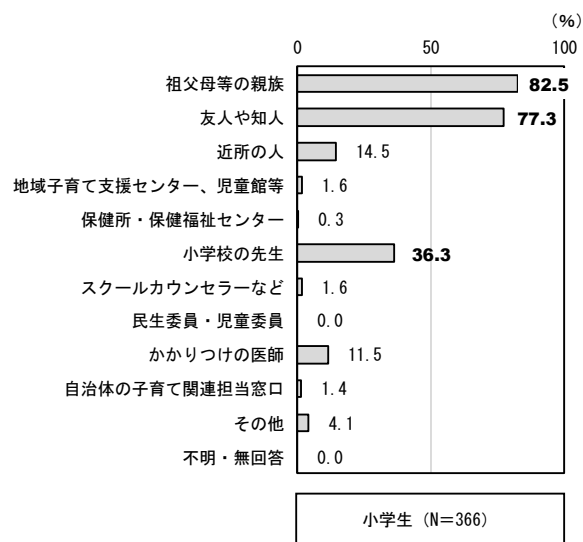
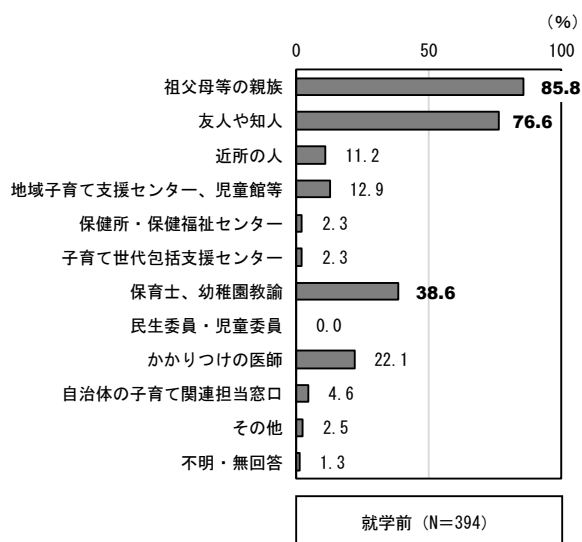


問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた人への質問

問 10-1 気軽に相談できる先は、誰（どこ）か。(○はいくつでも)

就学前では、「祖父母等の親族」が85.8%と最も多く、次いで「友人や知人」が76.6%、「保育士、幼稚園教諭」が38.6%となっています。

小学生では、「祖父母等の親族」が82.5%と最も多く、次いで「友人や知人」が77.3%、「小学校の先生」が36.3%となっています。

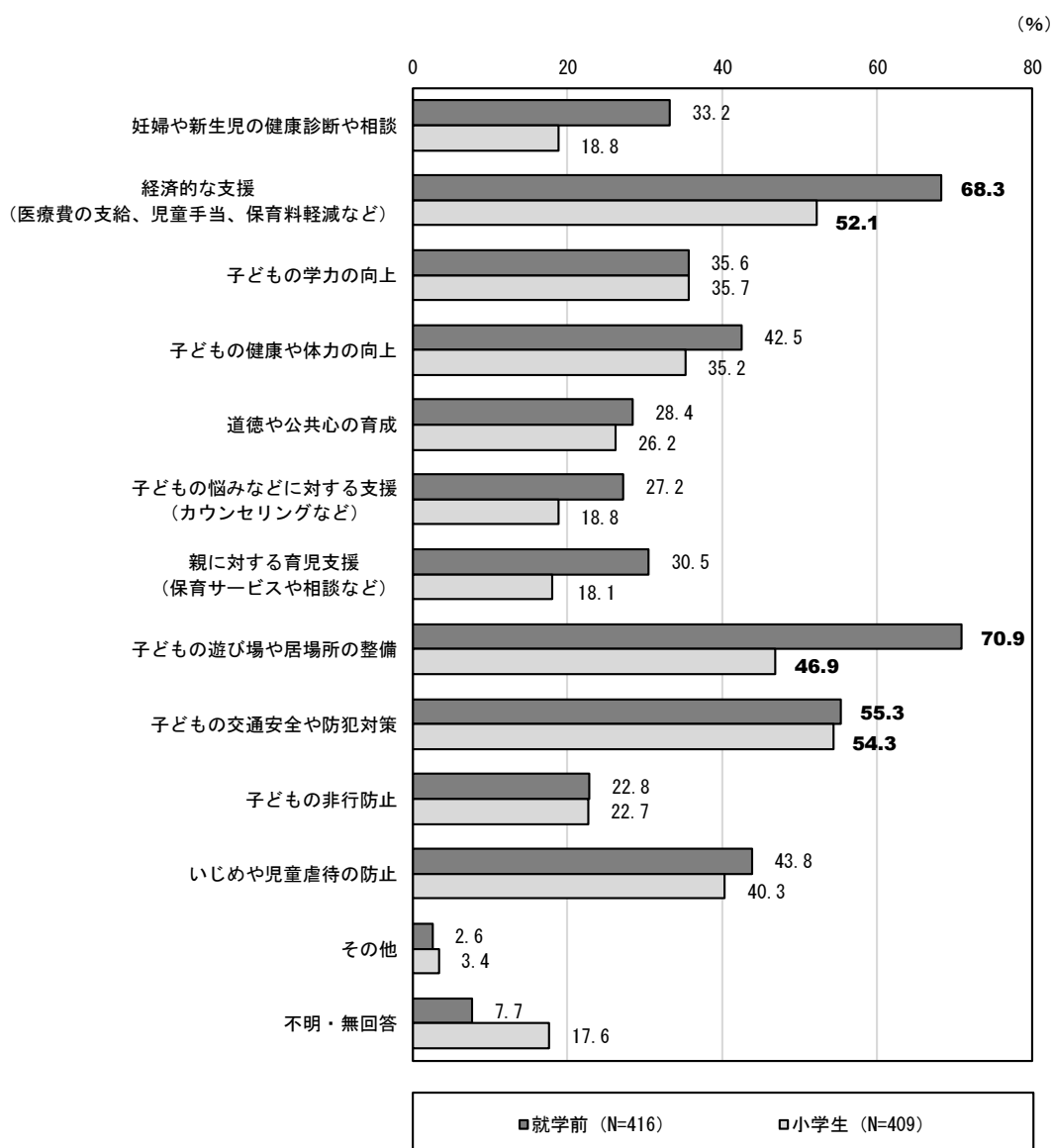


問11 子育てや教育をする上で、行政に希望するサポート。

(〇はいくつでも)

就学前では、「子どもの遊び場や居場所の整備」が70.9%と最も多く、次いで「経済的な支援（医療費の支給、児童手当、保育料軽減など）」が68.3%、「子どもの交通安全や防犯対策」が55.3%となっています。

小学生では、「子どもの交通安全や防犯対策」が54.3%と最も多く、次いで「経済的な支援」が52.1%、「子どもの遊び場や居場所の整備」が46.9%となっています。



4. 保護者の仕事の状況

問 12 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）と1年以内の希望。
（それぞれ1つに○）

<母親の現状>

就学前では、「パートタイムなどで働いている」が37.0%と最も多く、次いで「専業主婦」が30.3%、「フルタイムで働いている」が26.4%となっています。

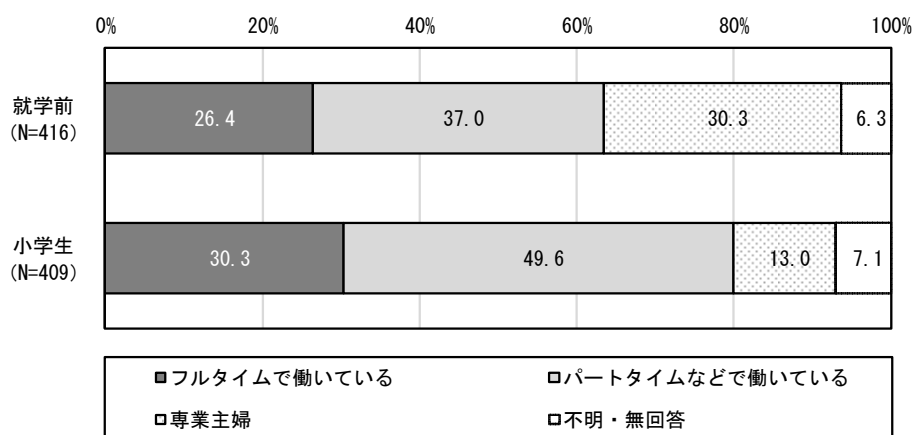
小学生では、「パートタイムなどで働いている」が49.6%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が30.3%、「専業主婦」が13.0%となっています。

<父親の現状>

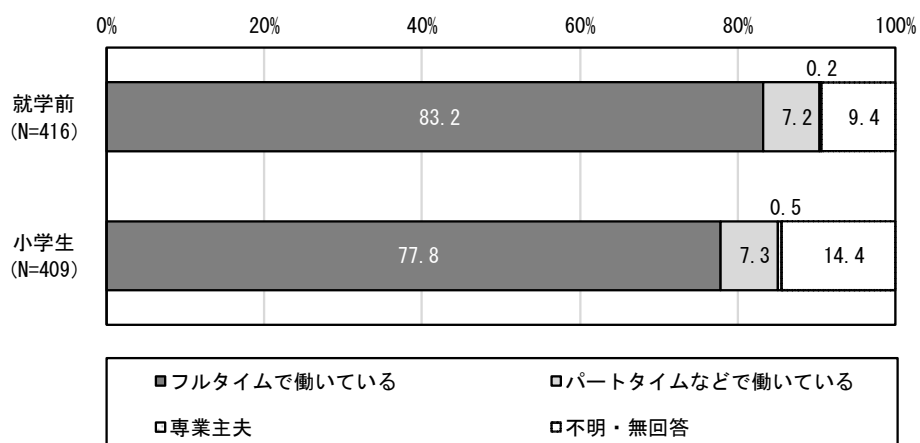
就学前では、「フルタイムで働いている」が83.2%と最も多く、次いで「パートタイムなどで働いている」が7.2%、「専業主夫」が0.2%となっています。

小学生では、「フルタイムで働いている」が77.8%と最も多く、次いで「パートタイムなどで働いている」が7.3%、「専業主夫」が0.5%となっています。

<母親／現状>



<父親／現状>



【前回調査との比較】

前回の調査（平成26年2月実施）との比較でみると、以下の通りとなっています。

<母親の現状>

就学前では、「フルタイムで働いている」が1.7ポイント減、「パートタイムなどで働いている」が7.4ポイント増、「専業主婦」が10.6ポイント減となっています。

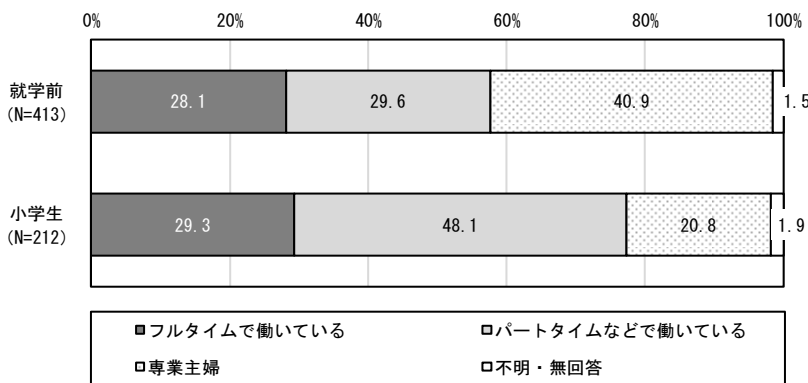
小学生では、「フルタイムで働いている」が1.0ポイント増、「パートタイムなどで働いている」が1.5ポイント増、「専業主婦」が7.8ポイント減となっています。

<父親の現状>

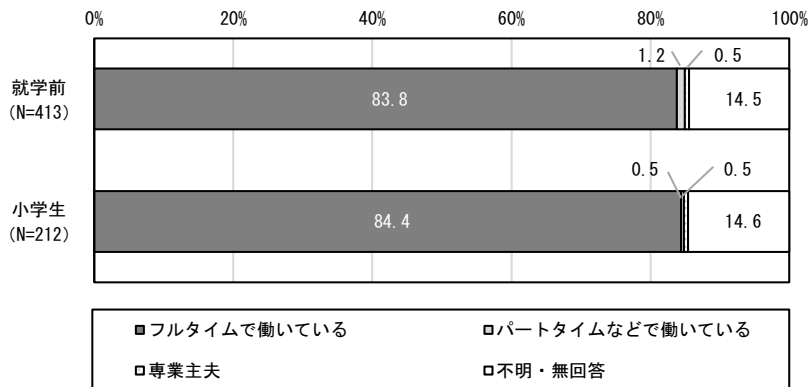
就学前では、「フルタイムで働いている」が0.6ポイント減、「パートタイムなどで働いている」が6.0ポイント増、「専業主夫」が0.3ポイント減となっています。

小学生では、「フルタイムで働いている」が6.6ポイント減、「パートタイムなどで働いている」が6.8ポイント増、「専業主夫」が前回並み（±0ポイント）となっています。

前回調査の結果<母親/現状>



前回調査の結果<父親/現状>



<母親の希望>

就学前では、「パートタイムなどで働きたい」が46.2%と最も多く、次いで「フルタイムで働きたい」が27.9%、「専業主婦」が13.0%となっています。

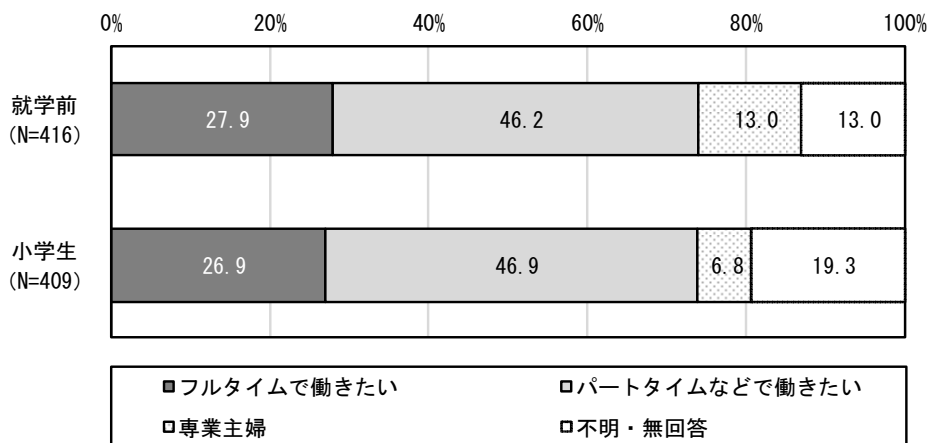
小学生では、「パートタイムなどで働きたい」が46.9%と最も多く、次いで「フルタイムで働きたい」が26.9%、「専業主婦」が6.8%となっています。

<父親の希望>

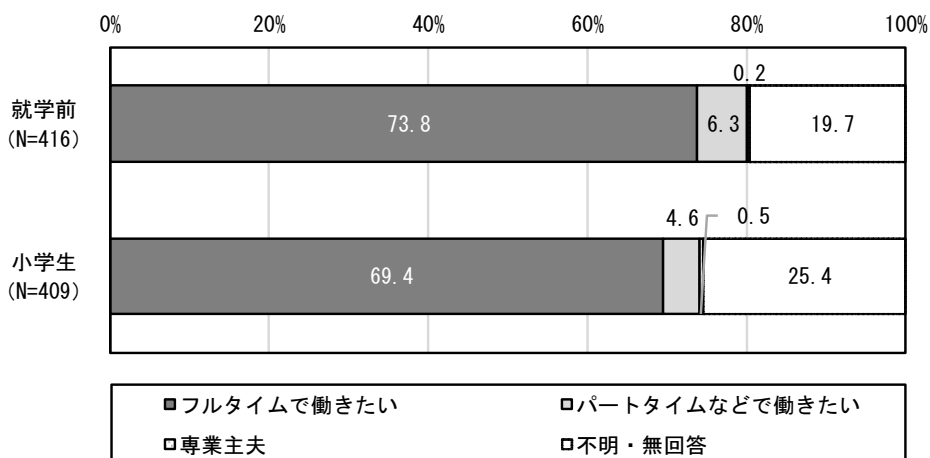
就学前では、「フルタイムで働きたい」が73.8%と最も多く、次いで「パートタイムなどで働きたい」が6.3%、「専業主夫」が0.2%となっています。

小学生では、「フルタイムで働きたい」が69.4%と最も多く、次いで「パートタイムなどで働きたい」が4.6%、「専業主夫」が0.5%となっています。

<母親／希望>



<父親／希望>



問 12 で「パートタイムなどで働いている（働きたい）」と答えた人への質問

問 12-2 1日の勤務時間と1週間の勤務日数（現状と希望）。（数字で記入）

<母親の勤務時間／現状>

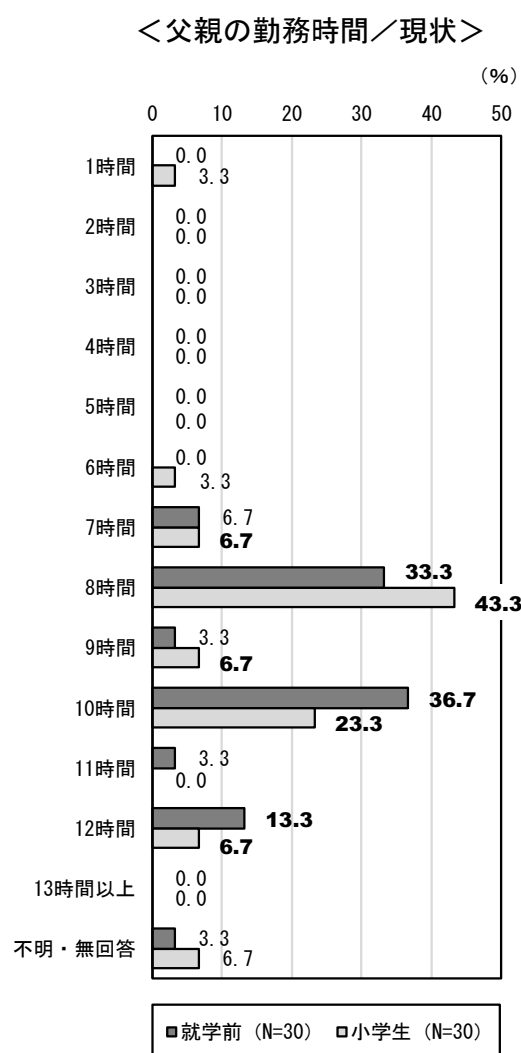
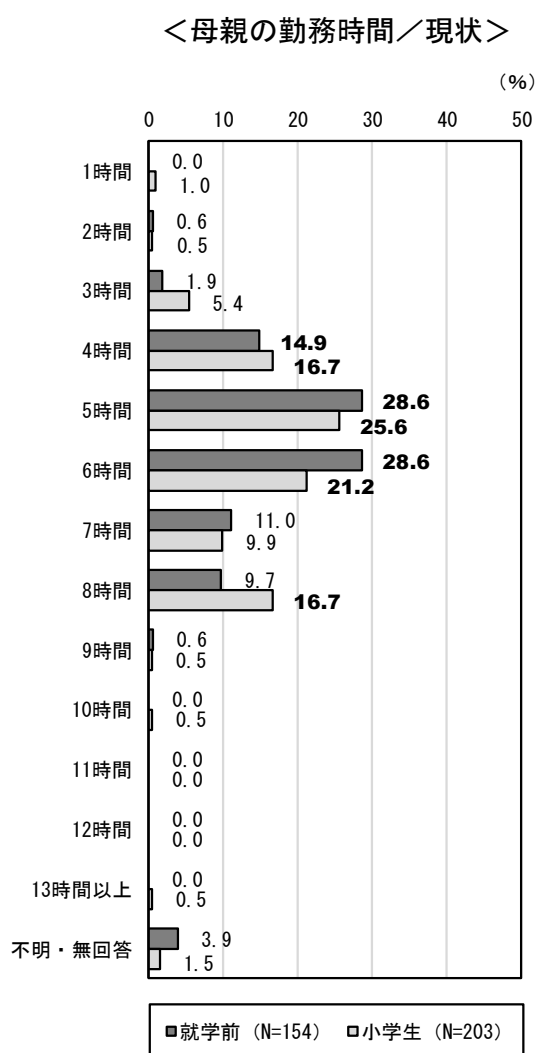
就学前では、「5時間」と「6時間」がともに28.6%と最も多く、次いで「4時間」が14.9%となっています。

小学生では、「5時間」が25.6%と最も多く、次いで「6時間」が21.2%、「4時間」と「8時間」がともに16.7%となっています。

<父親の勤務時間／現状>

就学前では、「10時間」が36.7%と最も多く、次いで「8時間」が33.3%、「12時間」が13.3%となっています。

小学生では、「8時間」が43.3%と最も多く、次いで「10時間」が23.3%、「7時間」「9時間」と「12時間」がいずれも6.7%となっています。



<母親の勤務日数／現状>

就学前では、「5日」が 51.9%と最も多く、次いで「4日」が 29.2%、「3日」が 8.4%となっています。

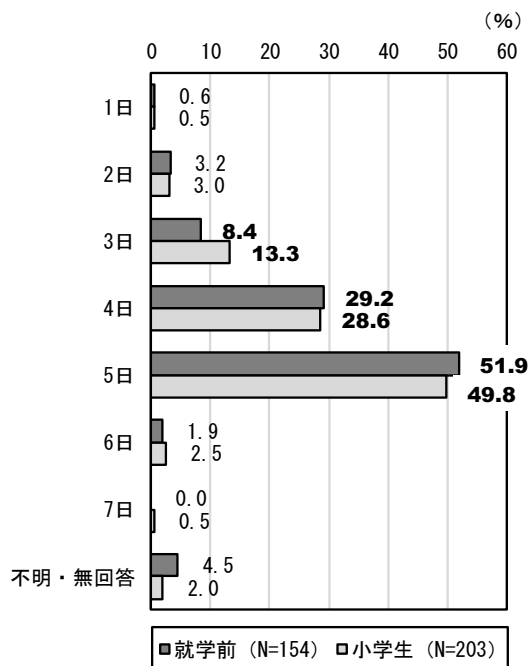
小学生では、「5日」が 49.8%と最も多く、次いで「4日」が 28.6%、「3日」が 13.3%となっています。

<父親の勤務日数／現状>

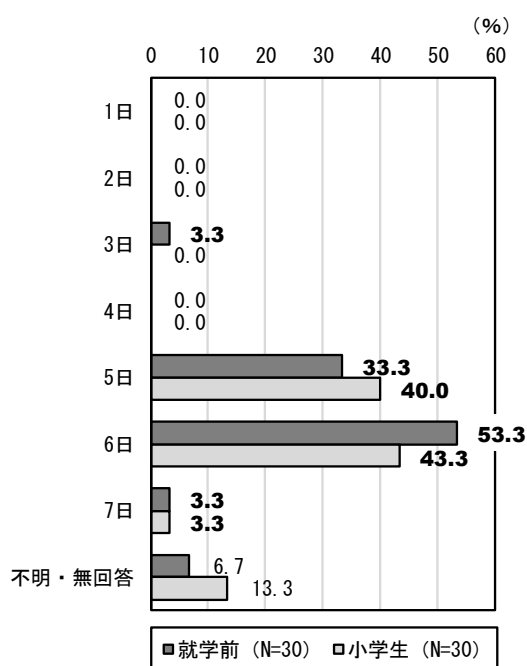
就学前では、「6日」が 53.3%と最も多く、次いで「5日」が 33.3%、「3日」と「7日」がともに 3.3%となっています。

小学生では、「6日」が 43.3%と最も多く、次いで「5日」が 40.0%、「7日」が 3.3%となっています。

<母親の勤務日数／現状>



<父親の勤務日数／現状>



<母親の勤務時間／希望>

就学前では、「5時間」が28.6%と最も多く、次いで「6時間」が28.1%、「4時間」が16.1%となっています。

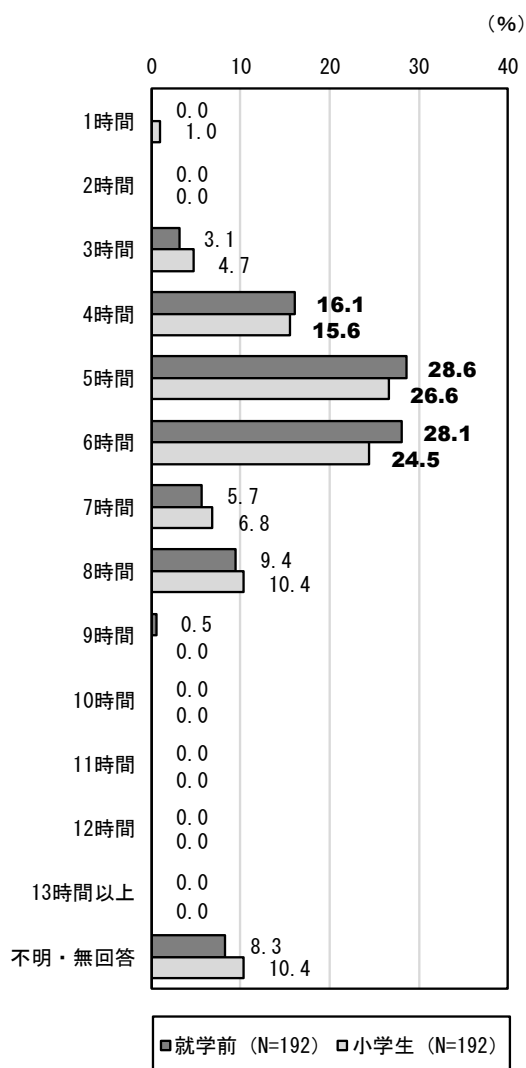
小学生では、「5時間」が26.6%と最も多く、次いで「6時間」が24.5%、「4時間」が15.6%となっています。

<父親の勤務時間／希望>

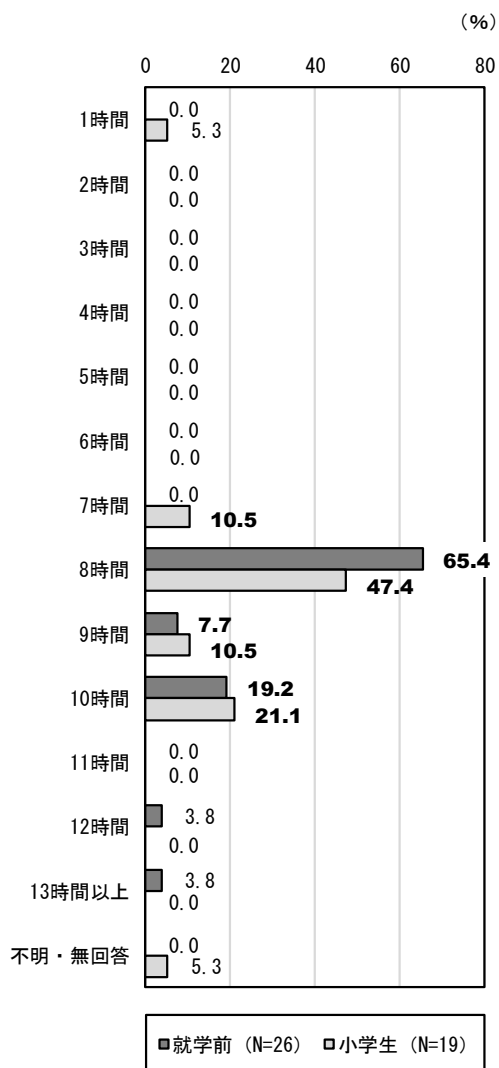
就学前では、「8時間」が65.4%と最も多く、次いで「10時間」が19.2%、「9時間」が7.7%となっています。

小学生では、「8時間」が47.4%と最も多く、次いで「10時間」が21.1%、「7時間」と「9時間」がともに10.5%となっています。

<母親の勤務時間／希望>



<父親の勤務時間／希望>



<母親の勤務日数／希望>

就学前では、「5日」が42.2%と最も多く、次いで「4日」が30.7%、「3日」が14.6%となっています。

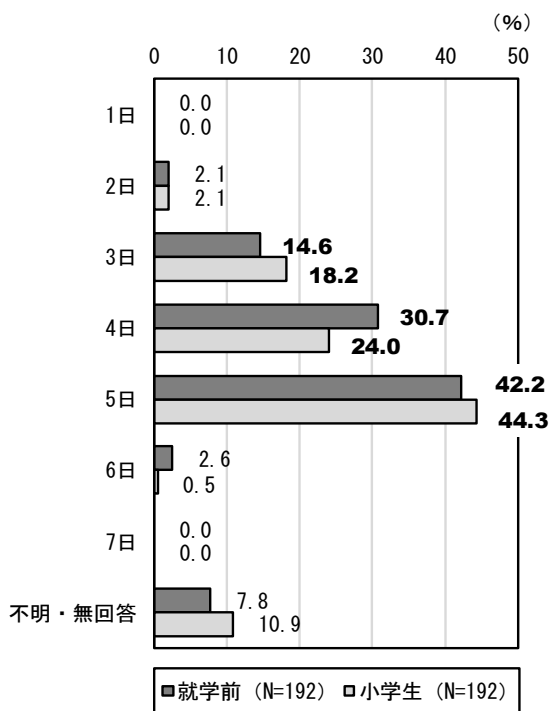
小学生では、「5日」が44.3%と最も多く、次いで「4日」が24.0%、「3日」が18.2%となっています。

<父親の勤務日数／希望>

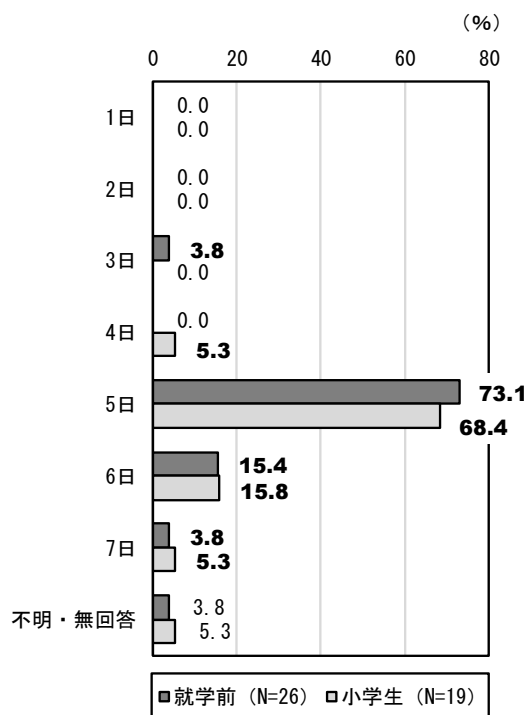
就学前では、「5日」が73.1%と最も多く、次いで「6日」が15.4%、「3日」と「7日」がともに3.8%となっています。

小学生では、「5日」が68.4%と最も多く、次いで「6日」が15.8%、「4日」と「7日」がともに5.3%となっています。

<母親の勤務日数／希望>



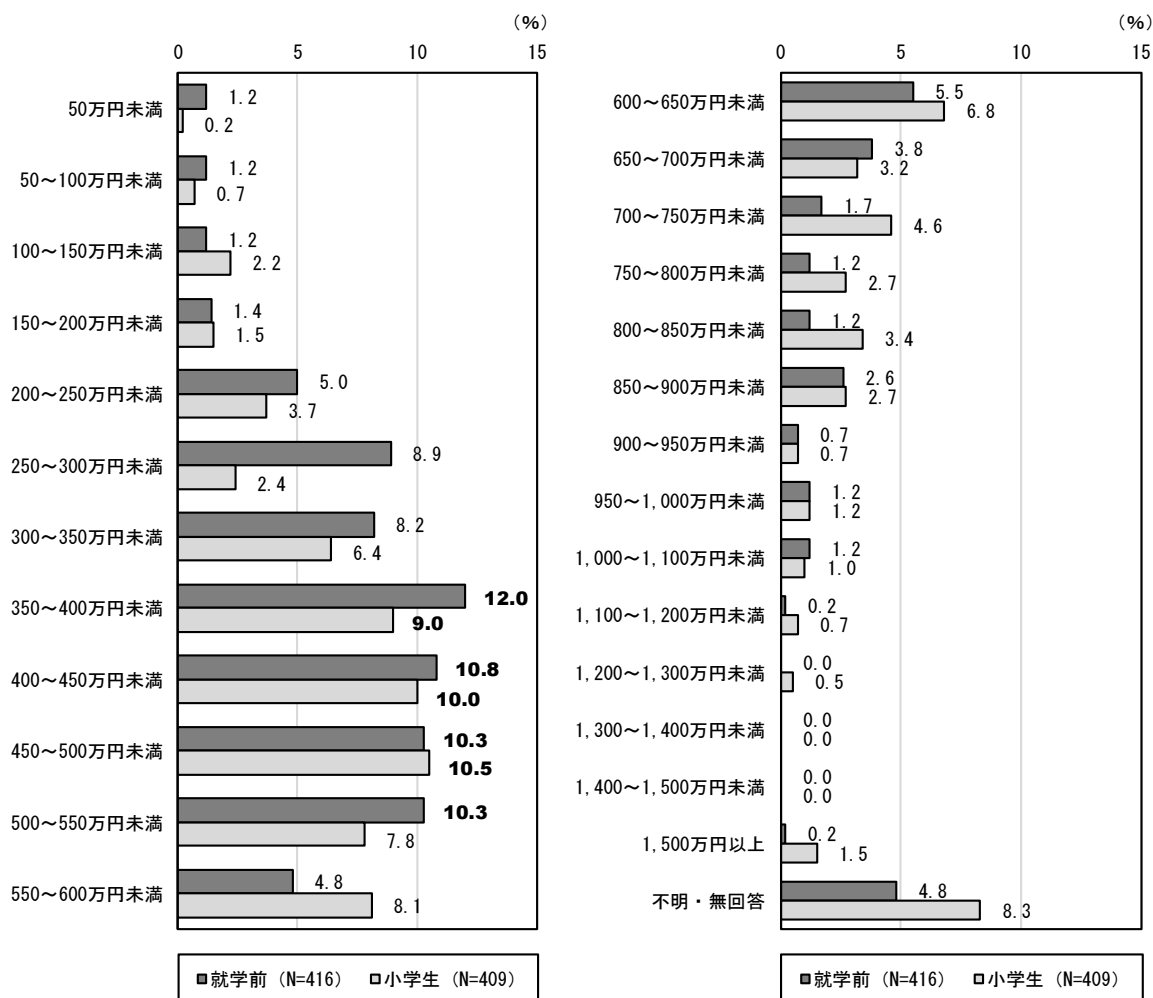
<父親の勤務日数／希望>



問 13 2017 年の世帯収入の合計額（手取り収入）。（1つに○）

就学前では、「350～400万円未満」が12.0%と最も多く、次いで「450～500万円未満」が10.8%、「450～500万円未満」と「500～550万円未満」がともに10.3%となっています。

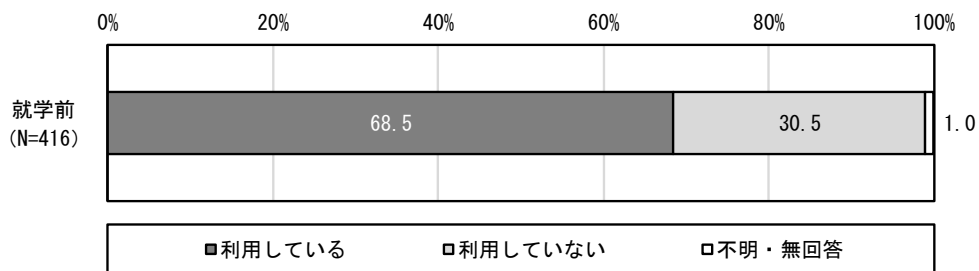
小学生では、「450～500万円未満」が10.5%と最も多く、次いで「400～450万円未満」が10.0%、「350～400万円未満」が9.0%となっています。



Ⅲ 小学校入学前の児童に関する調査結果

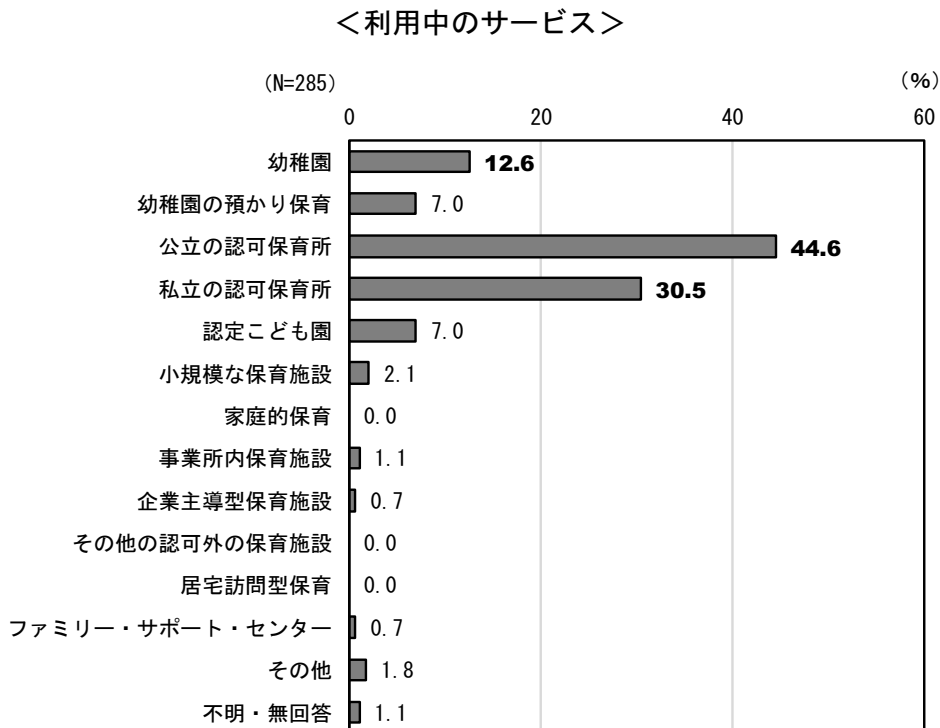
1. 平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況

問 14 子どもの幼稚園や保育所、認定こども園などの利用の有無。(1つに○)
 「利用している」が68.5%、「利用していない」が30.5%となっています。



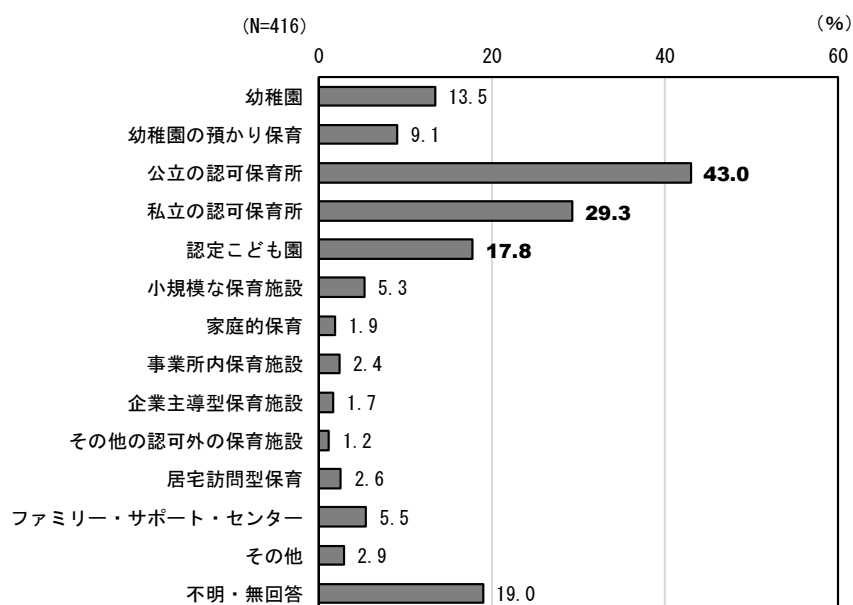
問 14-1 子どもが、現在、定期的に利用しているサービスと、今後利用したいサービス。(○はいくつでも)

利用しているサービスでは、「公立の認可保育所」が44.6%と最も多く、次いで「私立の認可保育所」が30.5%、「幼稚園」が12.6%となっています。



利用を希望するサービスでは、「公立の認可保育所」が 43.0%と最も多く、次いで「私立の認可保育所」が 29.3%、「認定こども園」が 17.8%となっています。

<利用を希望するサービス>



【前回調査との比較】

前回の調査との比較でみると、以下の通りとなっています。

	前回 (%) (N=415)	今回 (%) (N=416)	対前回比 (ポイント)
幼稚園	22.9	13.5	▲9.4
幼稚園の預かり保育	12.3	9.1	▲3.2
公立の認可保育所	75.9	72.3	▲3.6
私立の認可保育所			
認定こども園	10.1	17.8	7.7
小規模な保育施設	-	5.3	-
家庭的保育	2.4	1.9	▲0.5
事業所内保育施設	6.0	2.4	▲3.6
企業主導型保育施設	1.9	1.7	▲0.2
その他の認可外の保育施設	1.2	1.2	0.0
居宅訪問型保育	2.7	2.6	▲0.1
ファミリー・サポート・センター	9.9	5.5	▲4.4
その他	1.4	2.9	1.5
不明・無回答	4.1	19.0	14.9

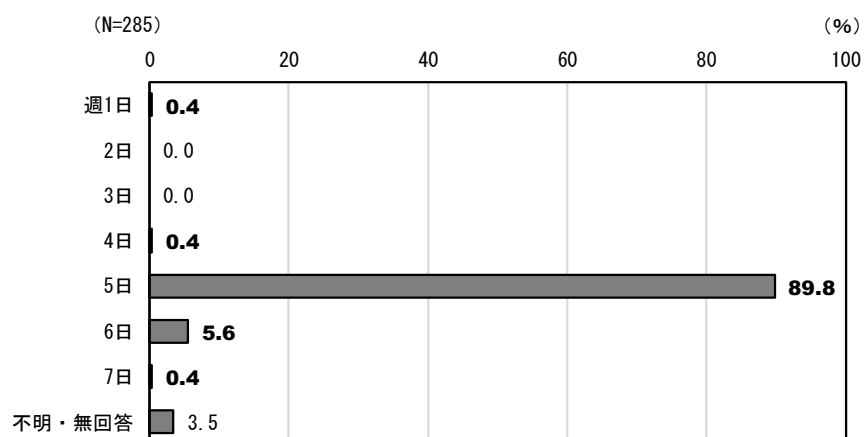
「▲」はマイナス
前回の選択肢に「小規模な保育施設」は、なし

問 14-2 平日に定期的に利用している教育・保育サービスの利用頻度と利用時間、及び希望する利用頻度と利用時間。(数字で記入)

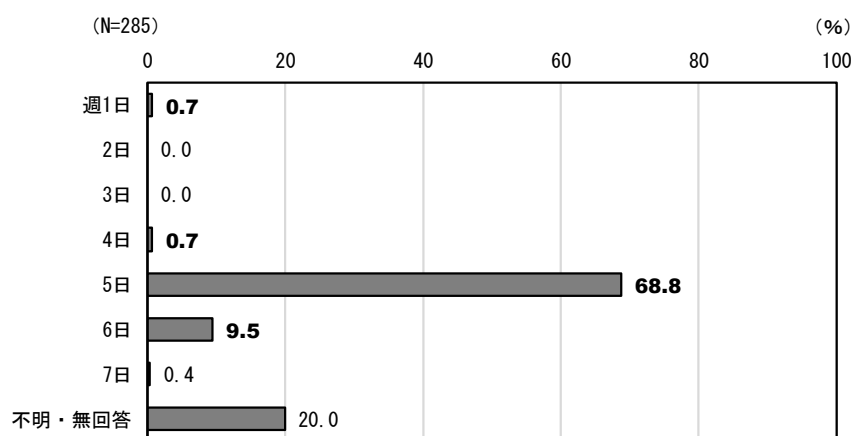
現在の利用頻度では、「(週に)5日」が89.8%と最も多く、次いで「6日」が5.6%、「1日」「4日」と「7日」がいずれも0.4%となっています。

希望する利用頻度では、「5日」が68.8%と最も多く、次いで「6日」が9.5%、「1日」と「4日」がともに0.7%となっています。

<利用頻度／現在>

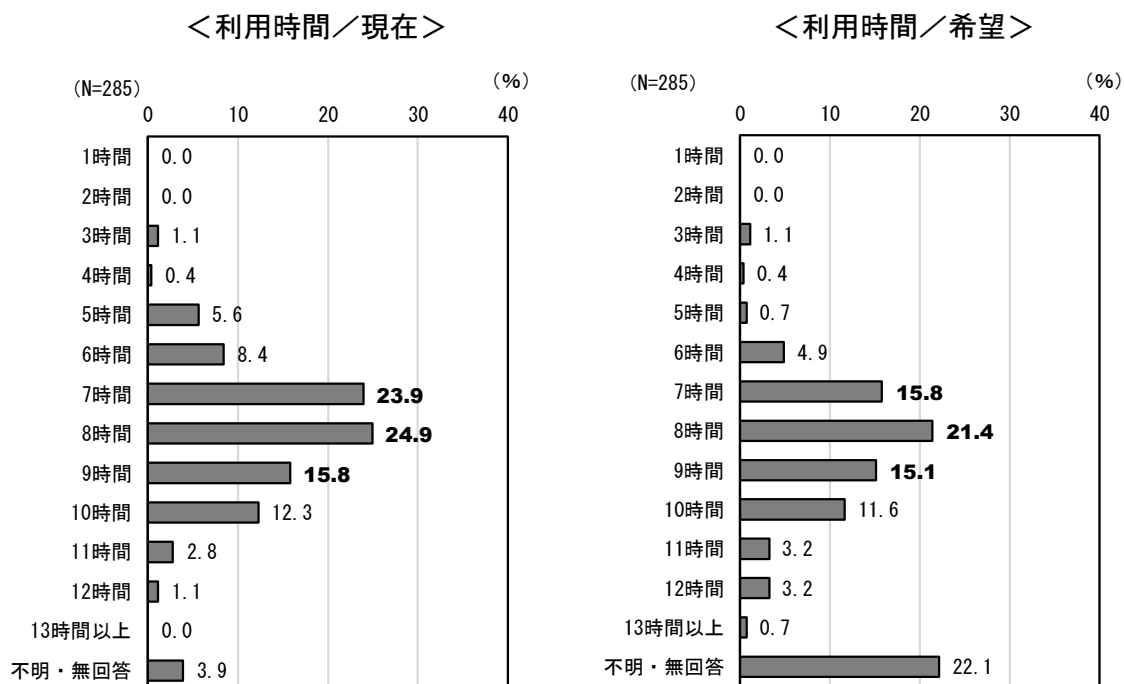


<利用頻度／希望>



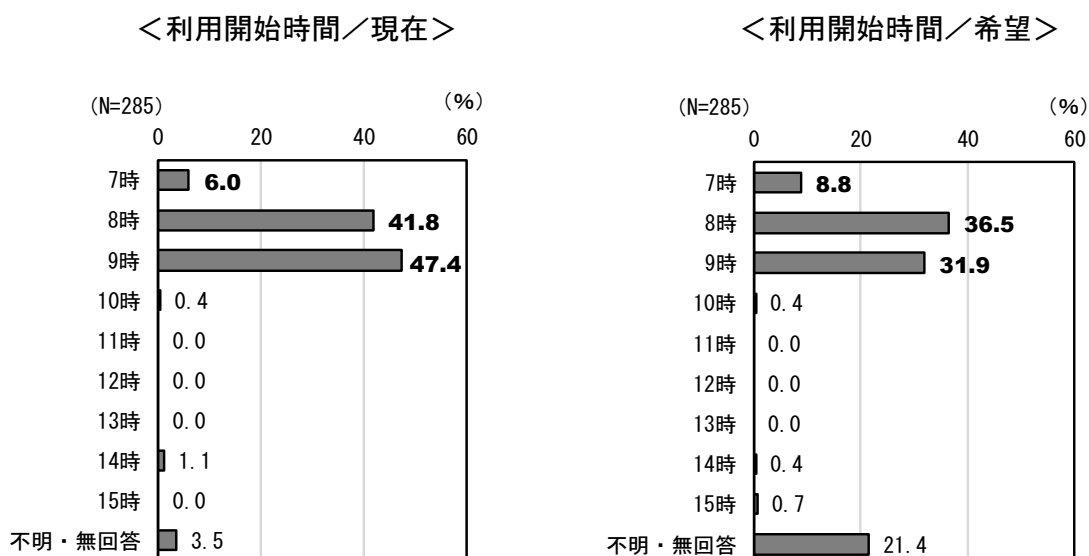
現在の利用時間では、「(1日に) 8時間」が 24.9%と最も多く、次いで「7時間」が 23.9%、「9時間」が 15.8%となっています。

希望する利用時間では、「8時間」が 21.4%と最も多く、次いで「7時間」が 15.8%、「9時間」が 15.1%となっています。



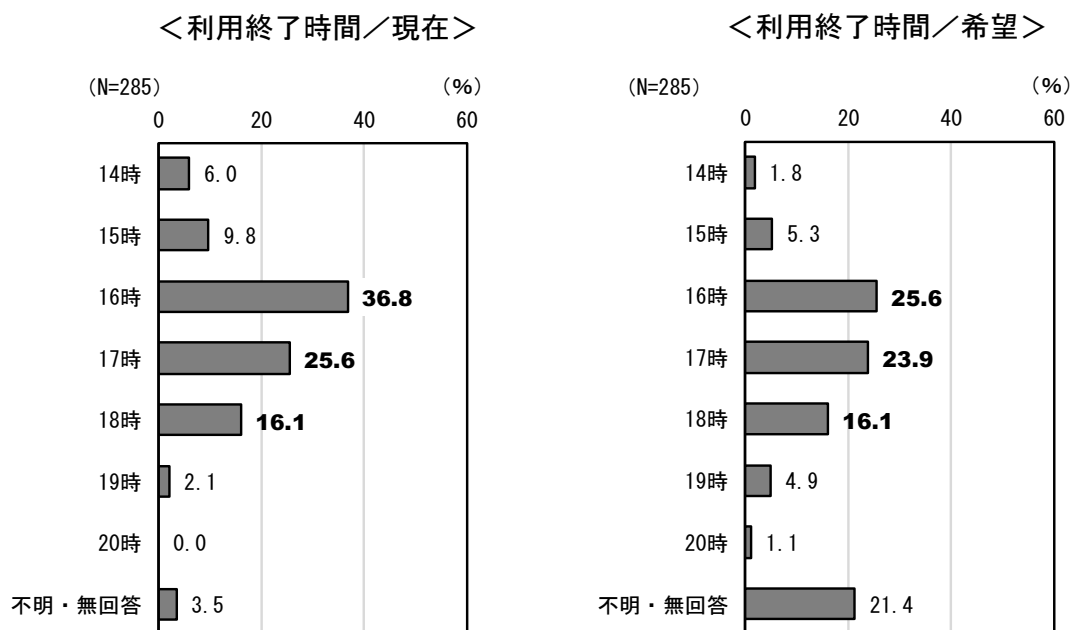
現在の利用開始時間では、「9時」が 47.4%と最も多く、次いで「8時」が 41.8%、「7時」が 6.0%となっています。

希望する利用開始時間では、「8時」が 36.5%と最も多く、次いで「9時」が 31.9%、「7時」が 8.8%となっています。



現在の利用終了時間では、「16時」が36.8%と最も多く、次いで「17時」が25.6%、「18時」が16.1%となっています。

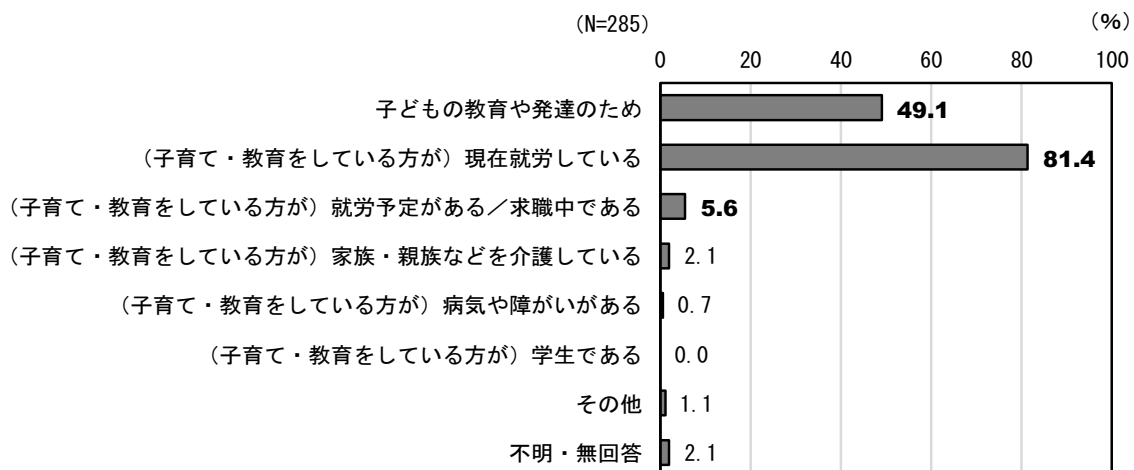
希望する利用終了時間では、「16時」が25.6%と最も多く、次いで「17時」が23.9%、「18時」が16.1%となっています。



問 14-3 平日に定期的に教育・保育のサービスを利用している理由。

(○はいくつでも)

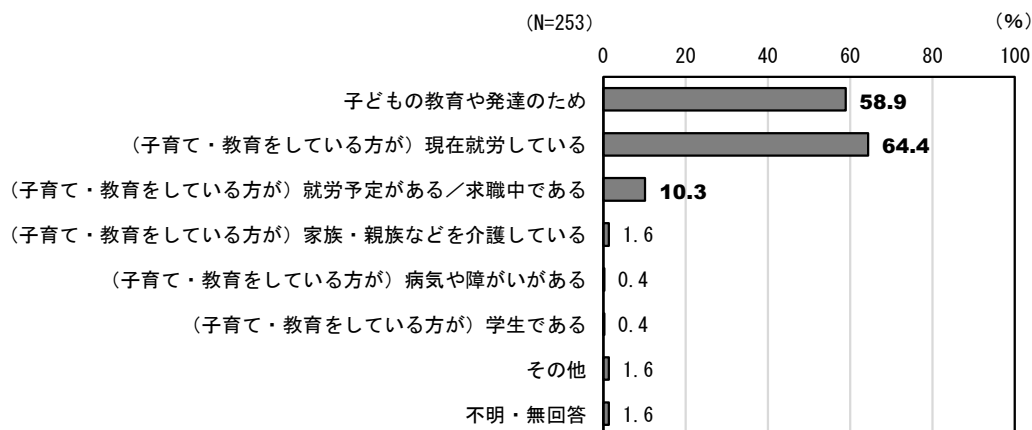
「(子育て・教育をしている方が) 現在就労している」が81.4%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が49.1%、「就労予定がある/求職中である」が5.6%となっています。



【前回調査との比較】

前回の調査との比較でみると、「子どもの教育や発達のため」が9.8ポイント減、「現在就労している」が17.0ポイント増、「就労予定がある／求職中である」が4.7ポイント減となっています。

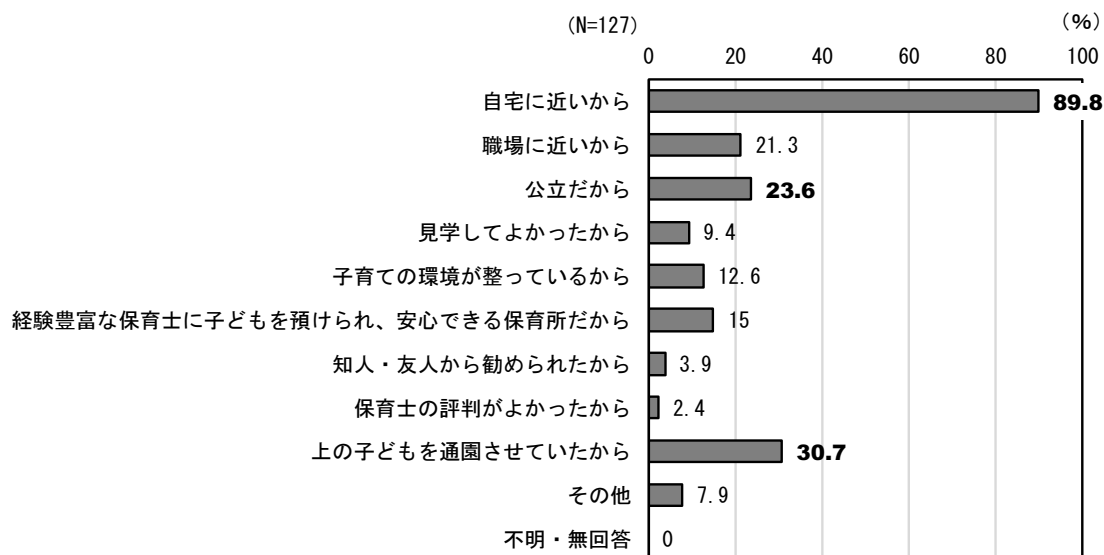
前回調査の結果



問 15～問 15-6 公立の認可保育所を利用している人への質問

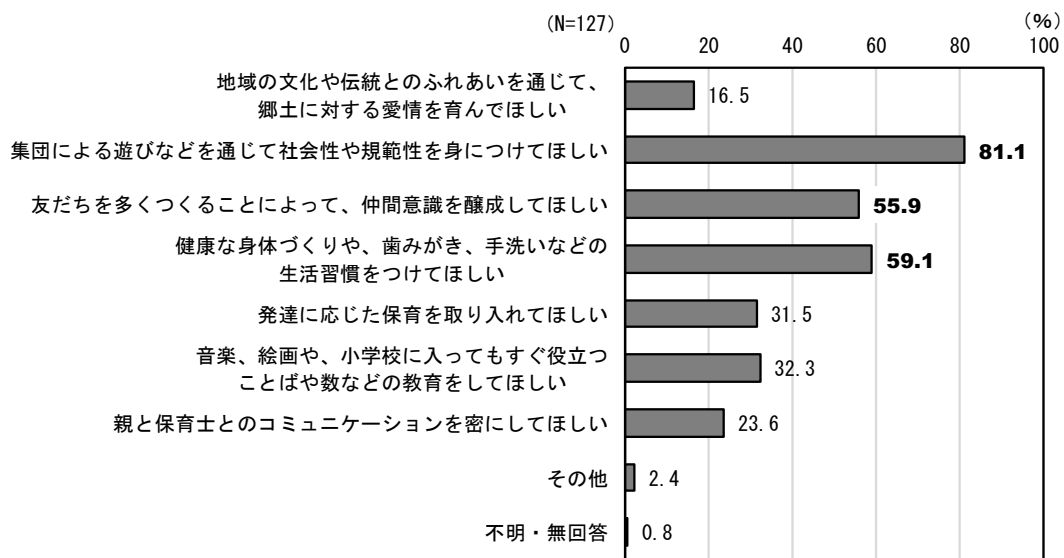
問 15 いまの保育所を選んだ理由。(〇はいくつでも)

「自宅に近いから」が89.8%と最も多く、次いで「上の子どもを通園させていたから」が30.7%、「公立だから」が23.6%となっています。



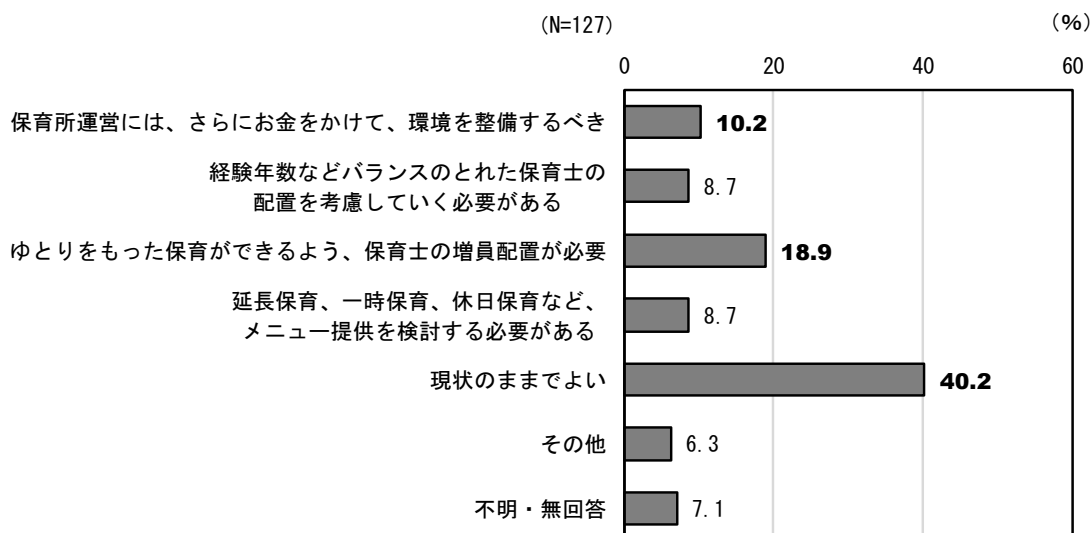
問 15-1 子どもが通園している保育所に大事にしてほしいこと。(〇は3つまで)

「集団による遊びなどを通じて社会性や規範性を身につけてほしい」が81.1%と最も多く、次いで「健康な身体づくりや、歯みがき、手洗いなどの生活習慣をつけてほしい」が59.1%、「友だちを多くつくることによって、仲間意識を醸成してほしい」が55.9%となっています。



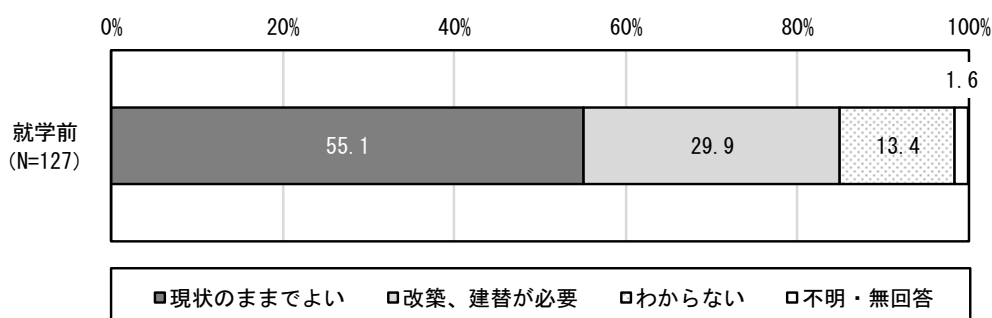
問 15-2 子どもが通園している保育所の運営で、改善が必要だと思うこと。
(1つに○)

「現状のままでよい」が40.2%と最も多く、次いで「ゆとりをもった保育ができるよう、保育士の増員配置が必要」が18.9%、「保育所運営には、さらにお金をかけて、環境を整備するべき」が10.2%となっています。



問 15-3 子どもが通園している保育所の施設について、当てはまるもの。
(1つに○)

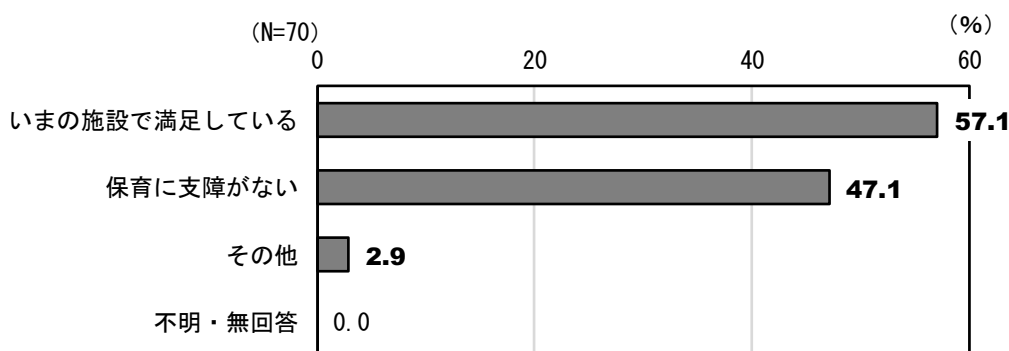
「現状のままでよい」が55.1%と最も多く、次いで「改築・立替が必要」が29.9%、「わからない」が13.4%となっています。



問 15-3 で「1. 現状のままでよい」に○をつけた人への質問

問 15-4 現状のままでよい理由。(○はいくつでも)

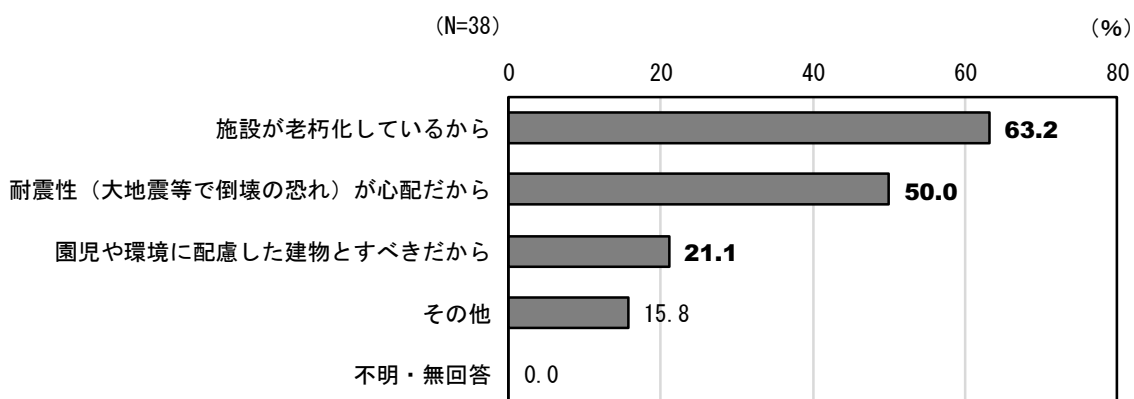
「いまの施設で満足している」が57.1%と最も多く、次いで「保育に支障がない」が47.1%、「その他」が2.9%となっています。



問 15-3 で「2. 改築、建替が必要」に○をつけた人への質問

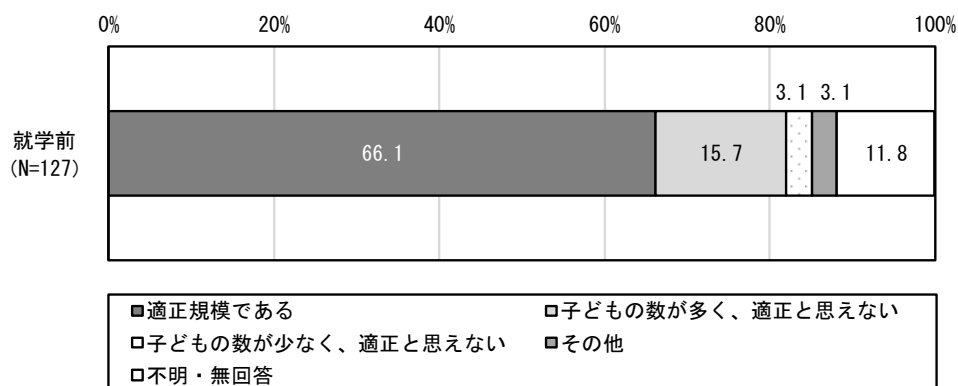
問 15-5 改築、建替が必要と思う理由。(○はいくつでも)

「施設が老朽化しているから」が63.2%と最も多く、次いで「耐震性が心配だから」が50.0%、「園児や環境に配慮した建物とすべきだから」が21.1%となっています。



問 15-6 子どもが通園している保育所の園児数は、適正規模だと思うか。
(1つに○)

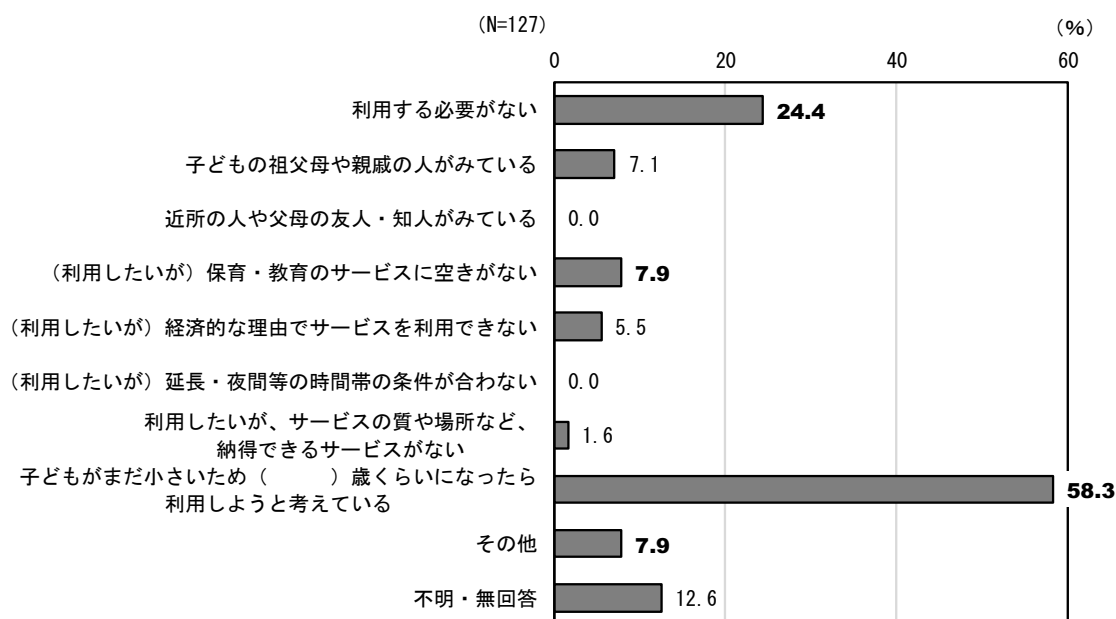
「適正規模である」が66.1%と最も多く、次いで、「子どもの数が多く、適正と思えない」が15.7%、「子どもの数が少なく、適正と思えない」と「その他」がともに3.1%となっています。



幼稚園や保育所、認定こども園などを利用していない人への質問

問 16 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

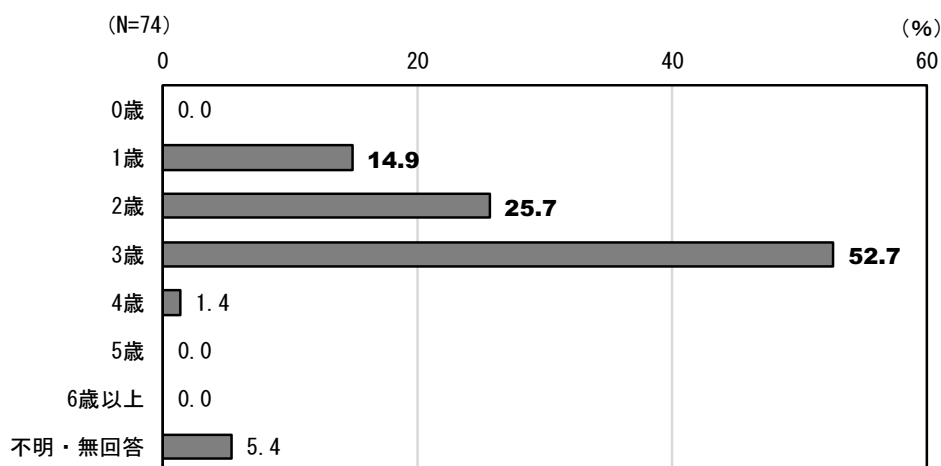
「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」(何歳かは、次の質問へ)が58.3%と最も多く、次いで「利用する必要がない」が24.4%、「保育・教育のサービスに空きがない」と「その他」がともに7.9%となっています。



問 16 で「子どもがまだ小さいため」と答えた人への質問

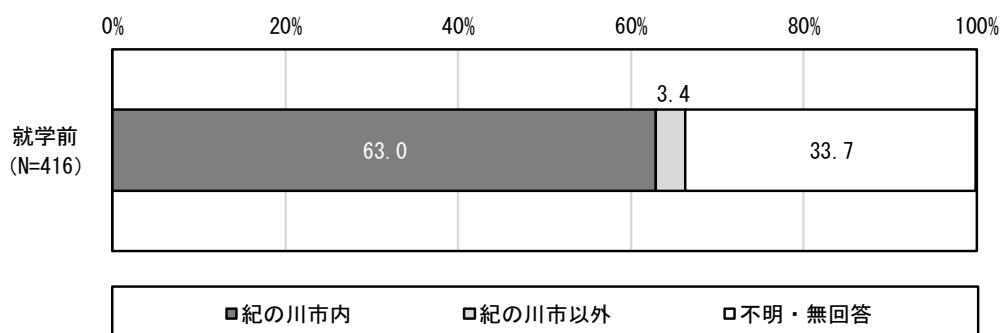
問 16-2 子どもが何歳になったら、幼稚園や保育所、認定こども園などを利用したいか。(数字で記入)

「3歳」が52.7%と最も多く、次いで「2歳」が25.7%、「1歳」が14.9%となっています。



問 17 教育・保育サービスを利用したい場所はどこか。(いずれかに○)

「紀の川市内」が63.0%、「紀の川市外」が3.4%となっています。



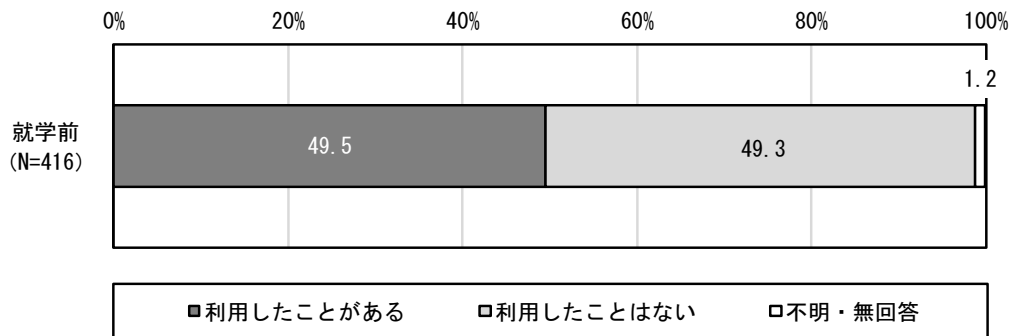
2. 地域の子育て支援事業（サービス）の利用状況

問 18 地域子育て支援センターの利用の有無（1つに○）と、利用したことがある人の利用頻度（数字で記入）。

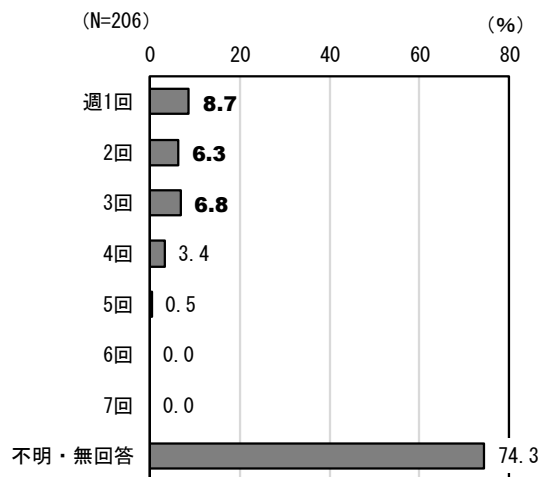
「利用したことがある」が49.5%、「利用したことはない」が49.3%となっています。

利用したことがある人の利用頻度（週間）では、「1回」が8.7%と最も多く、次いで「3回」が6.8%、「2回」が6.3%となっています。

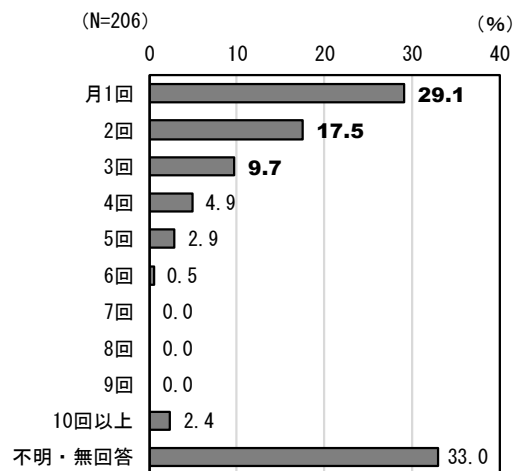
利用したことがある人の利用頻度（月間）では、「1回」が29.1%と最も多く、次いで「2回」が17.5%、「3回」が9.7%となっています。



〈利用頻度／週間〉



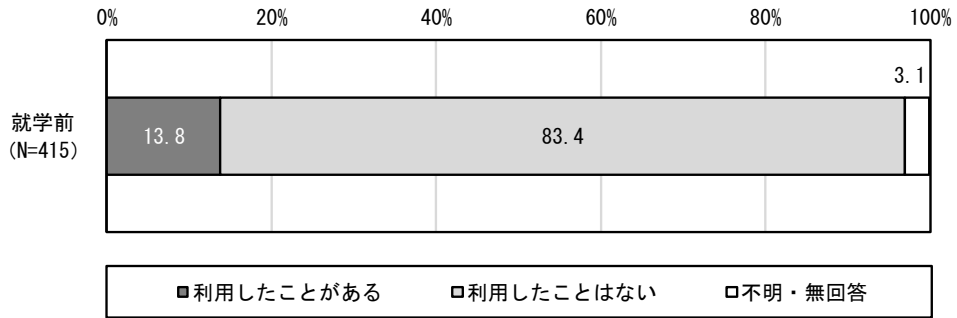
〈利用頻度／月間〉



【前回調査との比較】

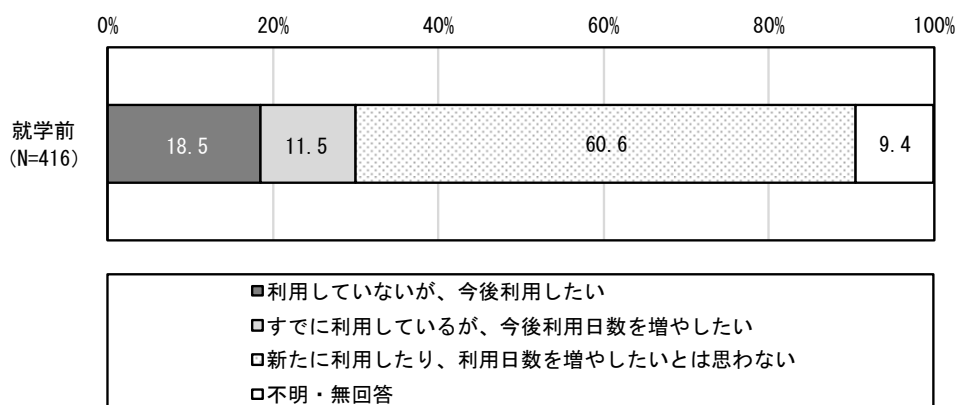
前回の調査との比較でみると、「利用したことがある」が35.7ポイント増、「利用したことはない」が34.1ポイント減となっています。

前回調査の結果



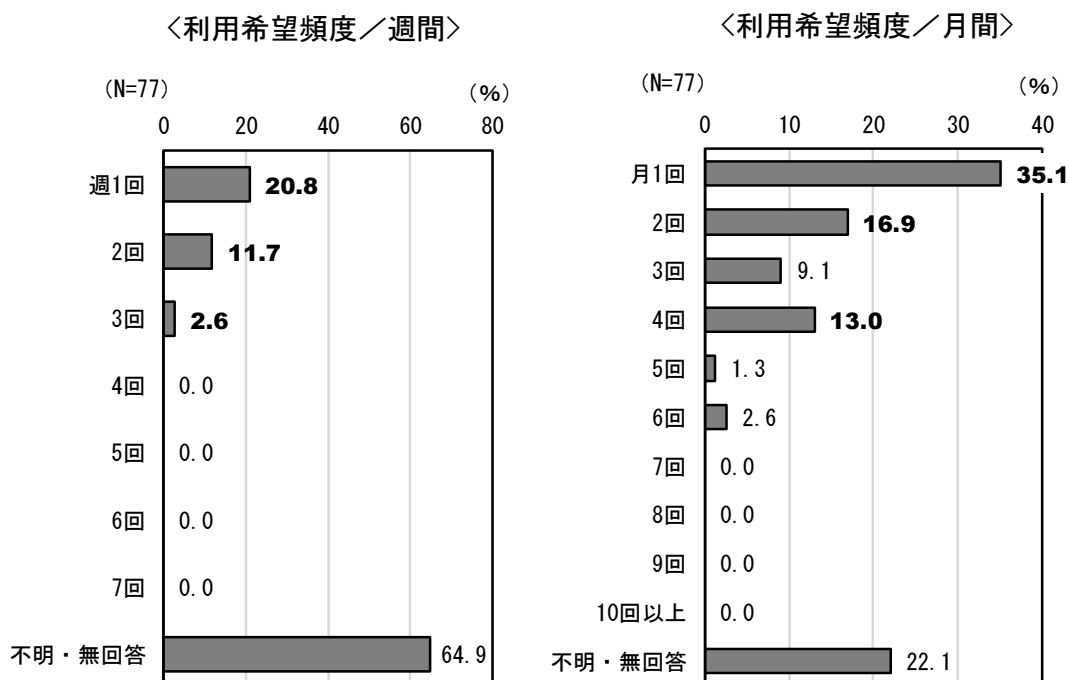
問 19 地域子育て支援センターの利用意向（1つに○）と、希望の利用頻度（数字で記入）。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が60.6%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が18.5%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が11.5%となっています。



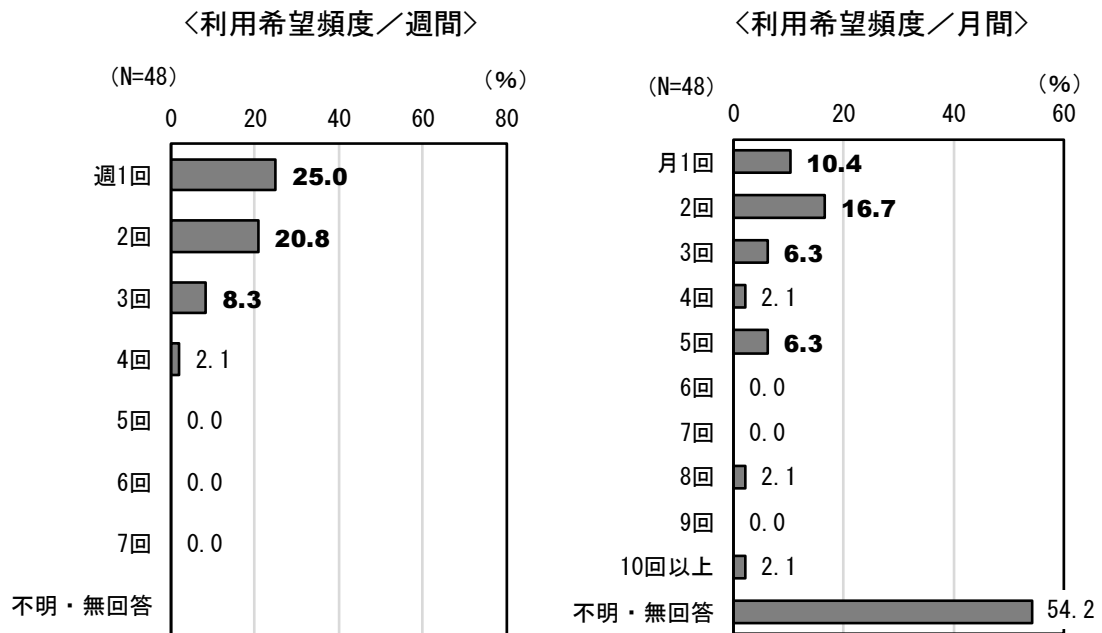
「利用していないが、今後利用したい」と答えた人の希望の利用頻度（週間）では、「1回」が20.8%と最も多く、次いで「2回」が11.7%、「3回」が2.6%となっています。

希望の利用頻度（月間）では、「1回」が35.1%と最も多く、次いで「2回」が16.9%、「4回」が13.0%となっています。



「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と答えた人の希望の利用頻度（週間）では、「1回」が25.0%と最も多く、次いで「2回」が20.8%、「3回」が8.3%となっています。

希望の利用頻度（月間）では、「2回」が16.7%と最も多く、次いで「1回」が10.4%、「3回」と「5回」がともに6.3%となっています。



問 20 下記の施設や事業等についての、「認知度（知っている）」「利用度（これまでに利用したことがある）」「利用意向（今後利用したい）」。
（それぞれ1つに○）

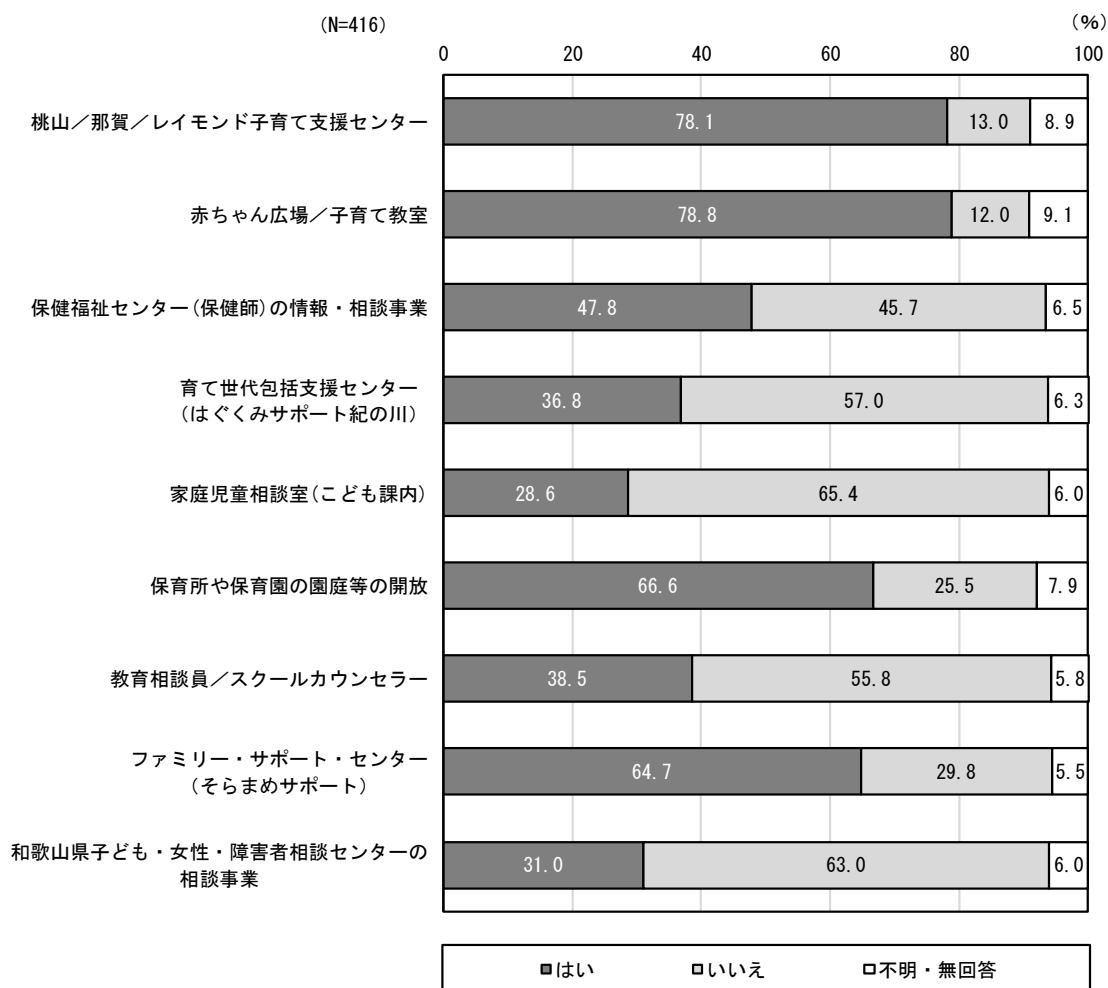
認知度では、「桃山／那賀／レイモンド子育て支援センター」と「赤ちゃん広場／子育て教室」で、「はい（知っている）」が8割近くとなっています。

「保育所や保育園の園庭等の開放」と「ファミリー・サポート・センター（そらまめサポート）」はともに、「はい」が6割台となっています。

その他の施設や事業等は、いずれも「はい」が半数未満となっています。

最も認知度が低かったのは、「家庭児童相談室（こども課内）」で、「はい」が28.6%となっています。

<認知度>



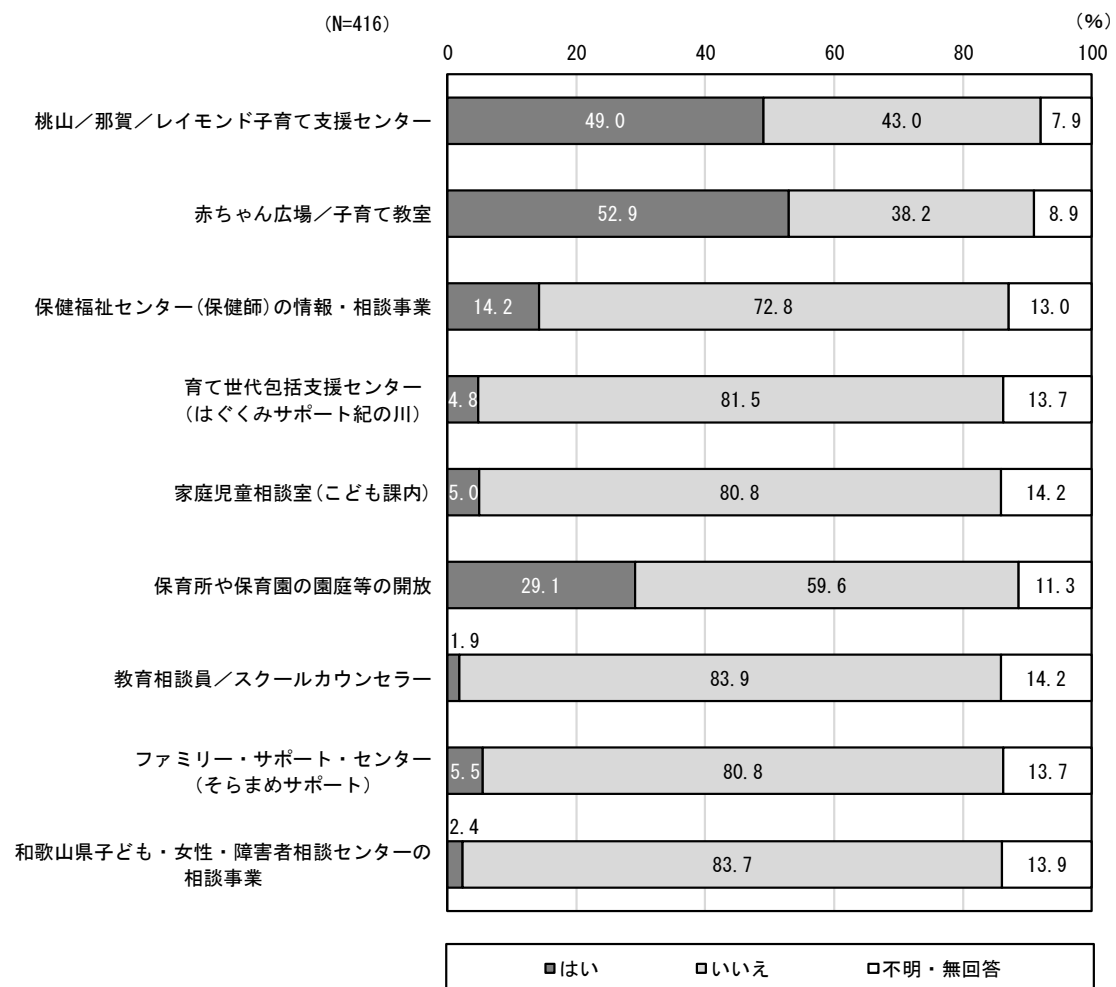
利用度では、「桃山／那賀／レイモンド子育て支援センター」と「赤ちゃん広場／子育て教室」で、「はい（これまでに利用したことがある）」が5割前後となっています。

次いで「保育所や保育園の園庭等の開放」で「はい」が29.1%、「保健福祉センター（保健師）の情報・相談事業」で「はい」が14.2%となっています。

その他の施設や事業等は、いずれも「はい」が1割未満となっています。

最も利用度が低かったのは、「教育相談員／スクールカウンセラー」で、「はい」が1.9%となっています。

<利用度>

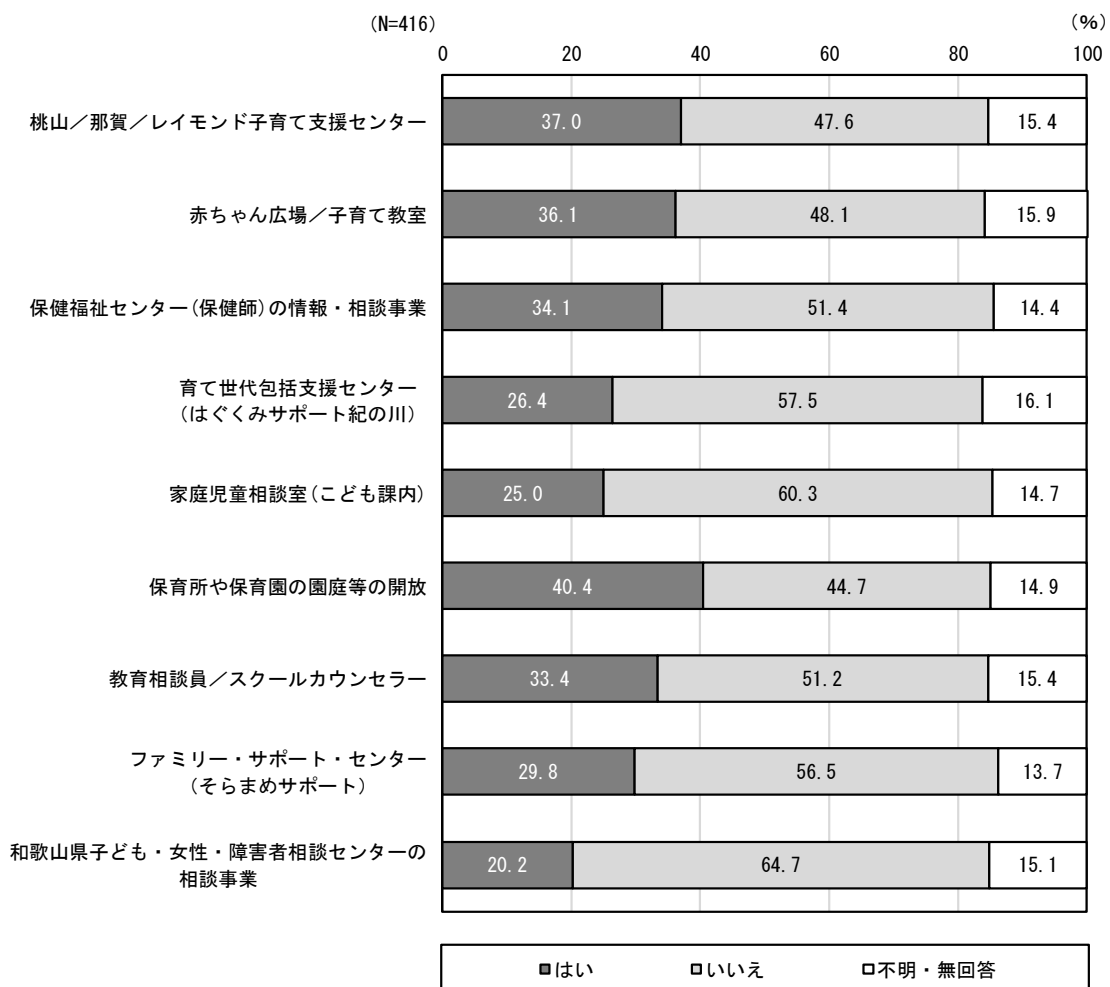


利用意向では、「桃山／那賀／レイモンド子育て支援センター」、「赤ちゃん広場／子育て教室」と「保育所や保育園の園庭等の開放」で、「はい（今後利用したい）」が4割前後となっています。

次いで「保健福祉センター（保健師）の情報・相談事業」と「教育相談員／スクールカウンセラー」で「はい」が35.0%近く、「ファミリー・サポート・センター」で「はい」が29.8%となっています。

最も利用意向が低かったのは、「和歌山県子ども・女性・障害者相談センターの相談事業」で、「はい」が20.2%となっています。

<利用意向>

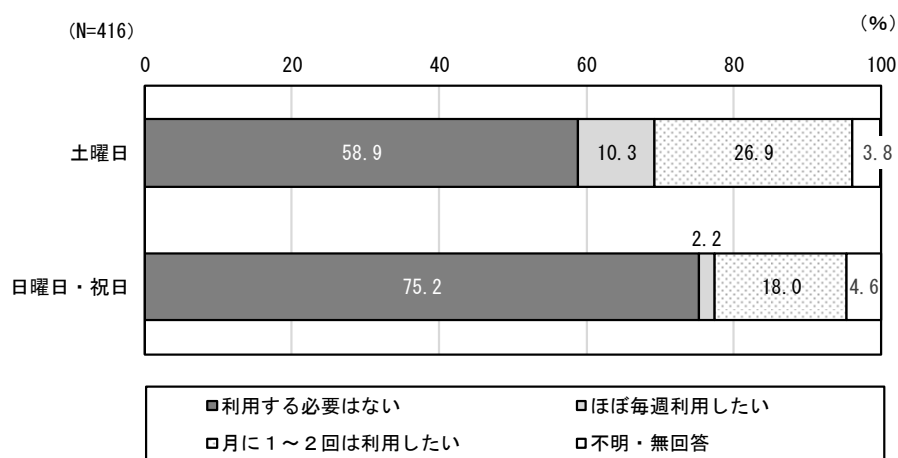


3. 土曜日や日曜日・祝日の教育・保育サービスの利用希望

問 21 土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育サービスの利用希望（それぞれ1つに○）と、利用希望時間（数字で記入）。

土曜日では、「利用する必要はない」が58.9%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が26.9%、「ほぼ毎週利用したい」が10.3%となっています。

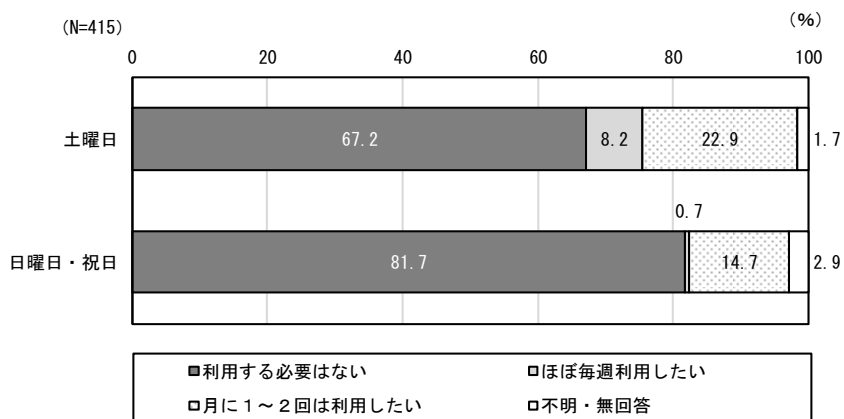
日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が75.2%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が18.0%、「ほぼ毎週利用したい」が2.2%となっています。



【前回調査との比較】

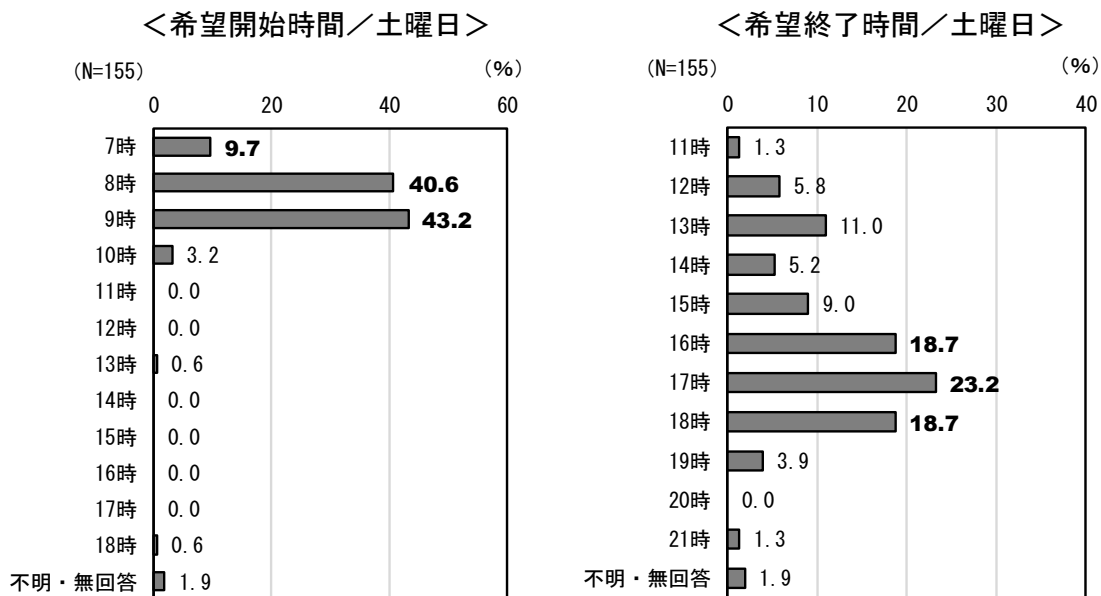
前回の調査との比較でみると、土曜日では「利用する必要はない」が8.3ポイント減、「ほぼ毎週利用したい」が2.1ポイント増、「月に1～2回は利用したい」が4.0増となっています。日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が6.5ポイント減、「ほぼ毎週利用したい」が1.5ポイント増、「月に1～2回は利用したい」が3.3ポイント増となっています。

前回調査の結果



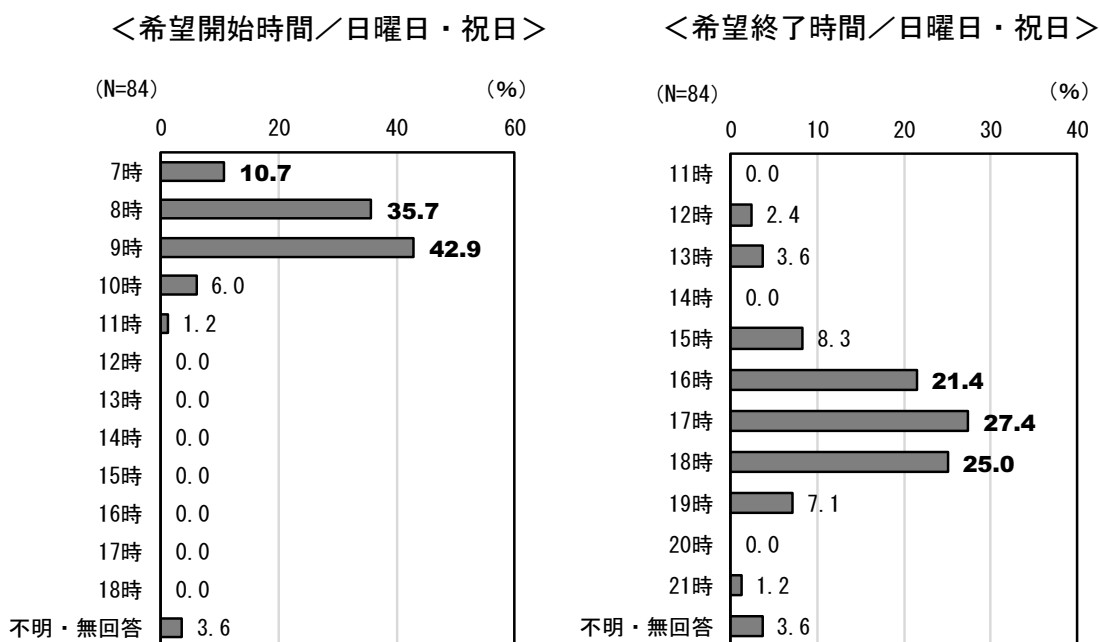
土曜日の希望開始時間では、「9時」が43.2%と最も多く、次いで「8時」が40.6%、「7時」が9.7%となっています。

希望終了時間では、「17時」が23.2%と最も多く、次いで「16時」と「18時」がともに18.7%となっています。



日曜日・祝日の希望開始時間では、「9時」が42.9%と最も多く、次いで「8時」が35.7%、「7時」が10.7%となっています。

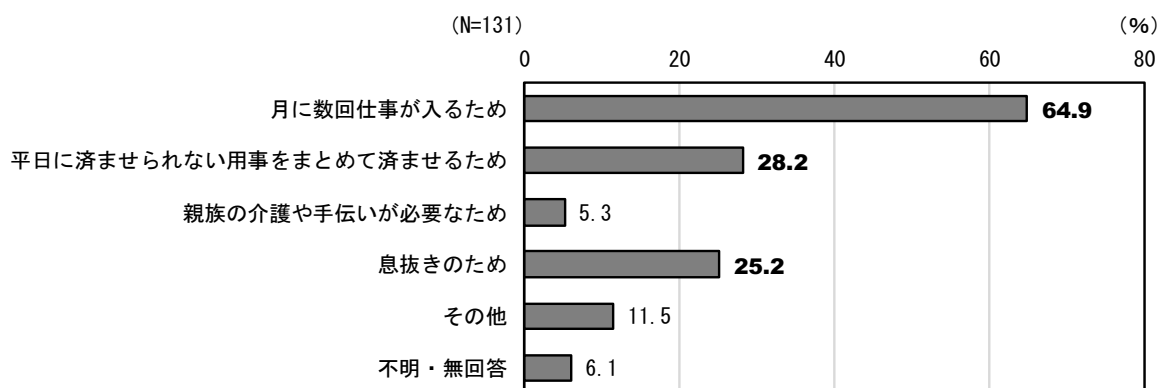
希望終了時間では、「17時」が27.4%と最も多く、次いで「18時」が25.0%、「16時」が21.4%となっています。



問 21 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた人への質問

問 21-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由。(○はいくつでも)

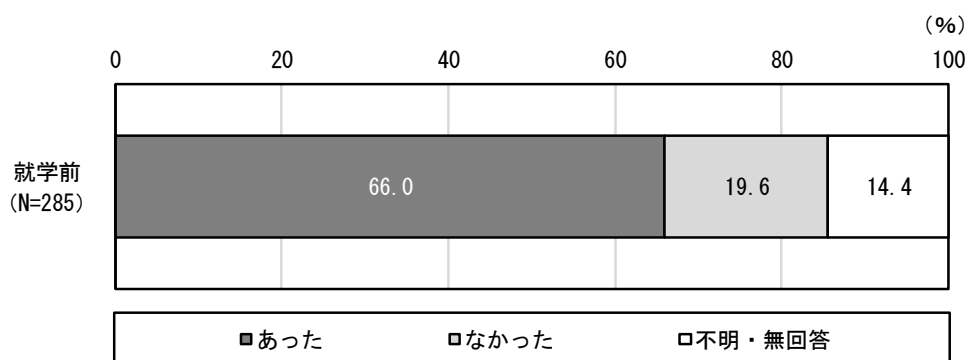
「月に数回仕事が入るため」が 64.9%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 28.2%、「息抜きのため」が 25.2%となっています。



問 14 で「定期的に教育・保育のサービスを利用している」と答えた人への質問

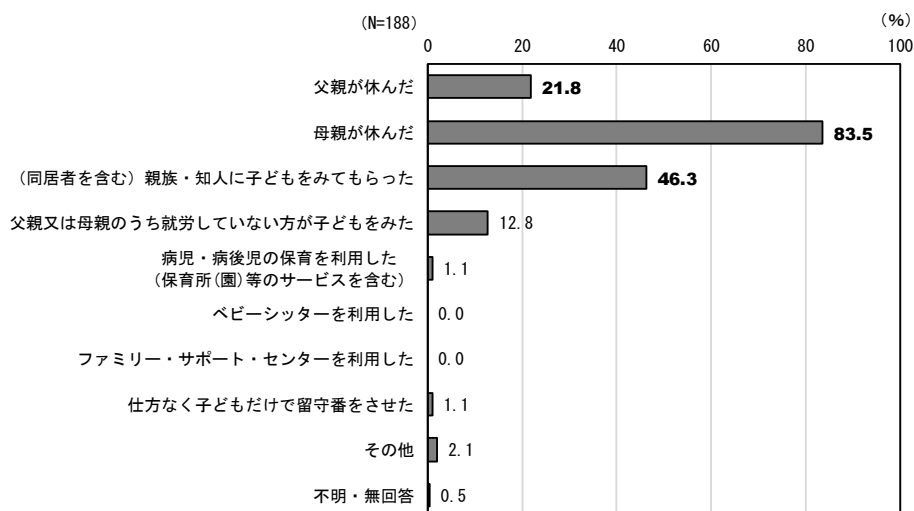
問 22 この 1 年間に、子どもが病気やケガでサービスが利用できなかったことはあるか。(1つに○)

「あった」が 66.0%、「なかった」が 19.6%となっています。



問 22-1 子どもが病気やケガでサービスが利用できなかった場合の対処法。
(〇はいくつでも)

「母親が休んだ」が83.5%と最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が46.3%、「父親が休んだ」が21.8%となっています。



対処の日数では、「父親が休んだ」で「1日」が、「母親が休んだ」で「10日以上」が、「親族・知人に子どもをみてもらった」で「3日」が、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」で「10日以上」が、「病児・病後児の保育を利用」で「2日」と「5日」が、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」で「1日」が、「その他」で「2日」と「10日以上」が、いずれも最も多くなっています。

<対処した日数>

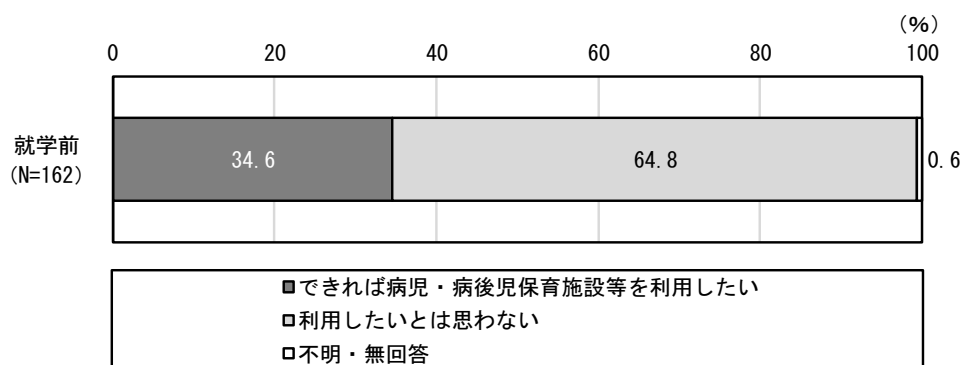
											(%)
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	不明・無回答
1. 父親が休んだ (N=41)	36.6	17.1	17.1	2.4	12.2	0.0	2.4	0.0	0.0	7.3	4.9
2. 母親が休んだ (N=157)	10.2	13.4	11.5	3.8	19.1	3.2	7.6	0.6	0.0	26.1	4.5
3. 親族・知人にみてもらった (N=87)	10.3	10.3	25.3	1.1	16.1	2.3	6.9	2.3	0.0	18.4	6.9
4. 父母のうち就労していない方が休んだ (N=24)	12.5	4.2	16.7	4.2	12.5	4.2	4.2	0.0	0.0	29.2	12.5
5. 病児・病後児保育を利用 (N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. ベビーシッターを利用 (N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. ファミリー・サポート・センターを利用 (N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 仕方なく子どもだけで留守番 (N=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. その他 (N=4)	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0

※濃い色の塗りつぶしはいちばん多いもの、薄い色の塗りつぶしは次に多いもの
※「5」「8」「9」は、N数が少ない(10人未満)ことに注意

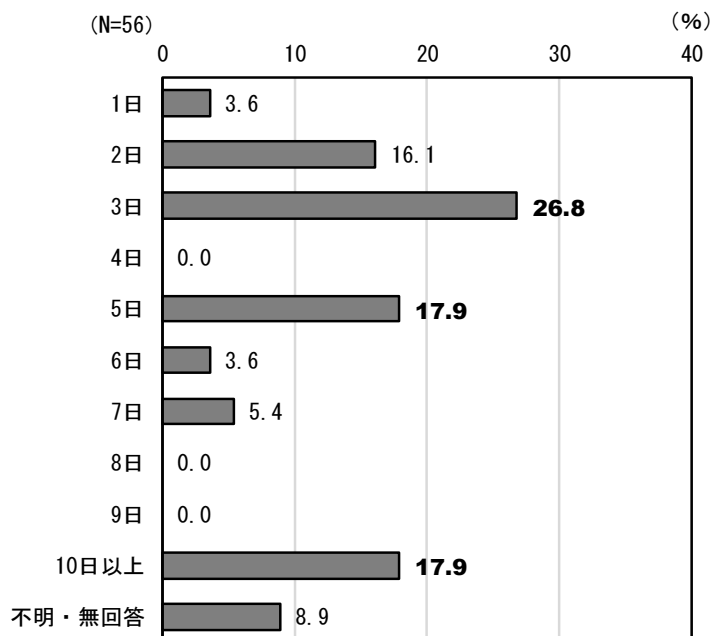
問 22-1 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた人への質問

問 22-2 その際、病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったか（1つに○）、また何日くらい利用したいと思ったか（数字で記入）。

「利用したい」が 34.6%、「利用したいとは思わない」が 64.8%となっています。
 利用希望日数では、「3日」が 26.8%と最も多く、次いで「5日」と「10日以上」がともに 17.9%となっています。



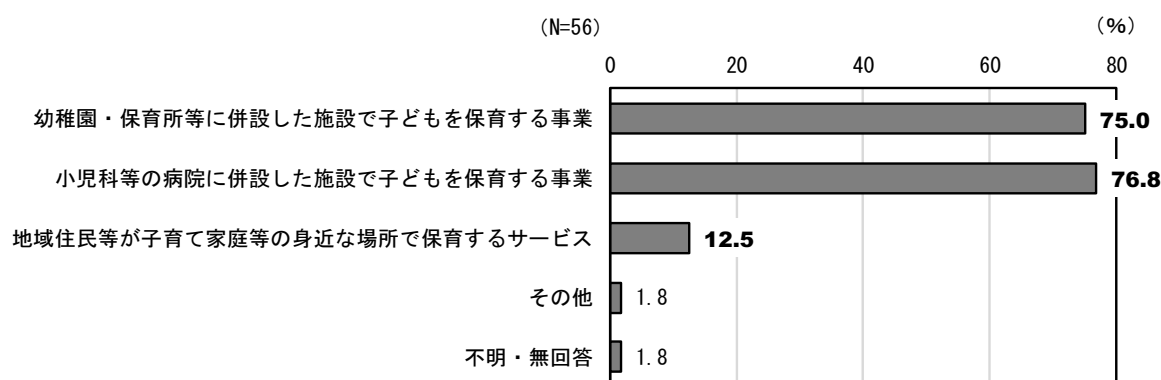
<利用希望日数>



問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた人への質問

問 22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、どんな形が望ましいか。
(○はいくつでも)

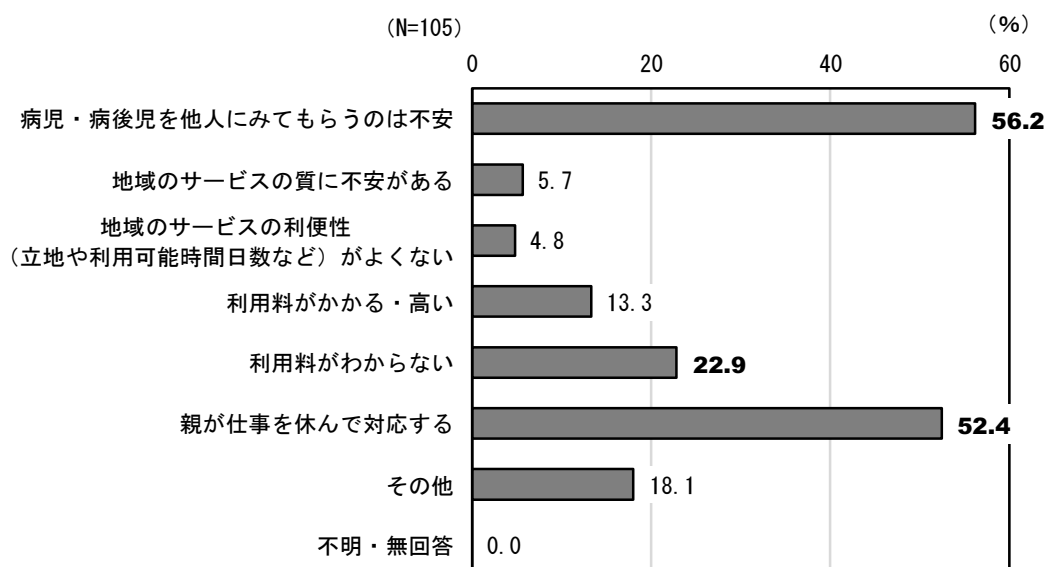
「小児科等の病院に併設した施設で子どもを保育する事業」が 76.8%と最も多く、次いで「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 75.0%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育するサービス」が 12.5%となっています。



問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた人への質問

問 22-4 そう思う理由。(○はいくつでも)

「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 56.2%と最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が 52.4%、「利用料がわからない」が 22.9%となっています。

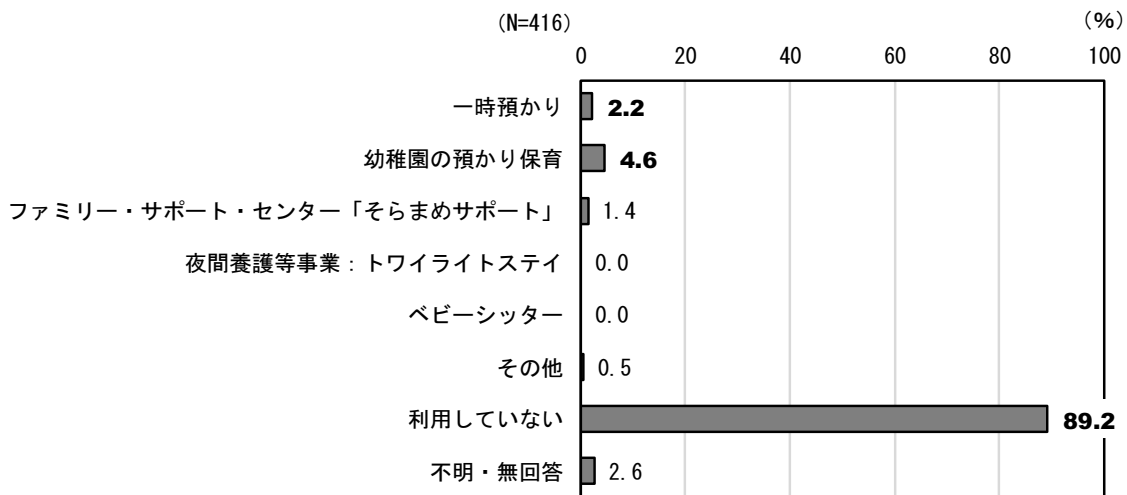


4. 不定期の教育・保育サービスなどの利用について

問 23 日中の定期的な利用以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している教育・保育サービス（〇はいくつでも）、及び1年間のおおよその利用日数（数字で記入）。

「利用していない」が89.2%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が4.6%、「一時預かり」が2.2%となっています。

1年間の利用日数では、「一時預かり」で「1日」と「10日以上」が、「幼稚園の預かり保育」で「10日以上」が、「ファミリー・サポート・センター『そらまめサポート』」で「10日以上」が、「その他」で「10日以上」が、いずれも最も多くなっています。



< 1年間の利用日数 >

(％)

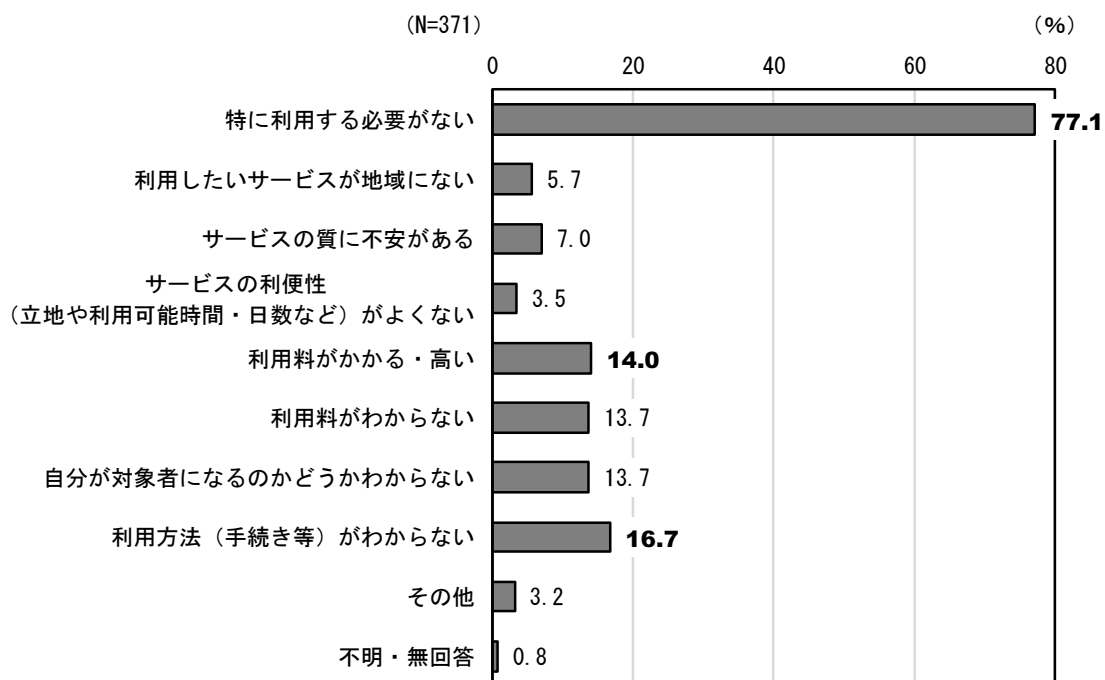
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	不明・無回答
1. 一時預かり (N=9)	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1
2. 幼稚園の預かり保育 (N=19)	0.0	5.3	15.8	0.0	15.8	0.0	5.3	0.0	0.0	47.4	10.5
3. ファミリー・サポート・センター「そらまめサポート」 (N=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. ベビーシッター (N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. その他 (N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

※濃い色の塗りつぶしはいちばん多いもの、薄い色の塗りつぶしは次に多いもの
 ※「1」「3」「6」は、N数が少ない(10人未満)ことに注意

問 23 で「7. 利用していない」に○をつけた人への質問

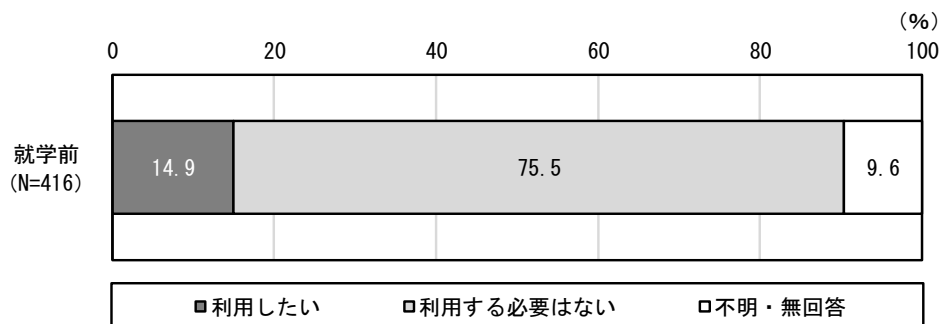
問 23-1 現在利用していない理由。(○はいくつでも)

「特に利用する必要がない」が 77.1%と最も多く、次いで「利用方法（手続き等）がわからない」が 16.7%、「利用料がかかる・高い」が 14.0%となっています。



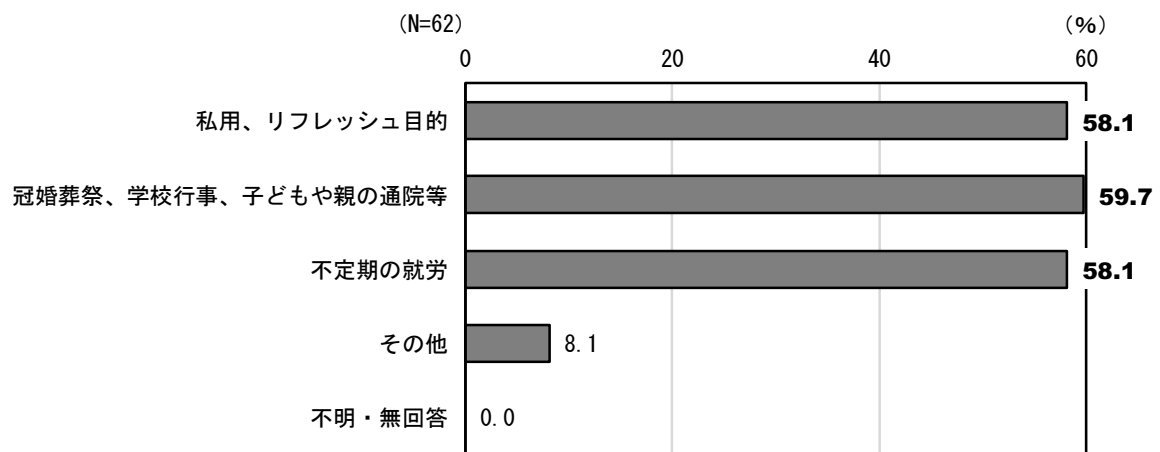
問 24 年間何日くらい、宿泊を伴う一時預かりを利用する必要があると思うか
(1つに○)、その理由(いくつかも○)と必要な日数(数字で記入)。

「利用したい」が 14.9%、「利用する必要はない」が 75.5%となっています。



利用の理由では、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が59.7%と最も多く、次いで「私用、リフレッシュ目的」と「不定期の就労」がともに58.1%となっています。

理由別の利用必要日数（年間）では、「私用、リフレッシュ目的」で「10日以上」が、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」で「3日」が、「不定期の就労」で「10日以上」が、「その他」で「2日」が、いずれも最も多くなっています。



<利用必要日数>

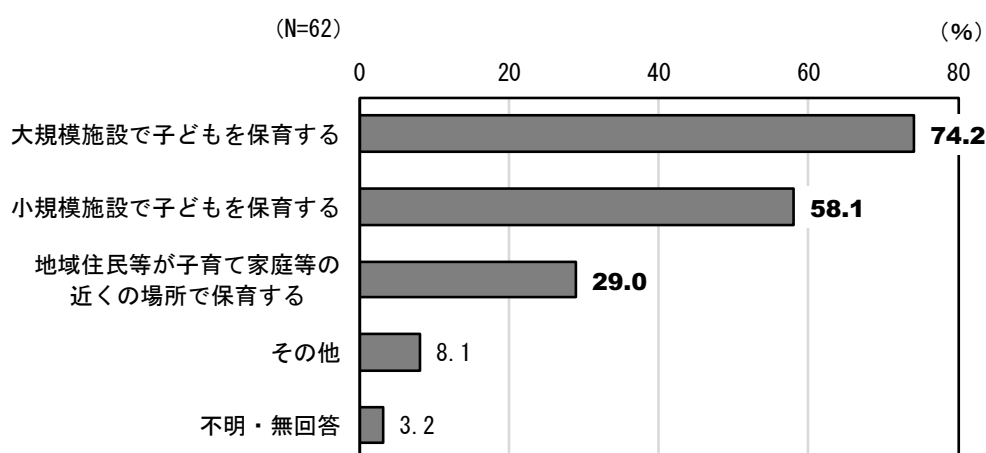
	(%)										
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	不明・無回答
ア. 私用、リフレッシュ目的 (N=36)	8.3	22.2	5.6	11.1	11.1	2.8	5.6	2.8	0.0	27.8	2.8
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等 (N=37)	13.5	18.9	24.3	8.1	16.2	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8	8.1
ウ. 不定期の就労 (N=36)	11.1	11.1	16.7	2.8	8.3	2.8	0.0	2.8	0.0	33.3	11.1
エ. その他 (N=5)	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0

※濃い色の塗りつぶしはいちばん多いもの、薄い色の塗りつぶしは次に多いもの
 ※「エ」は、N数が少ない（10人未満）ことに注意

問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた人への質問

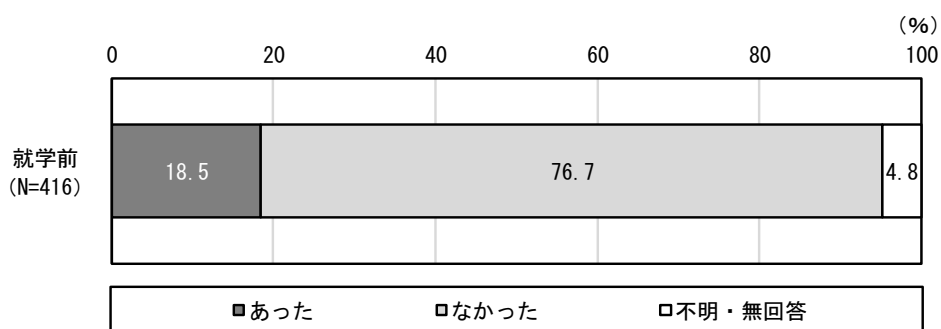
問 24-1 子どもを預ける場合、望ましい方法。(○はいくつでも)

「大規模施設(幼稚園・保育所等)で子どもを保育する」が74.2%と最も多く、次いで「小規模施設(地域子育て支援センター等)で子どもを保育する」が58.1%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する(ファミリー・サポート・センター等)」が29.0%となっています。



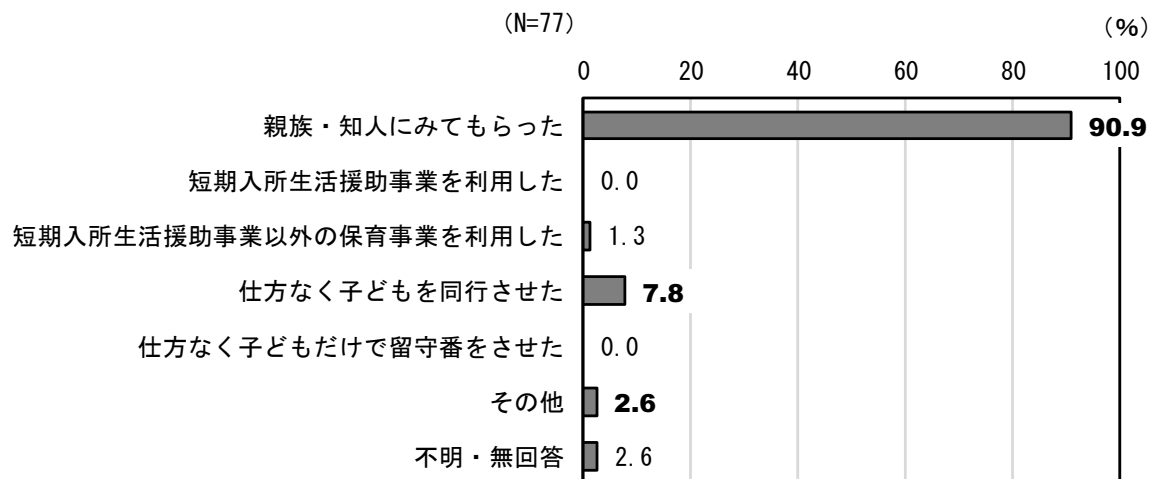
問 25 この1年間に、保護者の用事により子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはあったか(1つに○)、あった場合はどう対処したか(いくつでも○)、何日預けたか(数字で記入)。

「あった」が18.5%、「なかった」が76.7%となっています。



対処法では、「親族・知人にみてもらった」が90.9%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が7.8%、「その他」が2.6%となっています。

理由別の日数（年間）では、「親族・知人にみてもらった」「短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した」と「仕方なく子どもを同行させた」でいずれも「1泊」が最も多くなっています。



<理由別の日数（年間）>

(％)

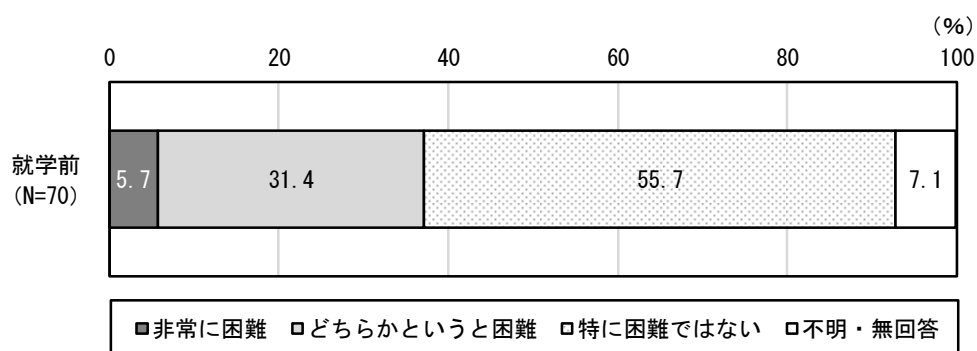
	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊以上	不明・無回答
ア. 親族・知人にみてもらった (N=70)	31.4	14.3	11.4	7.1	11.4	2.9	5.7	1.4	0.0	11.4	2.9
イ. 短期入所生活援助事業を利用した (N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ウ. 「イ」以外の保育事業を利用した (N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エ. 仕方なく子どもを同行させた (N=6)	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた (N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カ. その他 (N=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

※濃い色の塗りつぶしはいちばん多いもの、薄い色の塗りつぶしは次に多いもの
 ※「ウ」「エ」「カ」は、N数が少ない（10人未満）ことに注意

問 25 で「1. あった ア. 親族・知人にみてもらった」に○をつけた人への質問

問 25-1 その場合の難しさはどの程度だったか。(1つに○)

「特に困難ではない」が 55.7%と最も多く、次いで「どちらかというと困難」が 31.4%、「非常に困難」が 5.7%となっています。



5. 子どもの放課後の過ごし方について

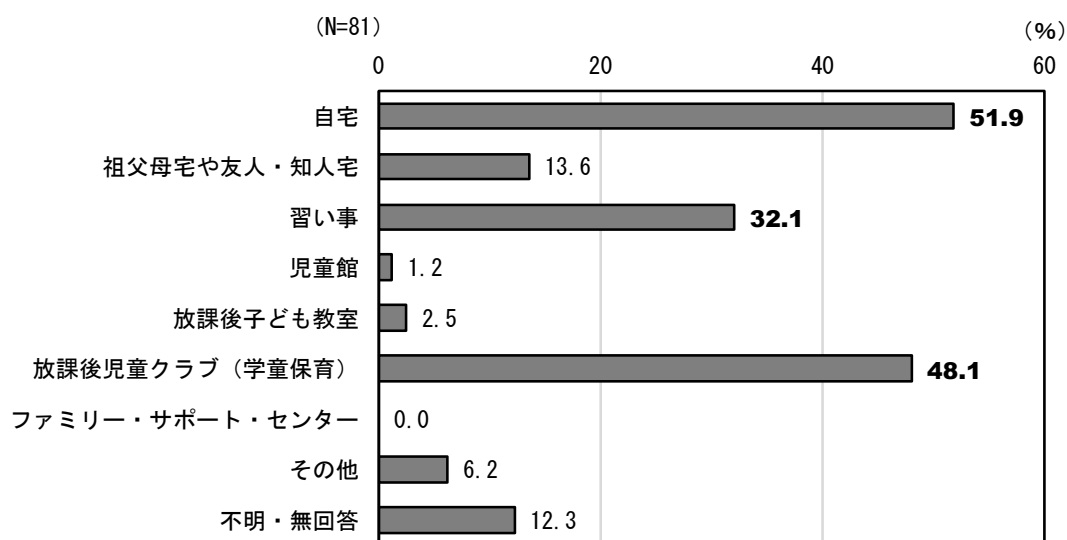
(この項は、子どもが5歳以上の人への質問)

問 26 子どもが小学校に上がったら、放課後の時間をどこで過ごさせたいか
(○はいくつでも)、また希望する週当たり日数と時間(数字で記入)。

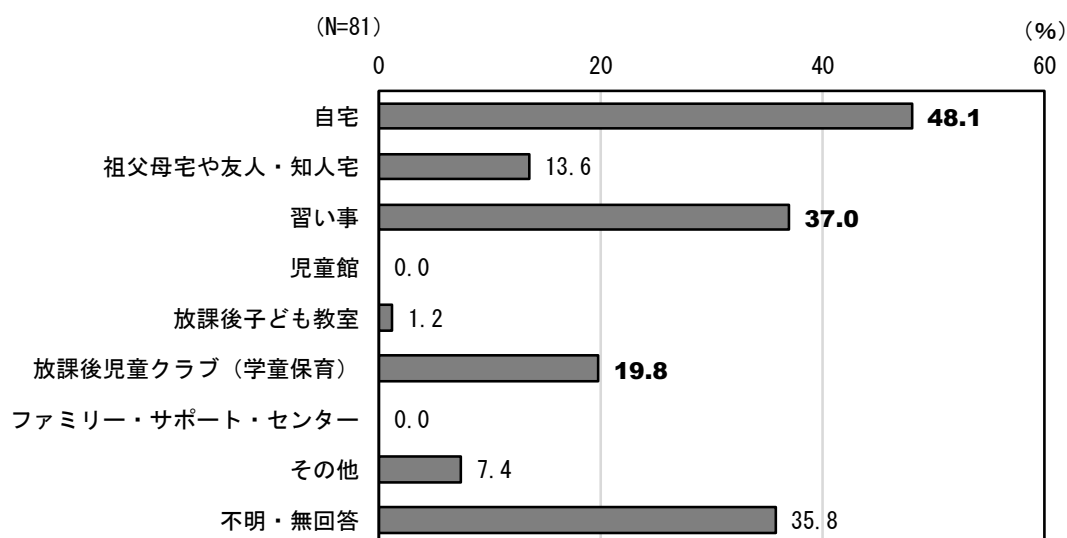
低学年(1~3年生)の間では、「自宅」が51.9%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」が48.1%、「習い事」が32.1%となっています。

高学年(4~6年生)の間では、「自宅」が48.1%と最も多く、次いで「習い事」が37.0%、「放課後児童クラブ」が19.8%となっています。

<低学年(1~3年生)の間>



<高学年(4~6年生)の間>

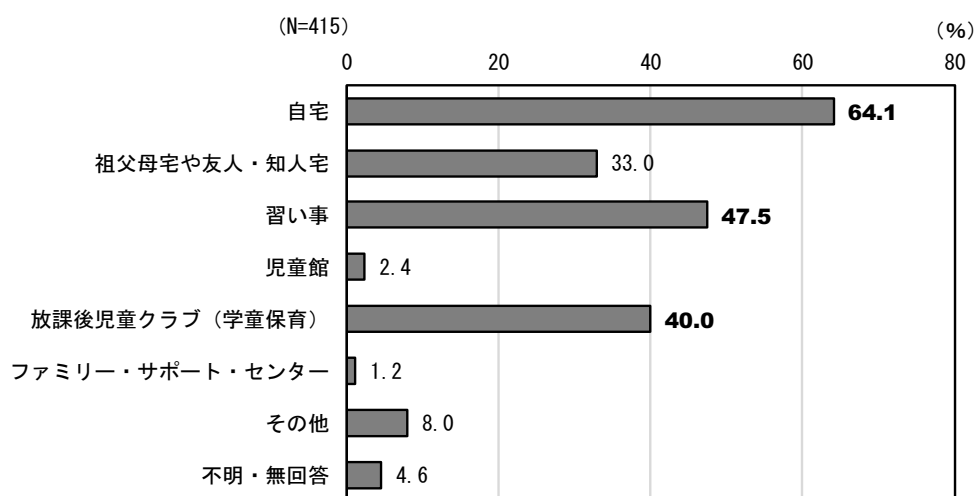


【前回調査との比較】

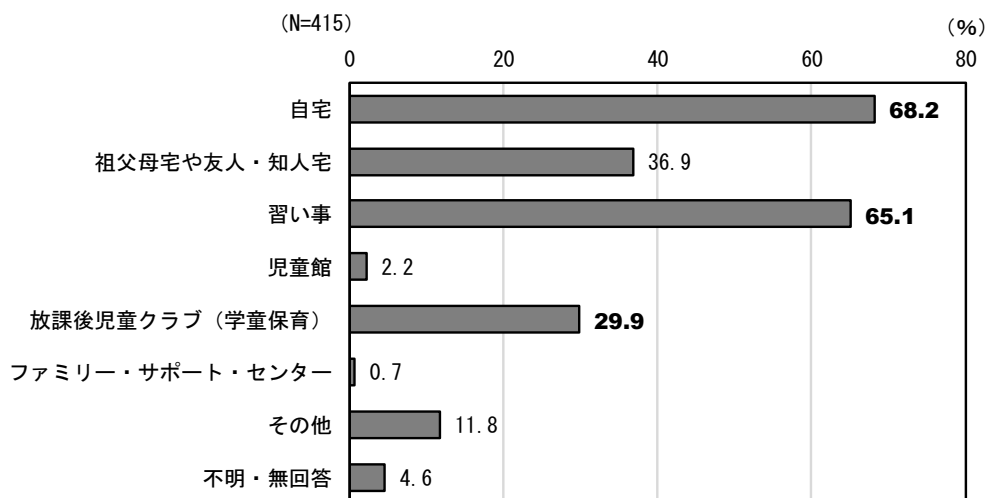
前回の調査との比較でみると、低学年（1～3年生）の間では、「自宅」が12.2ポイント減、「祖父母宅や友人・知人宅」が19.4ポイント減、「習い事」が15.4ポイント減、「放課後児童クラブ」が8.1ポイント増となっています。

高学年（4～6年生）の間では、「自宅」が20.1ポイント減、「祖父母宅や友人・知人宅」が23.3ポイント減、「習い事」が28.1ポイント減、「放課後児童クラブ」が10.1ポイント減となっています。

前回調査の結果<低学年（1～3年生）の間>



前回調査の結果<高学年（4～6年生）の間>



前回の選択肢に「放課後子ども教室」は、なし

低学年（1～3年生）の希望日数（週間）では、「自宅」で「5日」が、「祖父母や友人・知人宅」で「2日」が、「習い事」で「2日」が、「児童館」で「2日」が、「放課後子ども教室」で「5日」が、「放課後児童クラブ」で「5日」が、「その他」で「3日」が、それぞれ最も多くなっています。

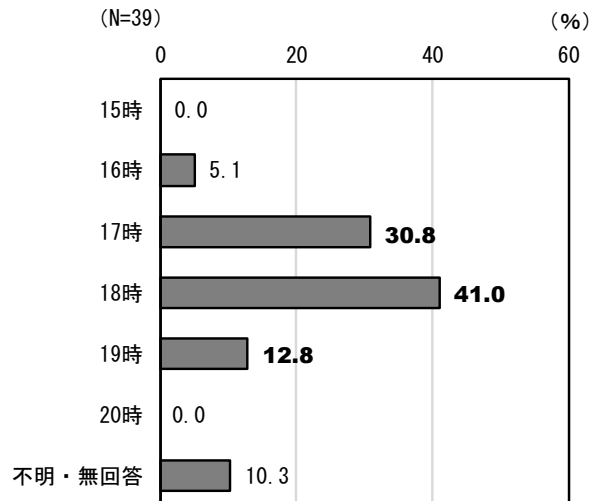
「放課後児童クラブ」の利用希望時間（終了時刻）では、「18時」が41.0%と最も多く、次いで「17時」が30.8%、「19時」が12.8%となっています。

<低学年（1～3年生）の利用希望日数（週間）>

	(%)							
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
1. 自宅 (N=42)	2.4	14.3	16.7	14.3	35.7	2.4	2.4	11.9
2. 祖父母や友人・知人宅 (N=11)	9.1	45.5	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	18.2
3. 習い事 (N=26)	19.2	50.0	19.2	7.7	0.0	0.0	0.0	3.8
4. 児童館 (N=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 放課後子ども教室 (N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
6. 放課後児童クラブ (N=39)	0.0	2.6	23.1	5.1	51.3	10.3	0.0	7.7
7. ファミリー・サポート・センター (N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. その他 (N=5)	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

※濃い色の塗りつぶしはいちばん多いもの、薄い色の塗りつぶしは次に多いもの
 ※「4」「5」「8」は、N数が少ない（10人未満）ことに注意

<放課後児童クラブの希望利用時間（下校時から〇時まで）>



高学年（4～6年生）の希望日数（週間）では、「自宅」で「5日」が、「祖父母や友人・知人宅」で「2日」が、「習い事」で「2日」が、「放課後子ども教室」で「3日」が、「放課後児童クラブ」で「5日」が、「その他」で「3日」が、それぞれ最も多くなっています。

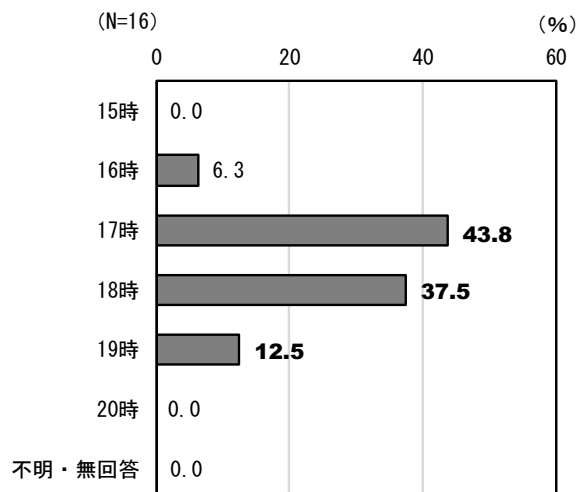
「放課後児童クラブ」の利用希望時間（終了時刻）では、「17時」が43.8%と最も多く、次いで「18時」が37.5%、「19時」が12.5%となっています。

<高学年（4～6年生）の利用希望日数／週間>

	(%)							
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
1. 自宅 (N=39)	7.7	12.8	20.5	10.3	41.0	0.0	0.0	7.7
2. 祖父母や友人・知人宅 (N=11)	18.2	54.5	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
3. 習い事 (N=30)	10.0	43.3	33.3	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7
4. 児童館 (N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 放課後子ども教室 (N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 放課後児童クラブ (N=16)	6.3	12.5	12.5	18.8	37.5	12.5	0.0	0.0
7. ファミリー・サポート・センター (N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. その他 (N=6)	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

※濃い色の塗りつぶしはちばん多いもの、薄い色の塗りつぶしは次に多いもの
 ※「5」「8」は、N数が少ない（10人未満）ことに注意

<放課後児童クラブの希望利用時間（下校時から〇時まで）>



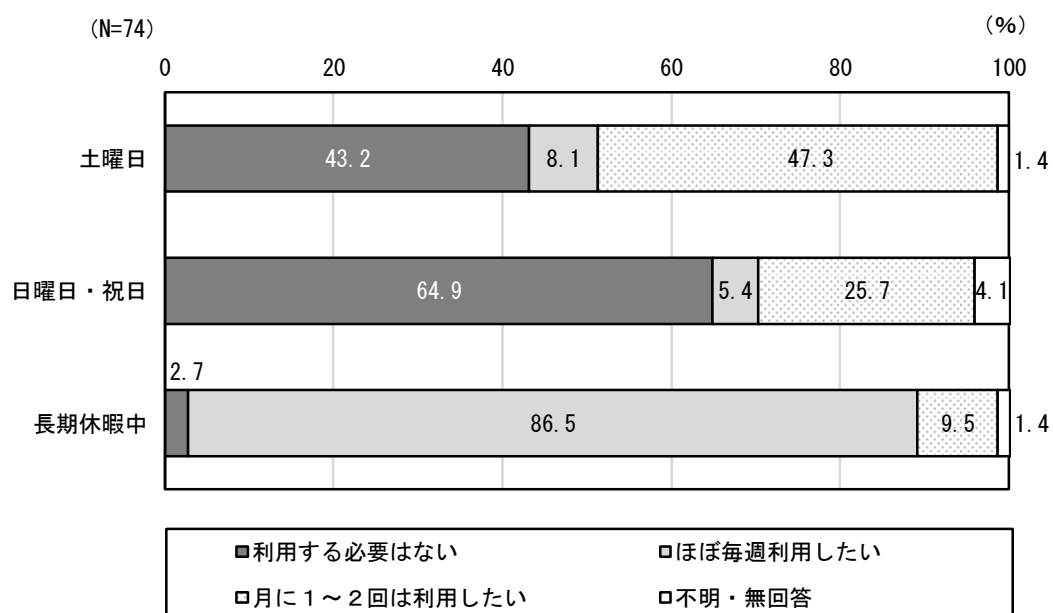
問 26 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた人への質問

問 27 土曜日と日曜日・祝日、または夏休みや冬休みなどの長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はあるか（それぞれ1つに○）利用したい時間帯は（数字で記入）。

土曜日では、「月に1～2回は利用したい」が47.3%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が43.2%、「ほぼ毎週利用したい」が8.1%となっています。

日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が64.9%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が25.7%、「ほぼ毎週利用したい」が5.4%となっています。

長期休暇中では、「ほぼ毎週利用したい」が86.5%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が9.5%、「利用する必要はない」が2.7%となっています。

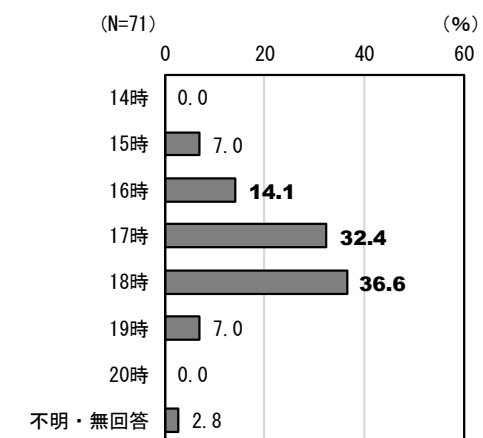
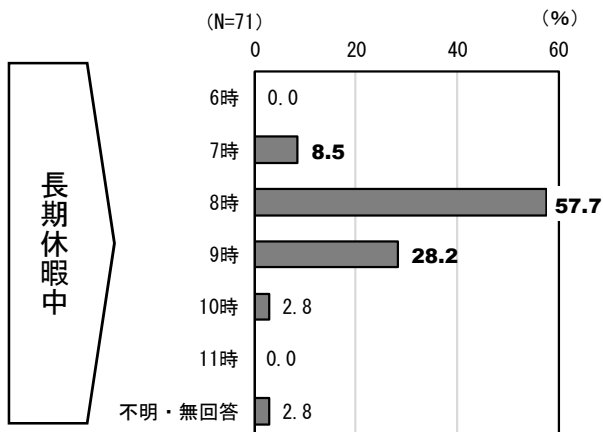
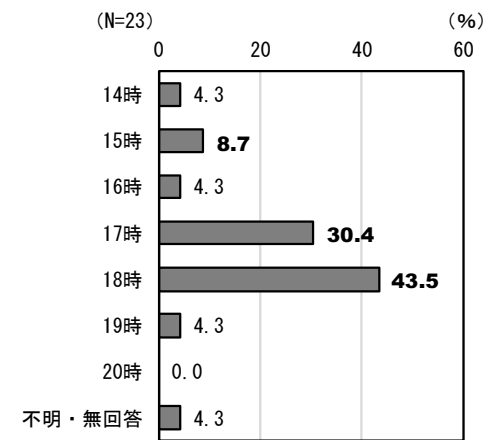
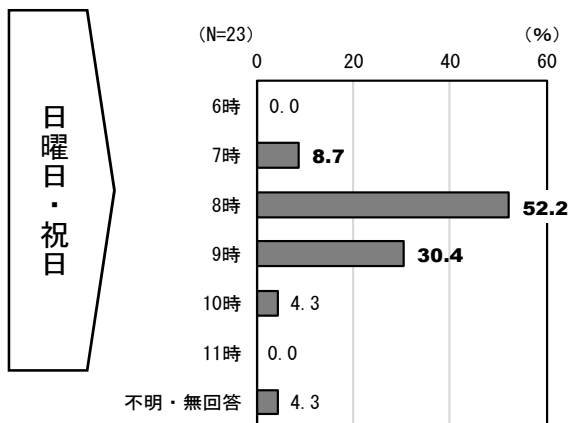
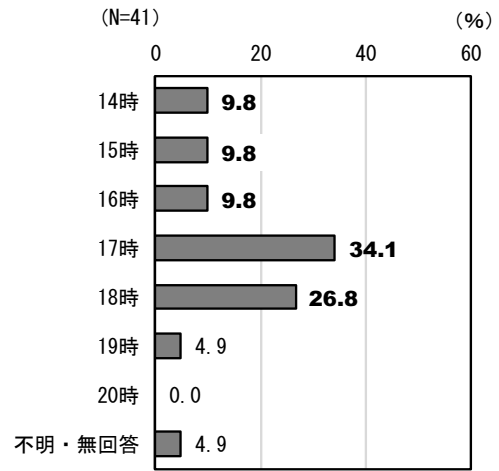
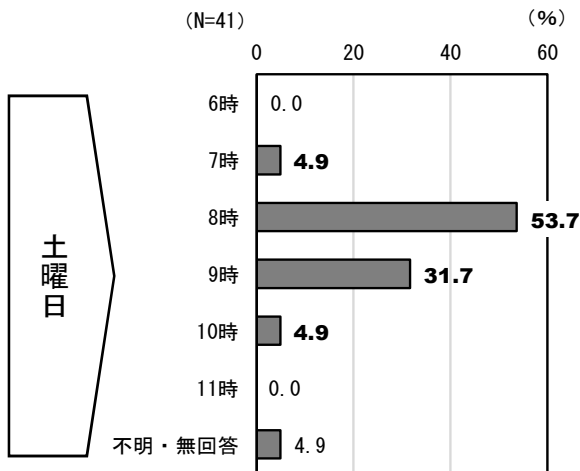


開始希望時間では、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中ともに、「8時」が最も多くなっています。

終了希望時間では、土曜日は「17時」が、日曜日・祝日と長期休暇中はともに、「18時」が最も多くなっています。

<開始希望時間>

<終了希望時間>

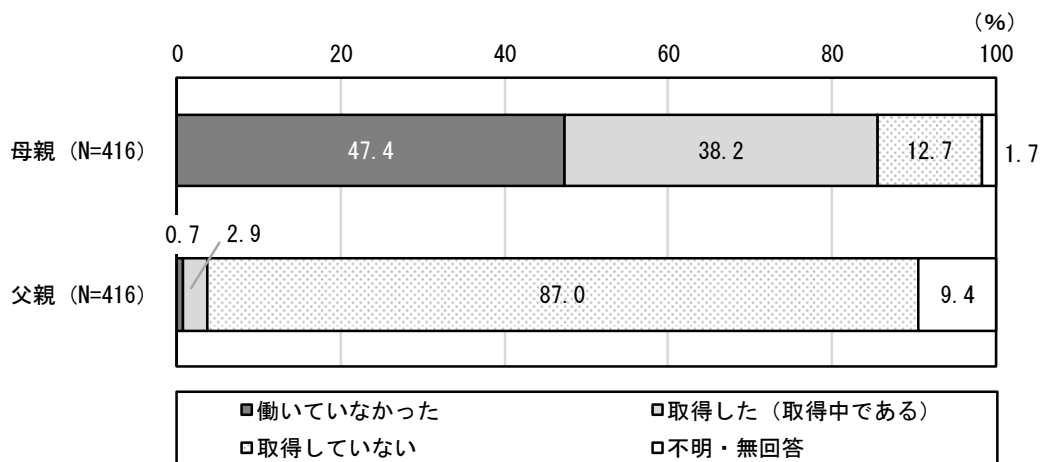


6. 職場の両立支援制度について

問 28 子どもが生まれた時の育児休業取得の有無。(それぞれ1つに○)

母親では、「働いていなかった」が47.4%と最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が38.2%、「取得していない」が12.7%となっています。

父親では、「取得していない」が87.0%と最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が2.9%、「働いていなかった」が0.7%となっています。

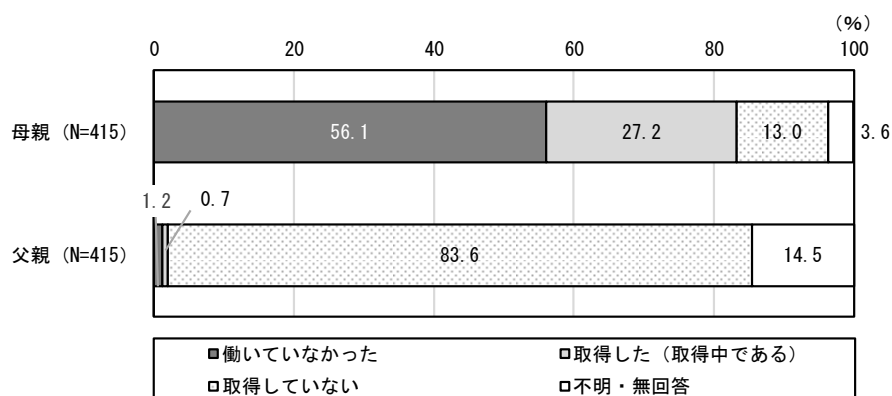


【前回調査との比較】

前回の調査との比較でみると、母親では、「働いていなかった」が8.7ポイント減、「取得した(取得中である)」が11.0ポイント増、「取得していない」が0.3ポイント減となっています。

父親では、「働いていなかった」が0.5ポイント減、「取得した(取得中である)」が2.2ポイント増、「取得していない」が3.4ポイント増となっています。

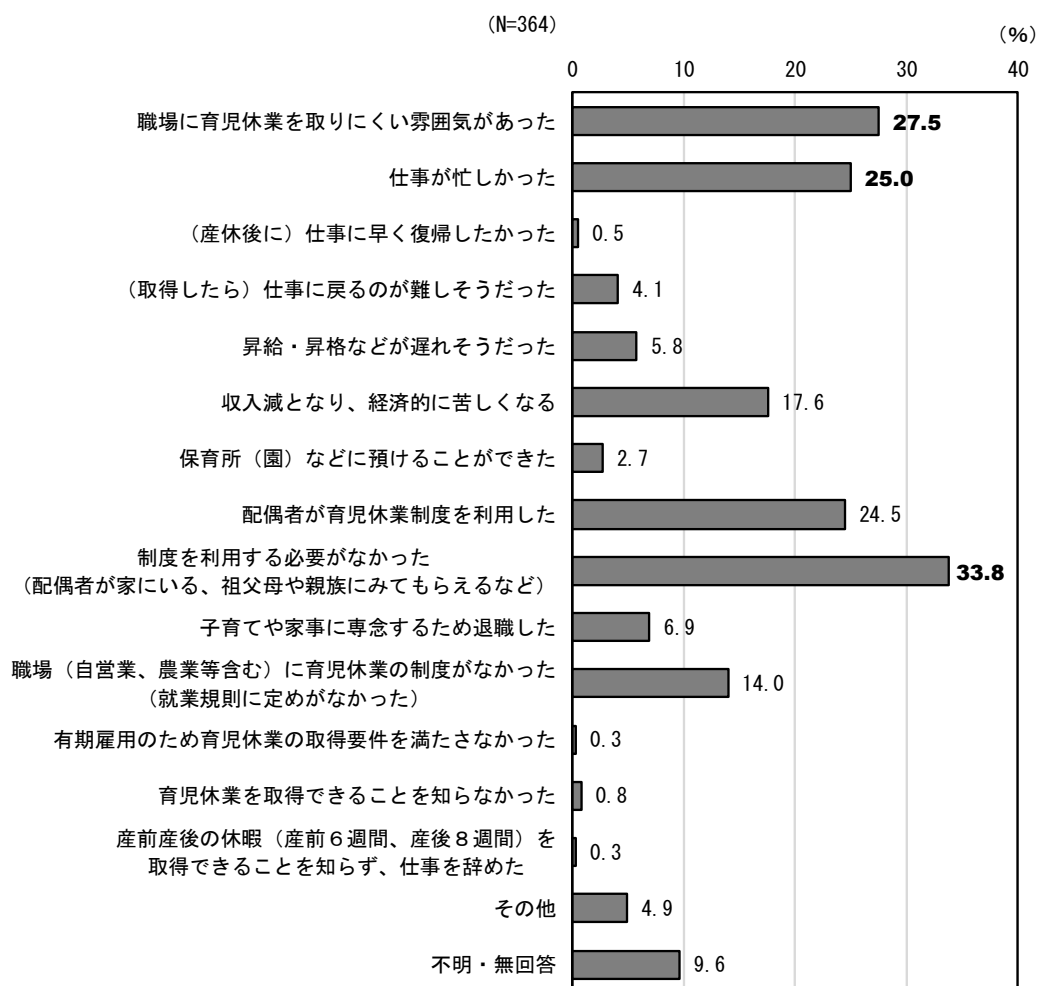
前回調査の結果



問 28 で「3. 取得していない」に○をつけた人への質問

問 28-1 育児休業を取得しなかった理由。(○はいくつでも)

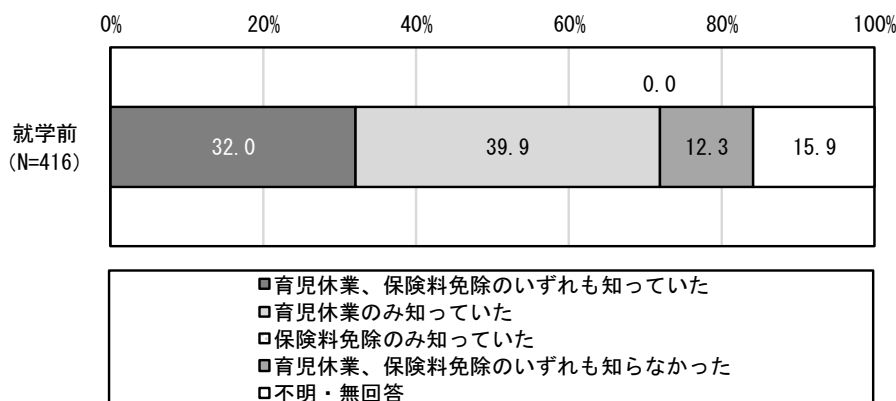
「制度を利用する必要がなかった」が 33.8%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 27.5%、「仕事が忙しかった」が 25.0%となっています。



問 28-2 育児休業や保険料免除の制度を知っているか。(1つに○)

「育児休業のみ知っていた」が39.9%と最も多く、次いで「育児休業、保険料免除のいずれも知っていた」が32.0%、「育児休業、保険料免除のいずれも知らなかった」が12.3%となっています。

※育児休業：子どもが1歳（一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで休業できる制度。
 ※保険料免除：子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間は、健康保険や厚生年金保険の保険料が免除になる制度。

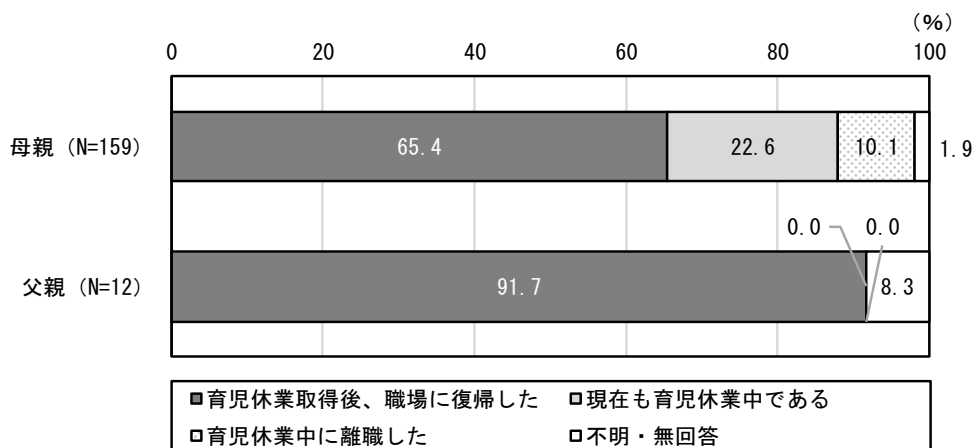


問 28 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた人への質問

問 28-3 育児休業取得後、職場に復帰したか。(それぞれ1つに○)

母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が65.4%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が22.6%、「育児休業中に離職した」が10.1%となっています。

父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が91.7%で、「現在も育児休業中である」と「育児休業中に離職した」と答えた人はいませんでした。

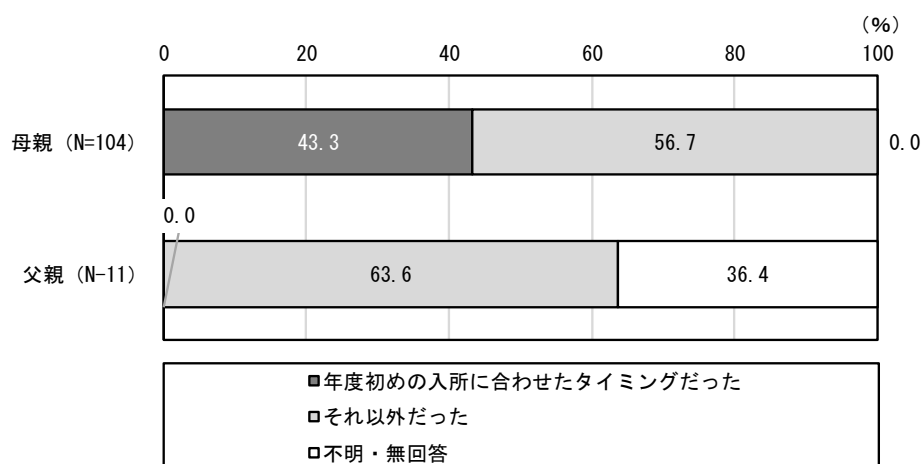


問 28-3 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた人への質問

問 28-4 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングか、それ以外か。(それぞれ1つに○)

母親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が43.3%、「それ以外だった」が56.7%となっています。

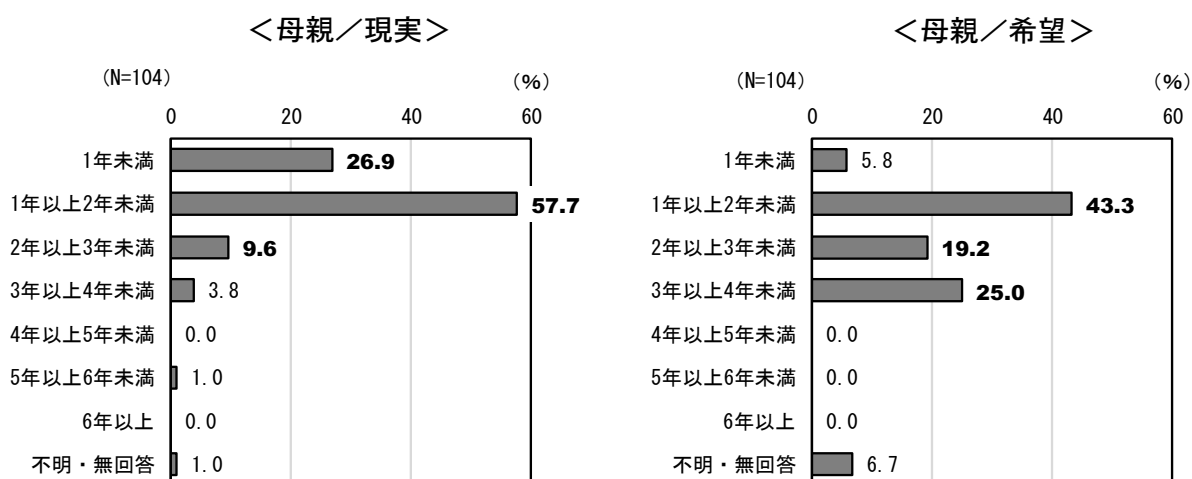
父親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が0.0%、「それ以外だった」が63.6%となっています。



問 28-5 子どもが何歳何ヶ月のときに育児休業から職場に復帰したか(現実)。また、何歳何ヶ月まで取得したかったか(希望)。(数字で記入)

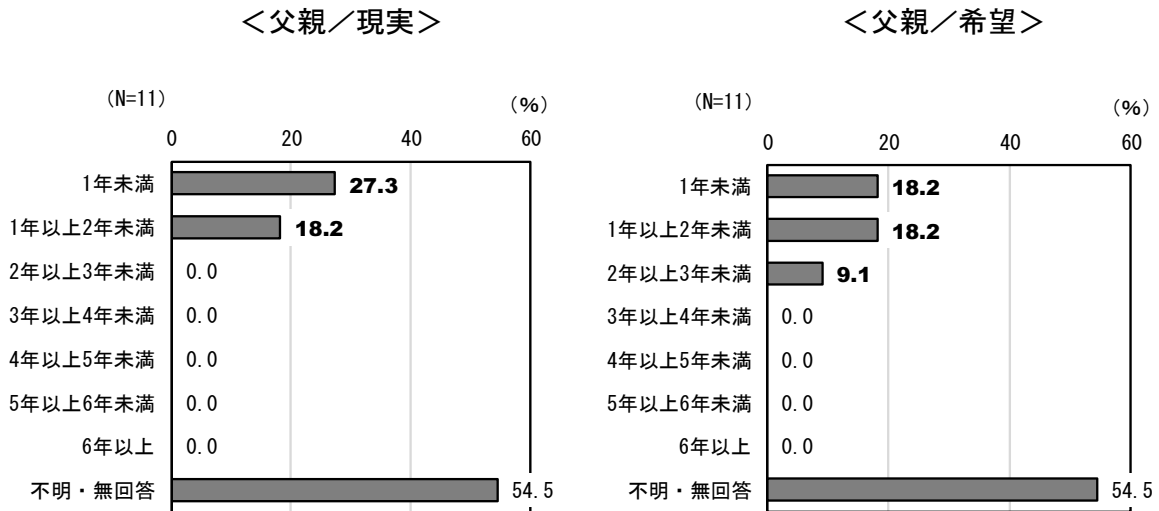
母親の現実では、「1年以上2年未満」が57.7%と最も多く、次いで「1年未満」が26.9%、「2年以上3年未満」が9.6%となっています。

母親の希望では、「1年以上2年未満」が43.3%と最も多く、次いで「3年以上4年未満」が25.0%、「2年以上3年未満」が19.2%となっています。



父親の現実では、「1年未満」が27.3%と最も多く、次いで「1年以上2年未満」が18.2%となっています。

父親の希望では、「1年未満」と「1年以上2年未満」がともに18.2%と最も多く、次いで「2年以上3年未満」が9.1%となっています。

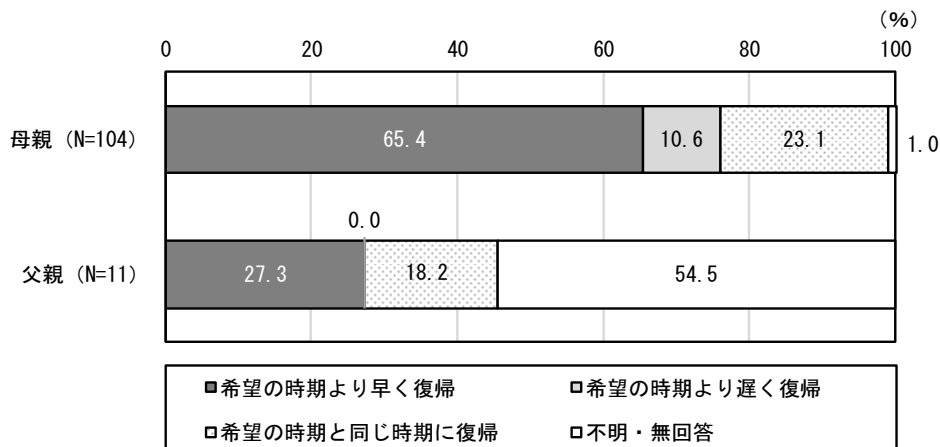


問 28-5 で実際の復帰と希望が異なる人への質問

問 28-6 復帰時期の内訳と希望の時期に職場復帰しなかった理由。
(1つに○)

母親の復帰時期では、「希望の時期より早く復帰」が65.4%と最も多く、次いで「希望の時期と同じ時期に復帰」が23.1%、「希望の時期より遅く復帰」が10.6%となっています。

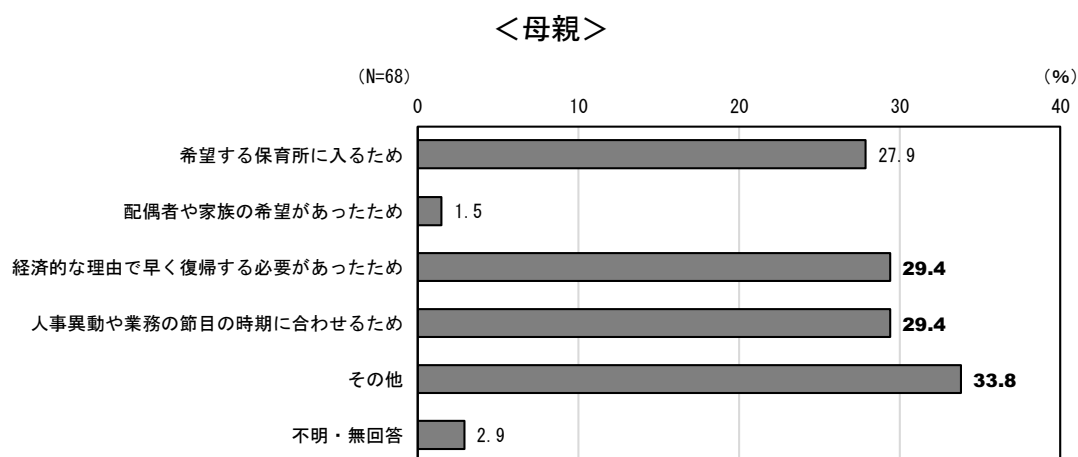
父親の復帰時期では、「希望の時期より早く復帰」が27.3%と最も多く、次いで「希望の時期と同じ時期に復帰」が18.2%となっています。「希望の時期より遅く復帰」と答えた人はいませんでした。



●希望より早く復帰した人の理由

母親では、「その他」が33.8%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」と「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がともに29.4%となっています。

父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が1人、「その他」が2人となっています。(N数が3人と少ないため、構成比(%)ではなく人数で分析)



— 「その他」の回答（主なもの） —

職場の制度で育児休業が1年しかとれないから（9件）／職場や仕事の都合（7件）／保育所に入所できたため

＜父親＞

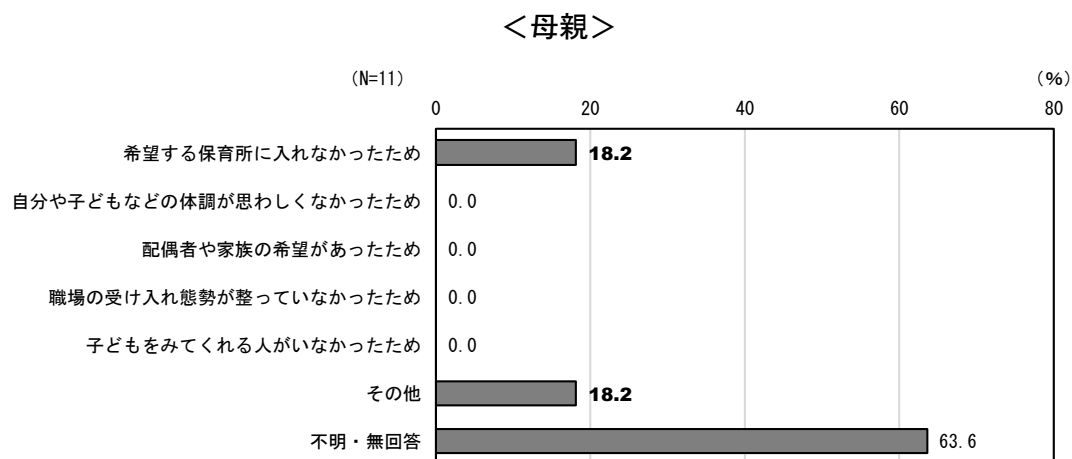
理由	人数（人） (N=3)
希望する保育所に入るため	0
配偶者や家族の希望があったため	0
経済的な理由で早く復帰する必要があったため	1
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	0
その他	2
不明・無回答	0

※N数が少ない（10人未満）ため、人数で分析

●希望より遅く復帰した人の理由

母親では、「希望する保育所に入れなかったため」と「その他」がともに 18.2%となっています。

父親では、分析対象者がいませんでした。

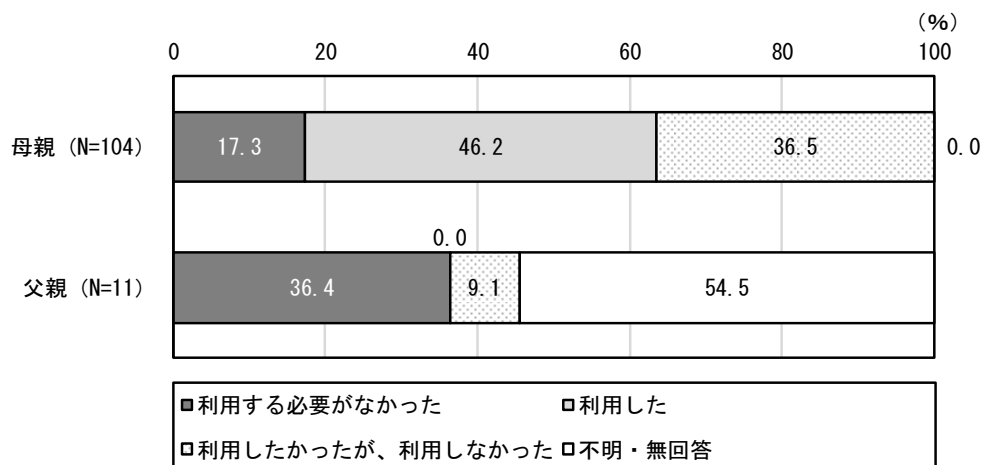


問 28-3 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた人への質問

問 28-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用したか。
(1つに○)

母親では、「利用した」が 46.2%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった」が 36.5%、「利用する必要がなかった」が 17.3%となっています。

父親では、「利用する必要がなかった」が 36.4%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった」が 9.1%となっています。「利用した」と答えた人はいませんでした。



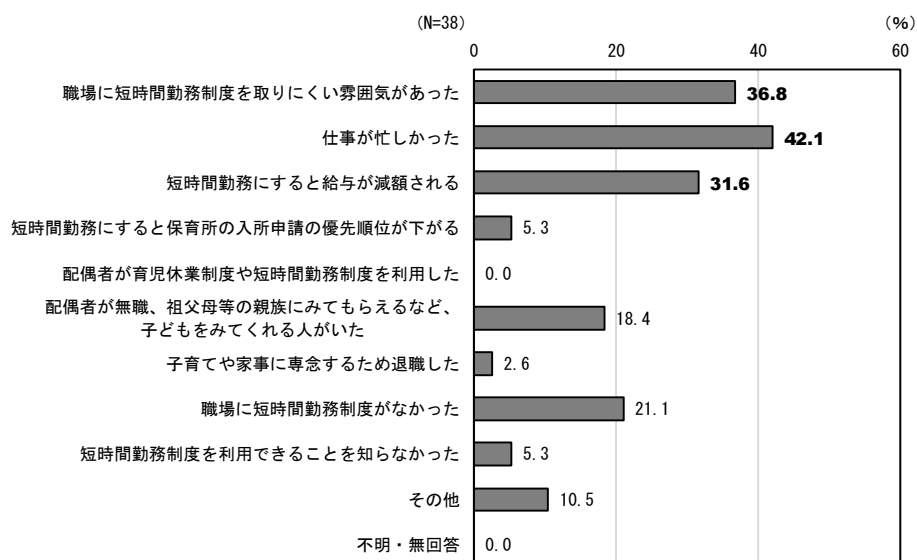
問 28-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた人への質問

問 28-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由。
（○はいくつでも）

母親では、「仕事が忙しかった」が 42.1%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 36.8%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が 31.6%となっています。

父親では、「仕事が忙しかった」「短時間勤務にすると給与が減額される」と「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」が、いずれも 1 人となっています。（N 数が 1 人のため、構成比(%)ではなく人数で分析）

<母親>



<父親>

理由	人数 (人) (N=1)
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	0
仕事が忙しかった	1
短時間勤務にすると給与が減額される	1
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	0
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	1
子育てや家事に専念するため退職した	0
職場に短時間勤務制度がなかった	0
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	0
その他	0
不明・無回答	0

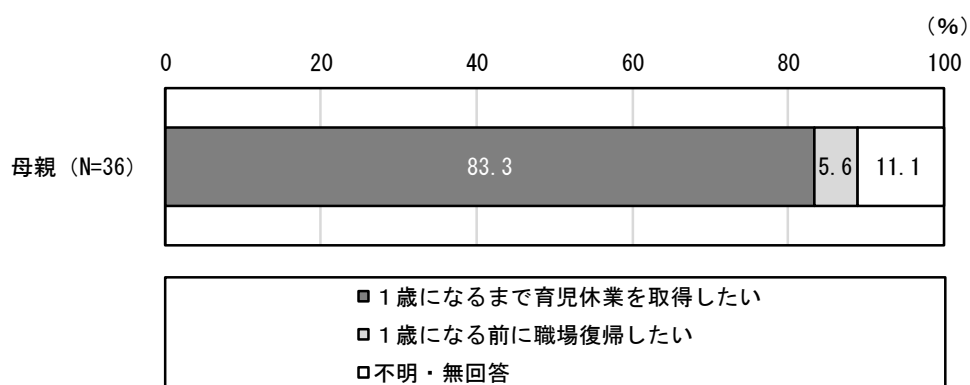
※N数が1人のため、人数で分析

問 28-3 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた人への質問

問 28-9 子どもが1歳になるまで必ず預けられるサービスがあればどうするか。
(1つに○)

母親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が83.3%、「1歳になる前に職場復帰したい」が5.6%となっています。

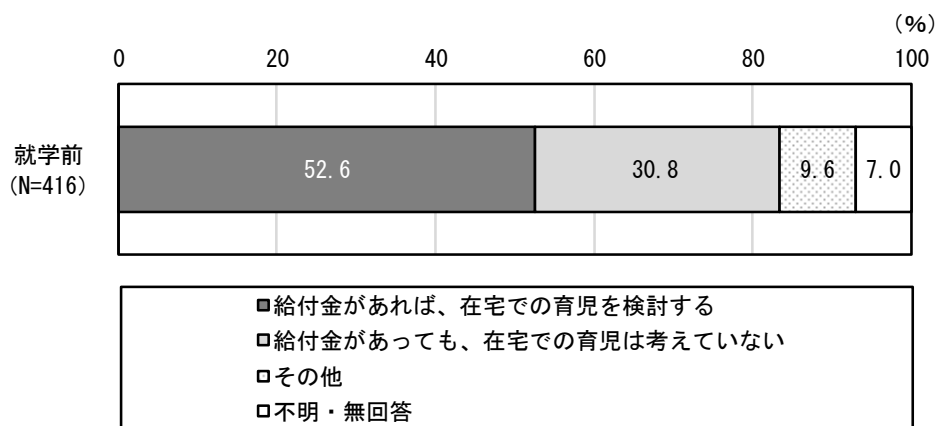
父親では、分析対象者がいませんでした。



7. その他

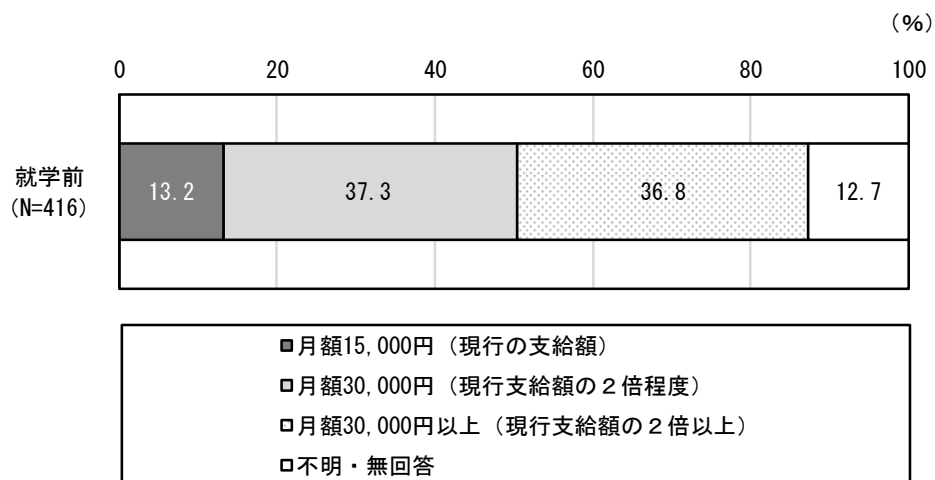
問 29 和歌山県の「在宅育児支援給付金」のような給付金があれば、在宅での育児についてどのように考えるか。(1つに○)

「給付金があれば、在宅での育児を検討する」が52.6%と最も多く、次いで「給付金があっても、在宅での育児は考えていない」が30.8%、「その他」が9.6%となっています。



問 29-1 どのくらいの支給額であれば、在宅での育児を検討するか。(1つに○)

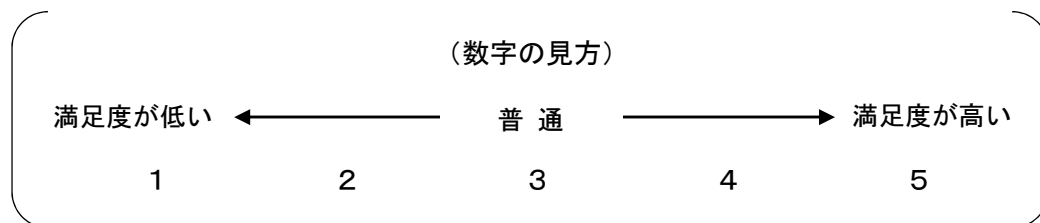
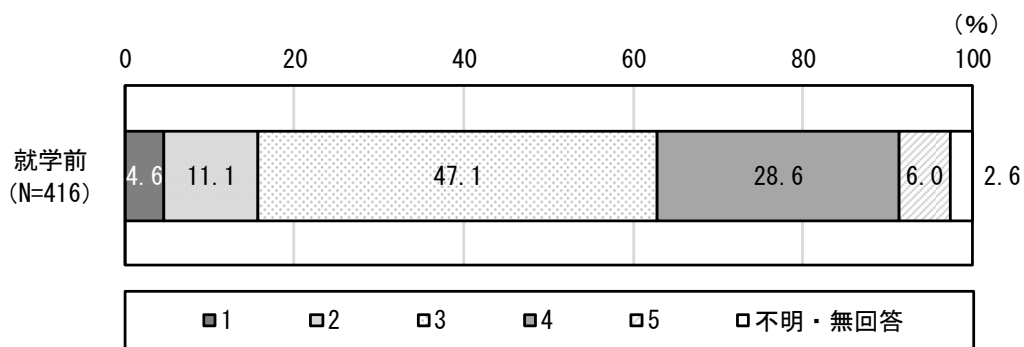
「月額30,000円」が37.3%と最も多く、次いで「月額30,000円以上」が36.8%、「月額15,000円」が13.2%となっています。



問 30 紀の川市の子育ての環境や支援制度への満足度（5段階評価）。

（1つに○）

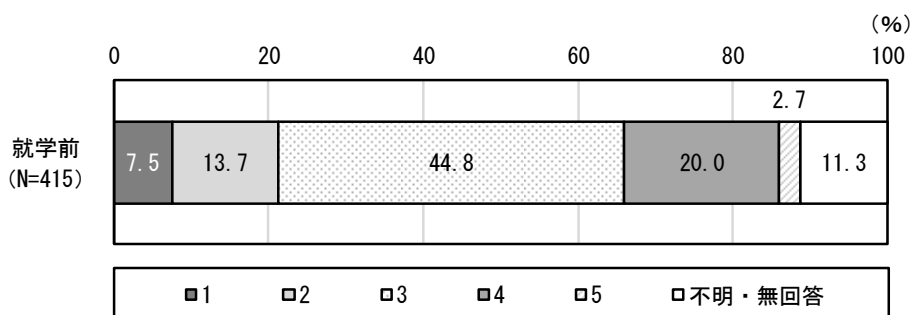
「(満足度) 3」が47.1%と最も多く、次いで「4」が28.6%、「2」が11.1%となっています。



【前回調査との比較】

前回の調査との比較でみると、「1」が2.9ポイント減、「2」が2.6ポイント減、「3」が2.3ポイント増、「4」が8.6ポイント増、「5」が3.3ポイント増となっています。

前回調査の結果



IV 小学生の児童に関する調査結果

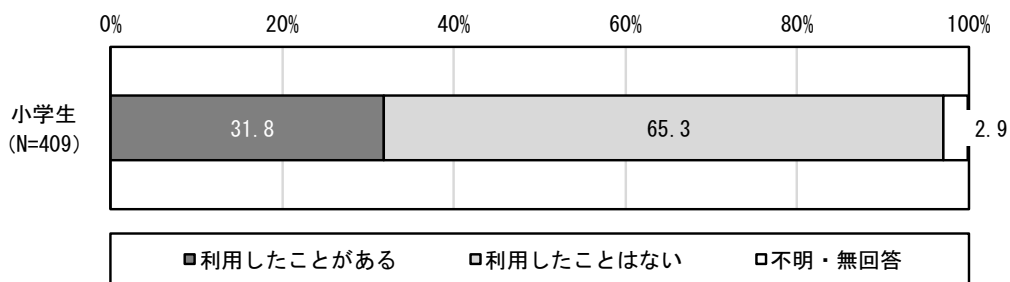
1. 地域の子育て支援事業の利用状況

問 14 地域子育て支援センターの利用の有無（1つに○）と、利用したことがある人の利用頻度（数字で記入）。

「利用したことがある」が31.8%、「利用したことはない」が65.3%となっています。

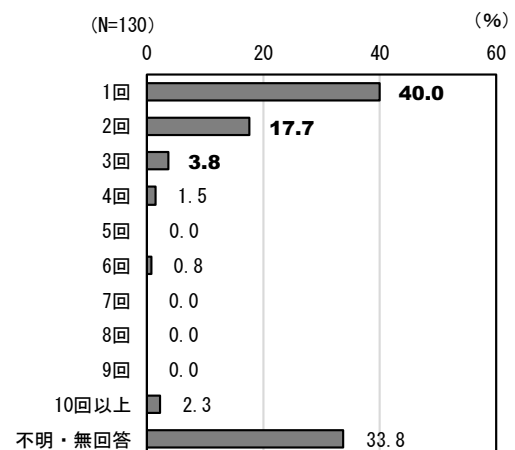
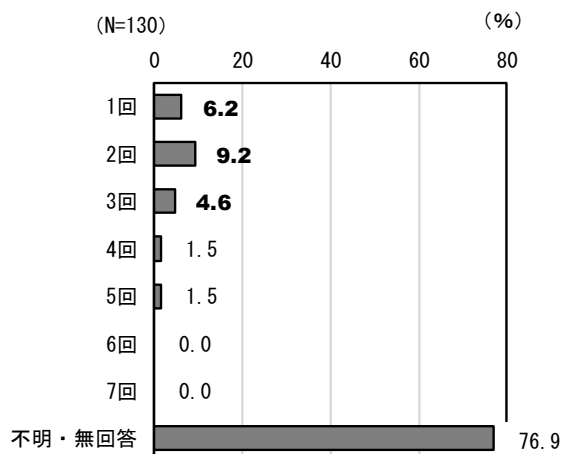
利用したことがある人の利用頻度（週間）では、「2回」が9.2%と最も多く、次いで「1回」が6.2%、「3回」が4.6%となっています。

利用したことがある人の利用頻度（月間）では、「1回」が40.0%と最も多く、次いで「2回」が17.7%、「3回」が3.8%となっています。



<利用頻度／週間>

<利用頻度／月間>

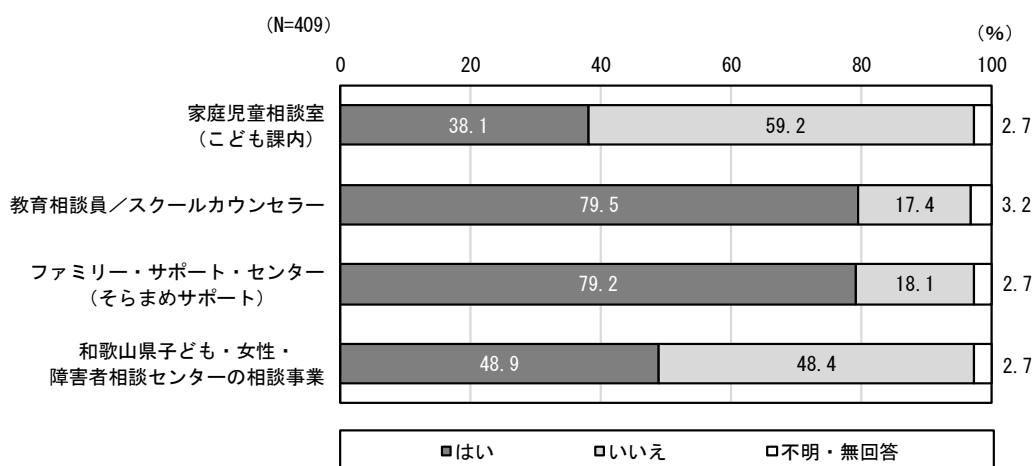


問 15 下記の施設や事業等についての、「認知度（知っている）」「利用度（これまでにご利用したことがある）」「利用意向（今後利用したい）」。
（それぞれ1つに○）

認知度では、「教育相談員／スクールカウンセラー」と「ファミリー・サポート・センター（そらまめサポート）」で、「はい（知っている）」が8割近くとなっています。

「和歌山県子ども・女性・障害者相談センターの相談事業」で、「はい」が約半数、「家庭児童相談室（こども課内）」で、「はい」が約4割となっています。

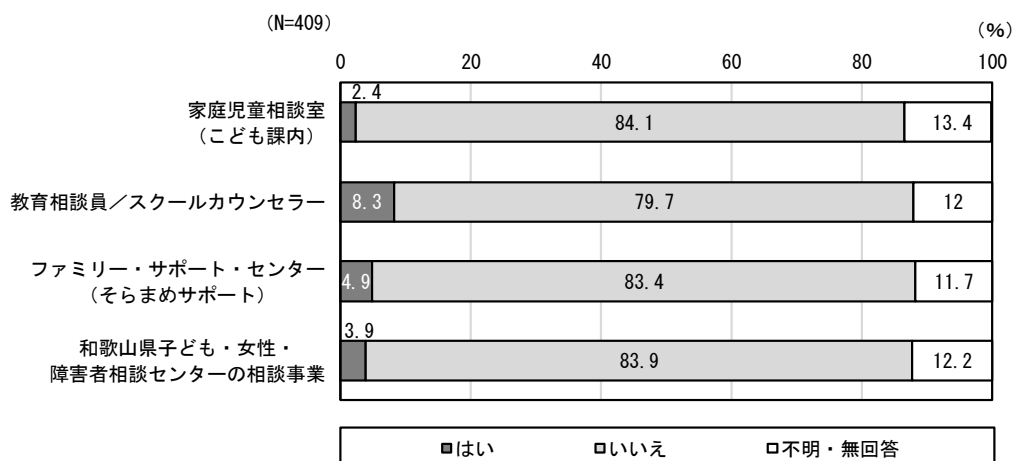
<認知度>



利用度では、「家庭児童相談室」「ファミリー・サポート・センター」「和歌山県子ども・女性・障害者相談センターの相談事業」は、いずれも「いいえ（利用したことがない）」が8割を超えています。

「教育相談員／スクールカウンセラー」は、「いいえ」が8割近くとなっています。

<利用度>

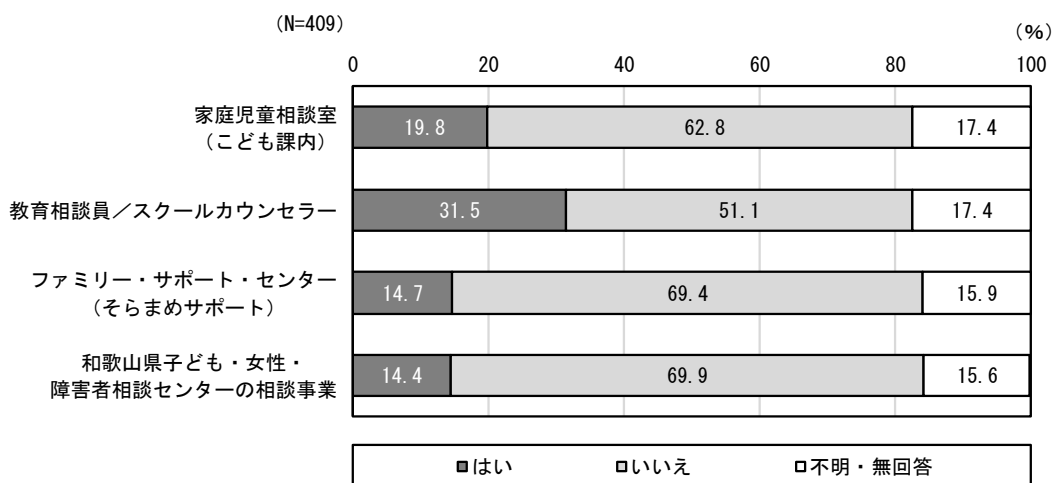


利用意向では、「教育相談員／スクールカウンセラー」で、「はい（今後利用したい）」が3割を超えています。

「家庭児童相談室」で、「はい」が2割近くとなっています。

「ファミリー・サポート・センター」と「和歌山県子ども・女性・障害者相談センターの相談事業」で、「はい」が15%近くとなっています。

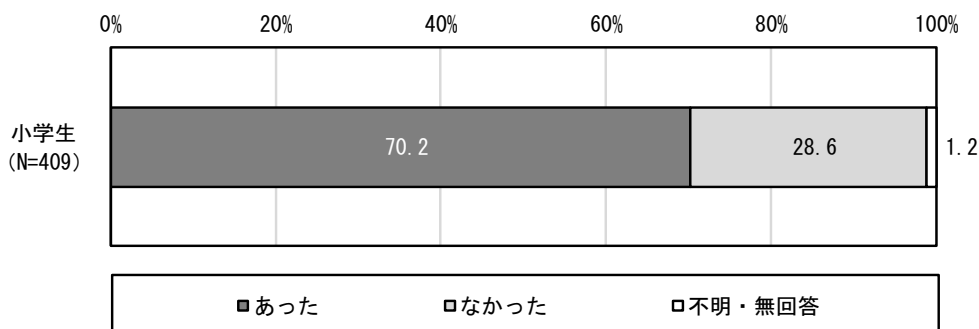
<利用意向>



2. 子どもの病気の際の対応

問 16 過去1年間に、病気やケガで子どもが学校を休んだことがあるか。
(○は1つ)

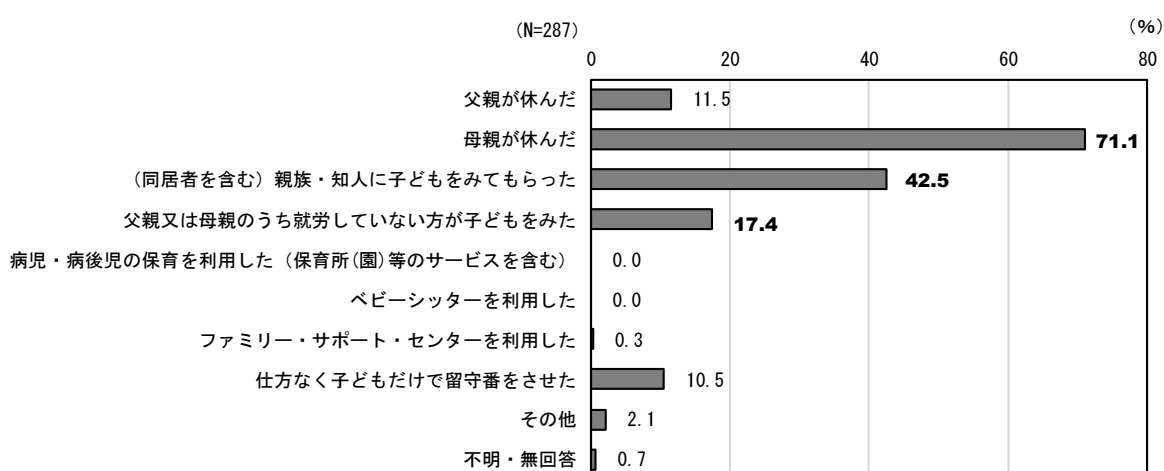
「あった」が70.2%、「なかった」が28.6%となっています。



問 16-1 子どもが病気やケガで学校を休んだ場合の対処方（〇はいくつでも）と、それぞれの日数（数字で記入）。

「母親が休んだ」が71.1%と最も多く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が42.5%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が17.4%となっています。

対処の日数では、「父親が休んだ」「母親が休んだ」「親族・知人にみてもらった」と「父母のうち就労していない方が子どもをみた」でいずれも「1日」が、「ファミリー・サポート・センターを利用」で「3日」が、「仕方なく子どもだけで留守番」で「1日」と「2日」が、「その他」で「2日」が、それぞれ最も多くなっています。



<対処した日数>

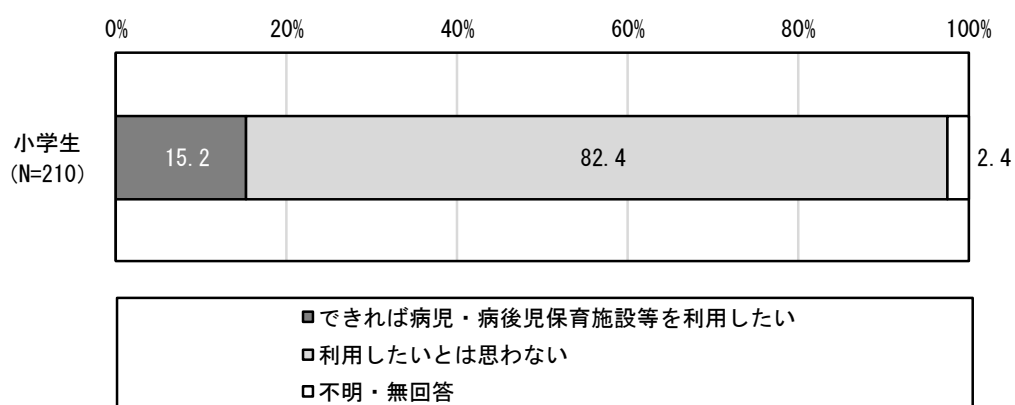
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	不明・無回答
1. 父親が休んだ (N=33)	45.5	24.2	6.1	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	9.1	9.1
2. 母親が休んだ (N=204)	26.0	22.1	14.7	4.4	7.8	1.5	4.4	0.5	0.0	8.8	9.8
3. 親族・知人にみてもらった (N=122)	23.8	23.0	22.1	3.3	8.2	0.0	1.6	0.0	0.0	8.2	9.8
4. 父母のうち就労していない方が子どもをみた (N=50)	22.0	16.0	16.0	2.0	16.0	0.0	6.0	0.0	0.0	10.0	12.0
5. 病児・病後児保育を利用 (N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. ベビーシッターを利用 (N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. ファミリー・サポート・センターを利用 (N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 仕方なく子どもだけで留守番 (N=30)	36.7	36.7	13.3	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
9. その他 (N=6)	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※濃い色の塗りつぶしはいちばん多いもの、薄い色の塗りつぶしは次に多いもの
 ※「7」「9」は、N数が少ない（10人未満）ことに注意

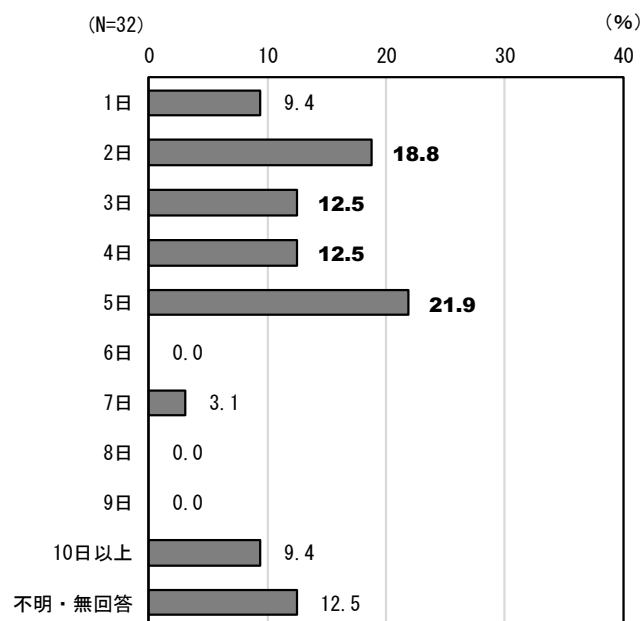
問 16-1 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた人への質問

問 16-2 その際、病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったか（1つに○）また、何日くらい利用したいと思ったか（数字で記入）。

「利用したい」が 15.2%、「利用したいとは思わない」が 82.4%となっています。
 利用希望日数では、「5日」が 21.9%と最も多く、次いで「2日」が 18.8%、「3日」と「4日」がともに 12.5%となっています。



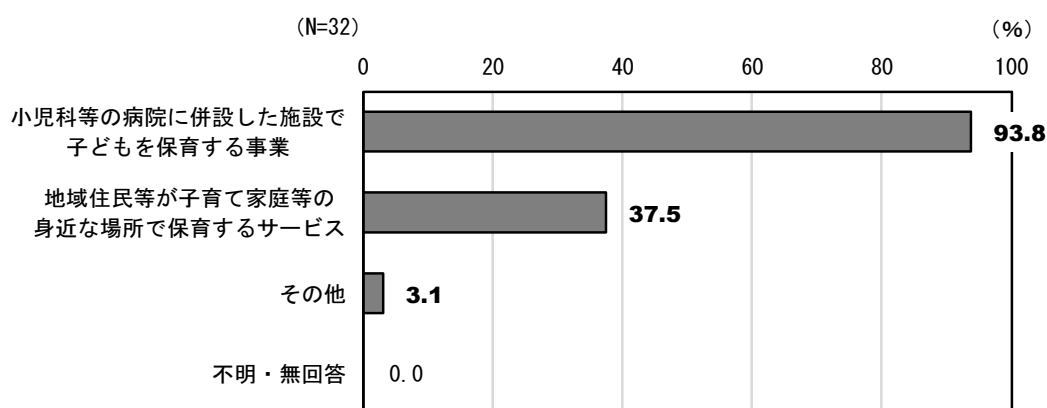
<利用希望日数>



問 16-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた人への質問

問 16-3 上記の目的で子どもを預ける場合、どんな形が望ましいか。
(○はいくつでも)

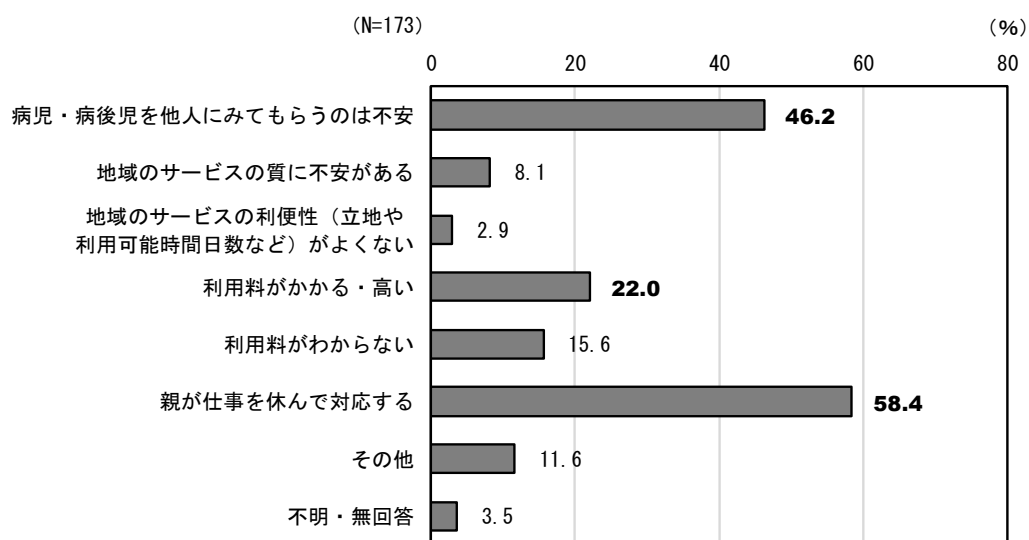
「小児科等の病院に併設した施設で子どもを保育する事業」が93.8%と最も多く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育するサービス」が37.5%、「その他」が3.1%となっています。



問 16-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた人への質問

問 16-4 そう思う理由 (○はいくつでも)

「親が仕事を休んで対応する」が58.4%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が46.2%、「利用料がかかる・高い」が22.0%となっています。



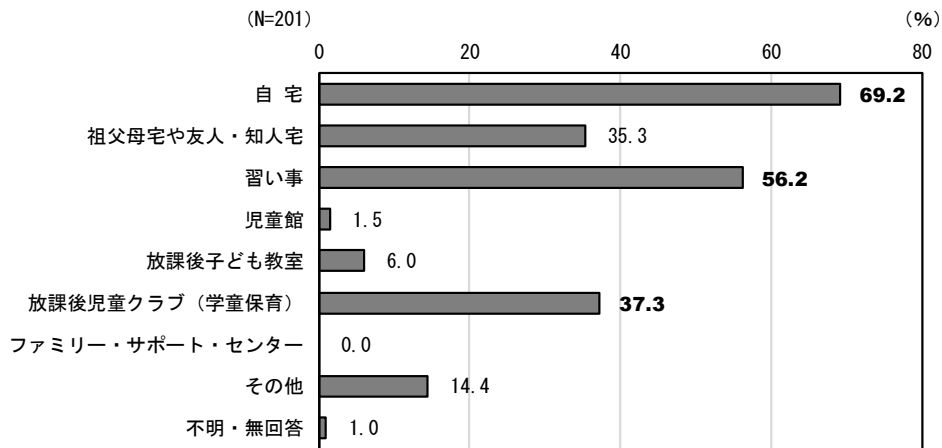
3. 放課後や休日の過ごし方について

問 17 子どもに放課後の時間をどこで過ごさせたいか（○はいくつでも）、また、希望する週当たり日数と時間（数字で記入）。

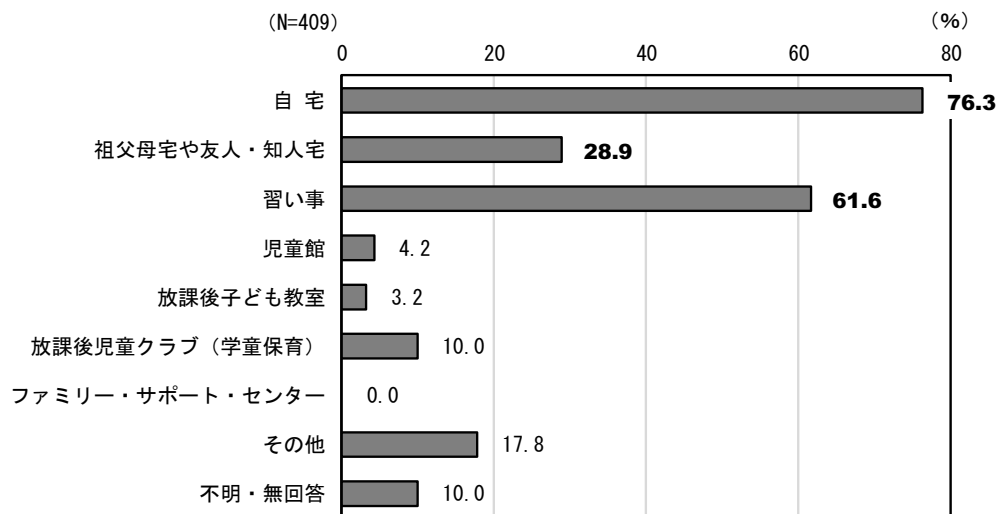
低学年（1～3年生）の間では、「自宅」が69.2%と最も多く、次いで「習い事」が56.2%、「放課後児童クラブ」が37.3%となっています。

高学年（4～6年生）の間では、「自宅」が76.3%と最も多く、次いで「習い事」が61.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」が28.9%となっています。

<低学年（1～3年生）の間>



<高学年（4～6年生）の間>

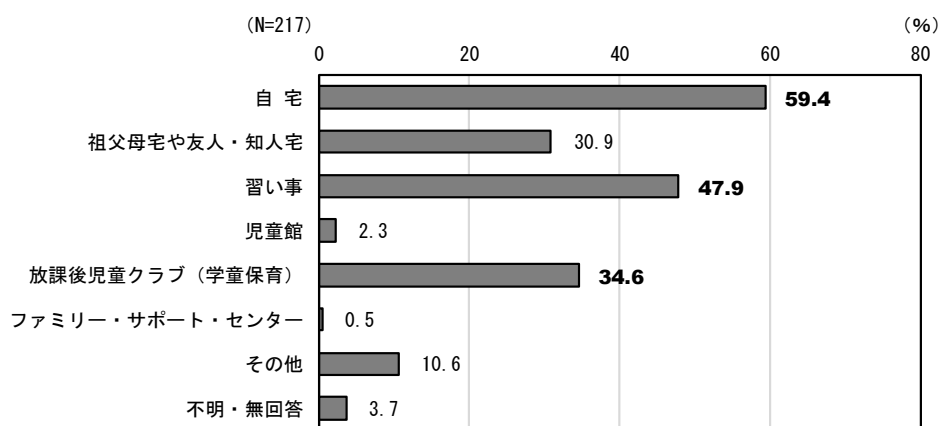


【前回調査との比較】

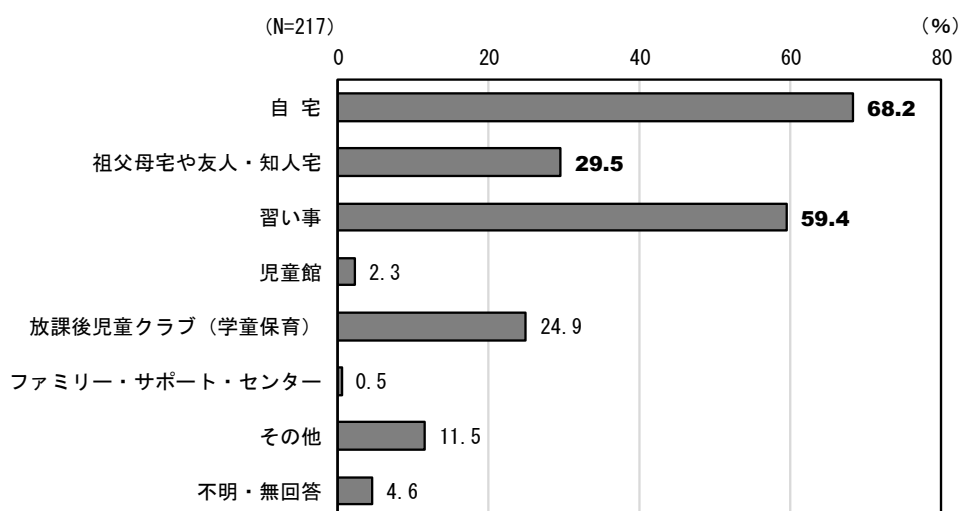
前回の調査との比較でみると、低学年（1～3年生）の間では「自宅」が9.8ポイント増、「祖父母宅や友人・知人宅」が4.4ポイント増、「習い事」が8.3ポイント増、「放課後児童クラブ」が2.7ポイント増となっています。

高学年（4～6年生）の間では、「自宅」が8.1ポイント増、「祖父母宅や友人・知人宅」が0.6ポイント減、「習い事」が2.2ポイント増、「放課後児童クラブ」が14.9ポイント減となっています。

前回調査の結果<低学年（1～3年生）の間>



前回調査の結果<高学年（4～6年生）の間>



前回の選択肢に「放課後子ども教室」は、なし

低学年（1～3年生）の希望する利用日数は、「自宅」で「3日」が、「祖父母や友人・知人宅」で「1日」が、「習い事」で「2日」が、「児童館」で「1日」と「2日」が、「放課後子ども教室」で「1日」が、「放課後児童クラブ（学童保育）」で「5日」が、「その他」で「1日」が、それぞれ最も多くなっています。

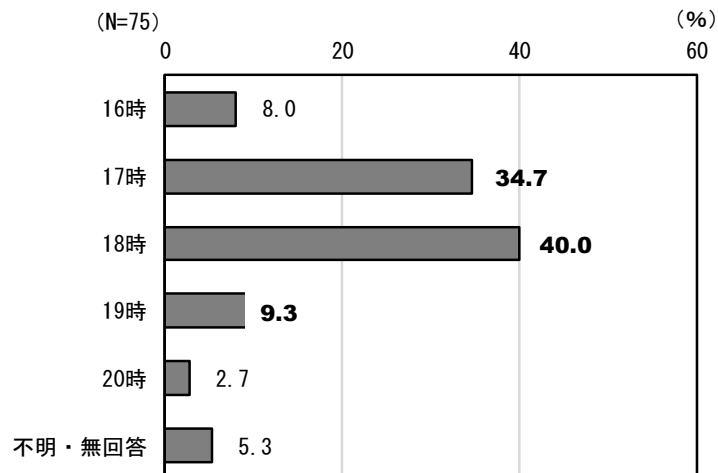
放課後児童クラブの希望利用時間（終了時刻）では、「18時」が40.0%と最も多く、次いで「17時」が34.7%、「19時」が9.3%となっています。

＜低学年（1～3年生）／希望利用日数＞

	(%)							
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
1. 自宅 (N=139)	9.4	17.3	22.3	9.4	20.1	2.9	7.9	10.8
2. 祖父母や友人・知人宅 (N=71)	36.6	22.5	15.5	7.0	7.0	0.0	1.4	9.9
3. 習い事 (N=113)	23.0	36.3	28.3	4.4	1.8	1.8	0.0	4.4
4. 児童館 (N=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
5. 放課後子ども教室 (N=12)	41.7	8.3	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
6. 放課後児童クラブ（学童保育） (N=75)	0.0	4.0	20.0	14.7	48.0	6.7	0.0	6.7
7. ファミリー・サポート・センター(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. その他 (N=29)	31.0	24.1	20.7	3.4	10.3	0.0	0.0	10.3

※濃い色の塗りつぶしはいちばん多いもの、薄い色の塗りつぶしは次に多いもの
※「4」「7」は、N数が少ない（10人未満）ことに注意

＜低学年（1～3年生）／放課後児童クラブの希望利用（終了）時間＞



高学年（4～6年生）の希望する利用日数では、「自宅」で「5日」が、「祖父母や友人・知人宅」で「1日」が、「習い事」で「2日」が、「児童館」で「1日」が、「放課後子ども教室」で「1日」が、「放課後児童クラブ（学童保育）」で「5日」が、「その他」で「1日」が、それぞれ最も多くなっています。

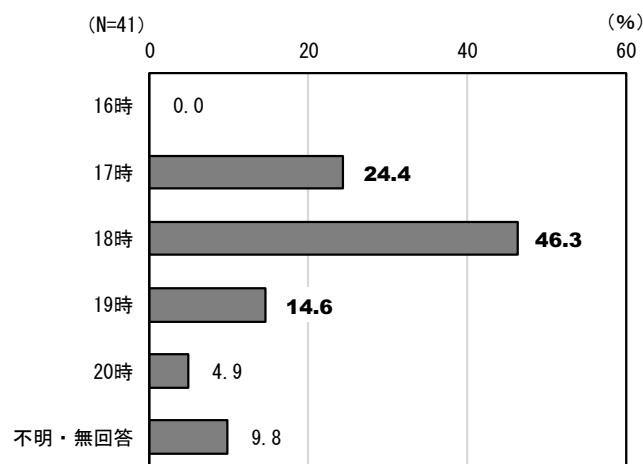
放課後児童クラブの希望利用時間（終了時刻）では、「18時」が46.3%と最も多く、次いで「17時」が24.4%、「19時」が14.6%となっています。

＜高学年（4～6年生） 希望利用日数＞

	(%)							
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
1. 自宅 (N=312)	10.9	19.6	17.0	7.7	26.6	1.6	5.4	11.2
2. 祖父母や友人・知人宅 (N=118)	35.6	28.0	15.3	4.2	9.3	0.8	0.8	5.9
3. 習い事 (N=252)	9.1	36.9	34.1	10.3	2.8	0.8	0.0	6.0
4. 児童館 (N=17)	47.1	29.4	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	17.6
5. 放課後子ども教室 (N=13)	38.5	30.8	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
6. 放課後児童クラブ（学童保育） (N=41)	4.9	9.8	29.3	4.9	43.9	2.4	0.0	4.9
7. ファミリー・サポート・ センター(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. その他 (N=73)	42.5	28.8	11.0	5.5	2.7	1.4	0.0	8.2

※濃い色の塗りつぶしはいちばん多いもの、薄い色の塗りつぶしは次に多いもの

＜高学年（4～6年生）／放課後児童クラブの希望利用（終了）時間＞



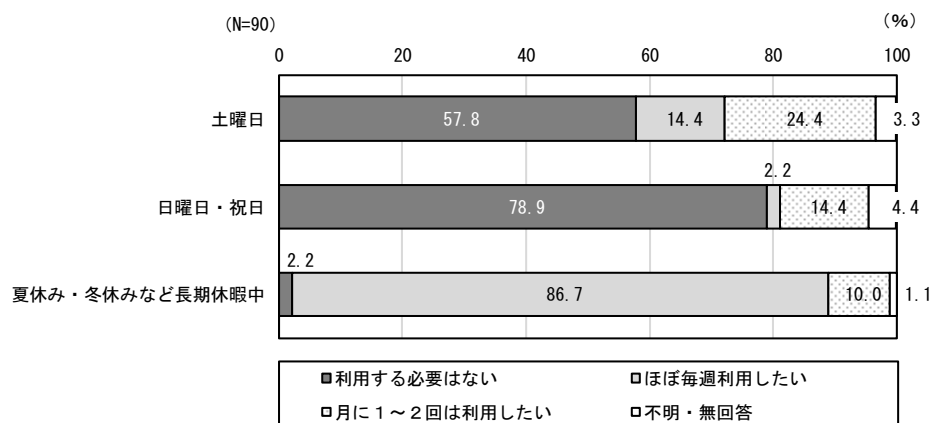
問17の(1)または(2)で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた人への質問

問18 土曜日と日曜日・祝日、または夏休みや冬休みなどの長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はあるか。(それぞれ1つに○)

土曜日では、「利用する必要はない」が57.8%と最も多く、次いで「月に1~2回は利用したい」が24.4%、「ほぼ毎週利用したい」が14.4%となっています。

日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が78.9%と最も多く、次いで「月に1~2回は利用したい」が14.4%、「ほぼ毎週利用したい」が2.2%となっています。

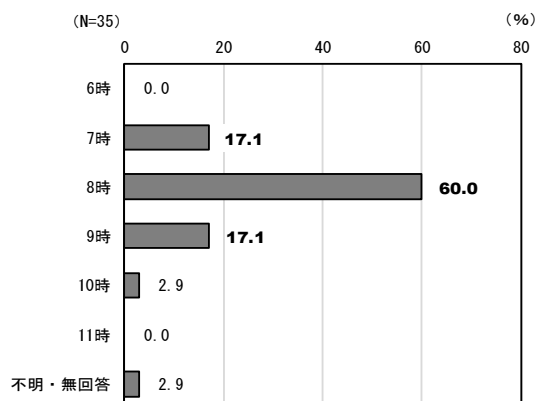
夏休み・冬休みなど長期休暇中では、「ほぼ毎週利用したい」が86.7%と最も多く、次いで「月に1~2回は利用したい」が10.0%、「利用する必要はない」が2.2%となっています。



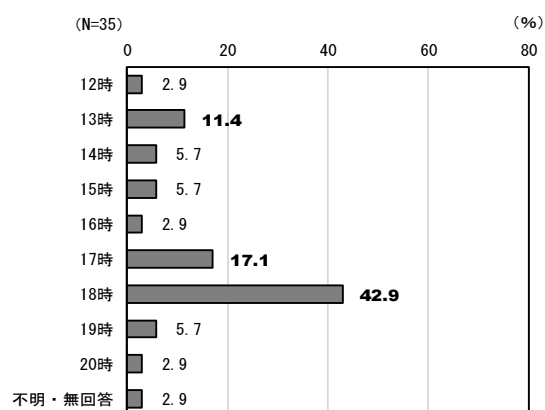
土曜日の希望する開始時間では、「8時」が60.0%と最も多く、次いで「7時」と「9時」がともに17.1%となっています。

土曜日の希望する終了時間では、「18時」が42.9%と最も多く、次いで「17時」が17.1%、「13時」が11.4%となっています。

<土曜日/希望開始時間>



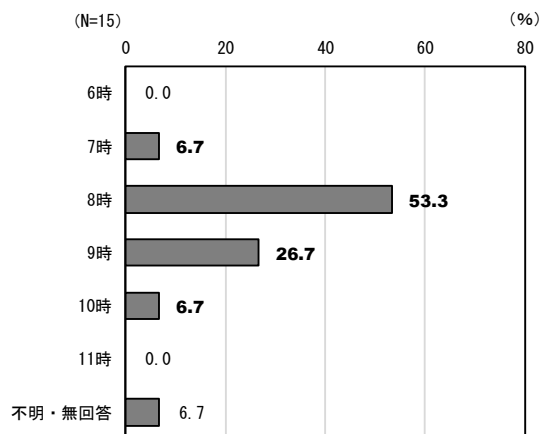
<土曜日/希望終了時間>



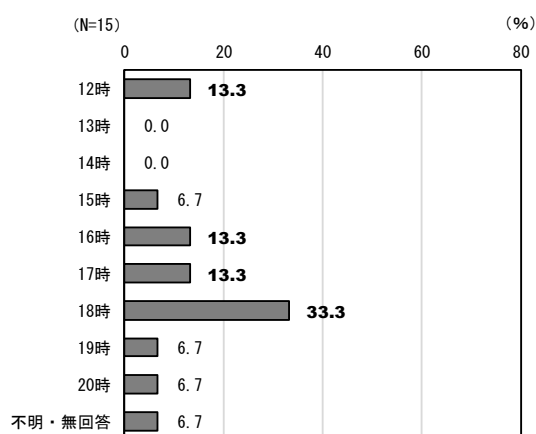
日曜日・祝日の希望する開始時間では、「8時」が53.3%と最も多く、次いで「9時」が26.7%、「7時」と「10時」が6.7%となっています。

日曜日・祝日の希望する終了時間では、「18時」が33.3%と最も多く、次いで「12時」「16時」と「17時」がいずれも13.3%となっています。

<日曜日・祝日／希望開始時間>



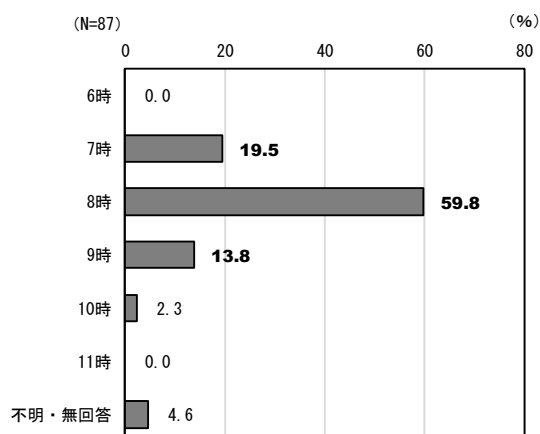
<日曜日・祝日／希望終了時間>



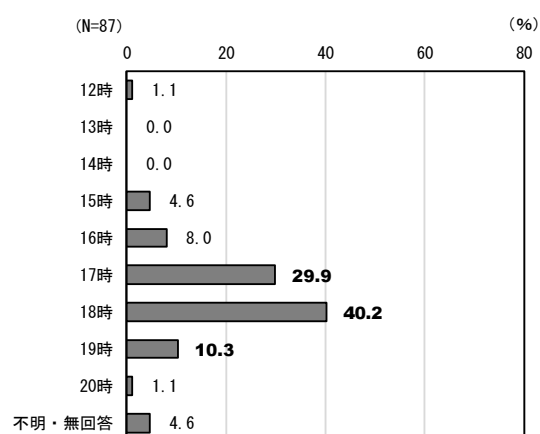
長期休暇中の希望する開始時間では、「8時」が59.8%と最も多く、次いで「7時」が19.5%、「9時」が13.8%となっています。

長期休暇中の希望する終了時間では、「18時」が40.2%と最も多く、次いで「17時」が29.9%、「19時」が10.3%となっています。

<長期休暇中／希望開始時間>



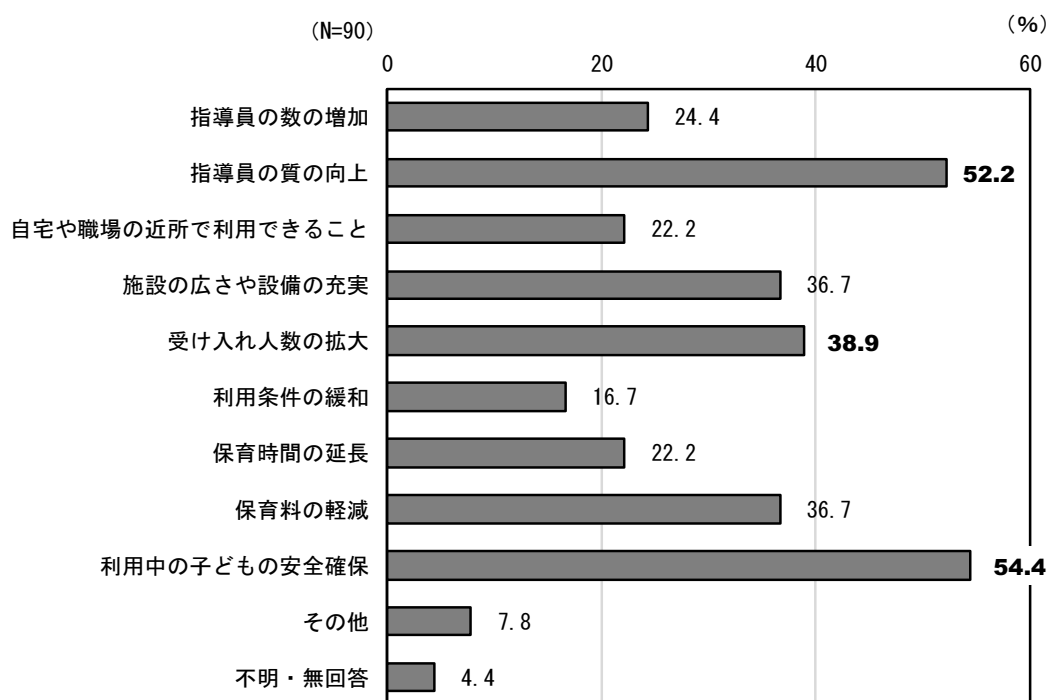
<長期休暇中／希望終了時間>



問17の(1)または(2)で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた人への質問

問18-1 放課後児童クラブに希望することは何か。(○はいくつでも)

「利用中の子どもの安全確保」が54.4%と最も多く、次いで「指導員の質の向上」が52.2%、「受け入れ人数の拡大」が38.9%となっています。

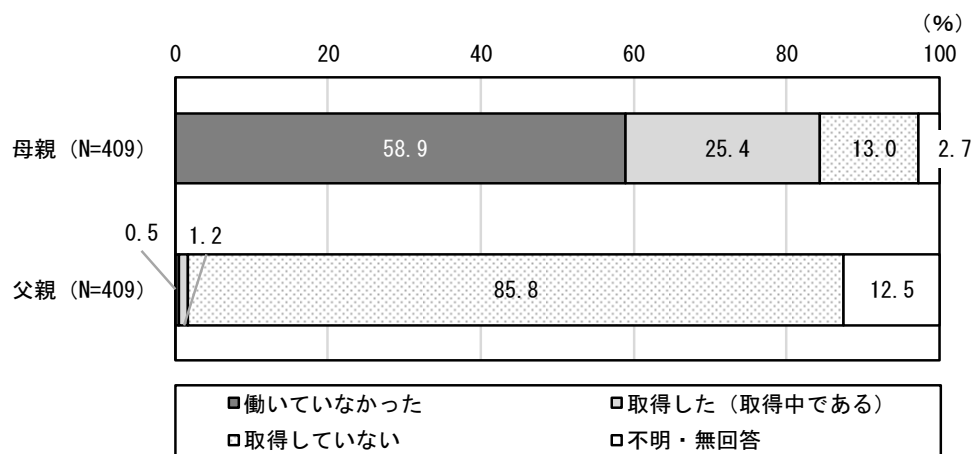


4. 職場の両立支援制度について

問 19 子どもが生まれた時の育児休業取得の有無。(それぞれ1つに○)

母親では、「働いていなかった」が58.9%と最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が25.4%、「取得していない」が13.0%となっています。

父親では、「取得していない」が85.8%と最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が12.5%、「働いていなかった」が0.5%となっています。

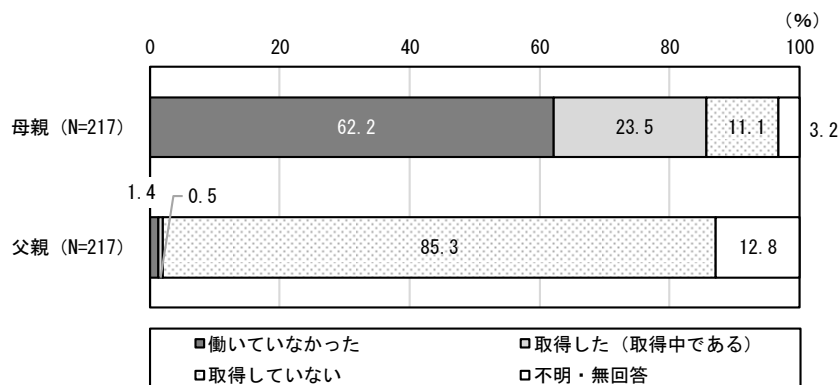


【前回調査との比較】

前回の調査との比較でみると、母親では、「働いていなかった」が3.3ポイント減、「取得した(取得中である)」が1.9ポイント増、「取得していない」が1.9ポイント増となっています。

父親では、「働いていなかった」が0.9ポイント減、「取得した(取得中である)」が0.7ポイント増、「取得していない」が0.5ポイント増となっています。

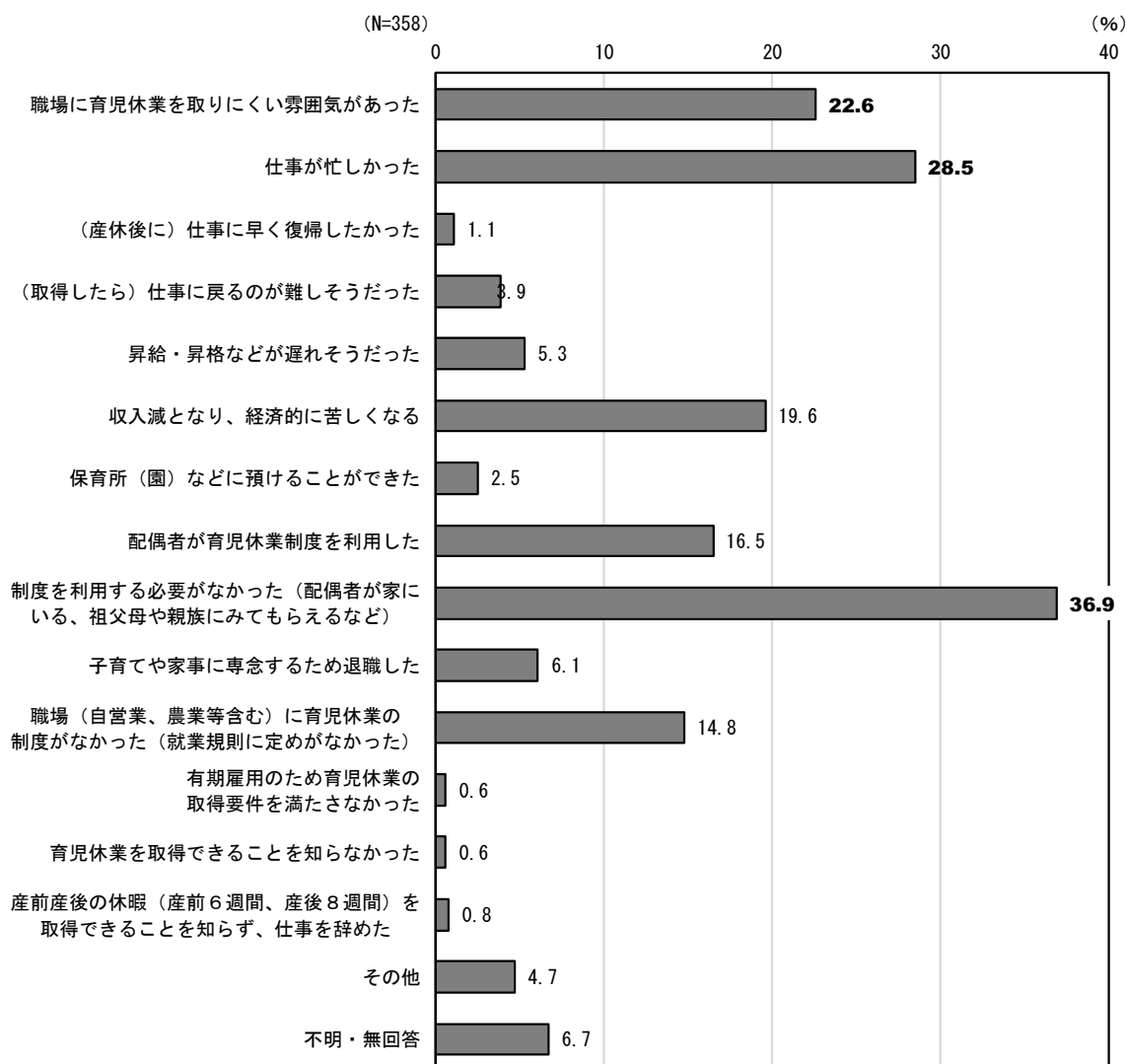
前回調査の結果



問 19 で「3. 取得していない」に○をつけた人への質問

問 19-1 育児休業を取得しなかった理由。(○はいくつでも)

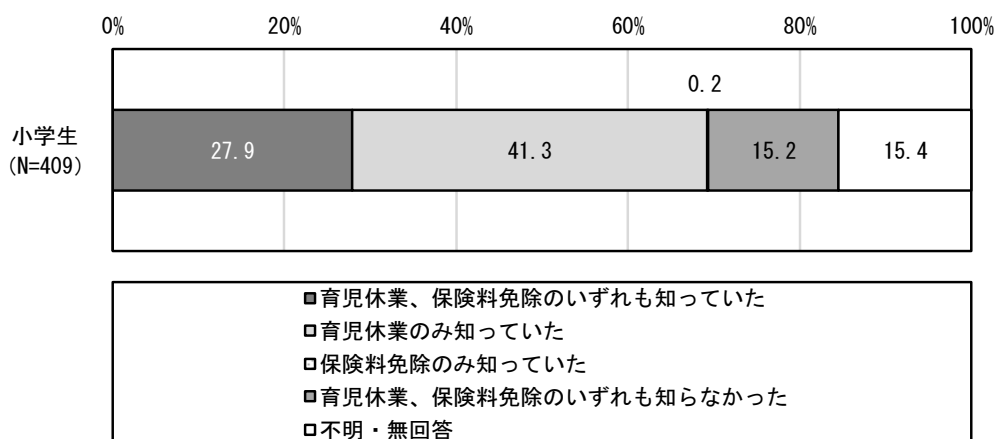
「制度を利用する必要がなかった(配偶者が家にいる、祖父母や親族にみてもらえるなど)」が 36.9%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が 28.5%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 22.6%となっています。



問 19-2 育児休業や保険料免除の制度を知っているか。(1つに○)

「育児休業のみ知っていた」が41.3%と最も多く、次いで「育児休業、保険料免除のいずれも知っていた」が27.9%、「育児休業、保険料免除のいずれも知らなかった」が15.2%となっています。

※育児休業：子どもが1歳（一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで休業できる制度。
 ※保険料免除：子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間は、健康保険や厚生年金保険の保険料が免除になる制度。

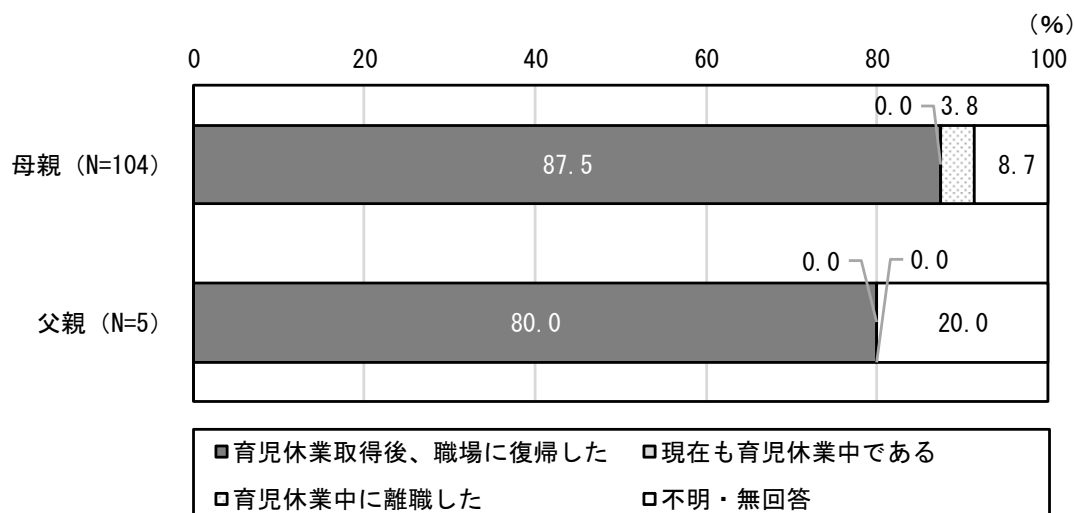


問 19 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた人への質問

問 19-3 育児休業取得後、職場に復帰したか。(それぞれ1つに○)

母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が87.5%と最も多く、次いで「育児休業中に離職した」が3.8%となっています。「現在も育児休業中である」と答えた人はいませんでした。

父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が80.0%と最も多くなっています。「育児休業中に離職した」と「現在も育児休業中である」と答えた人は、ともにいませんでした。

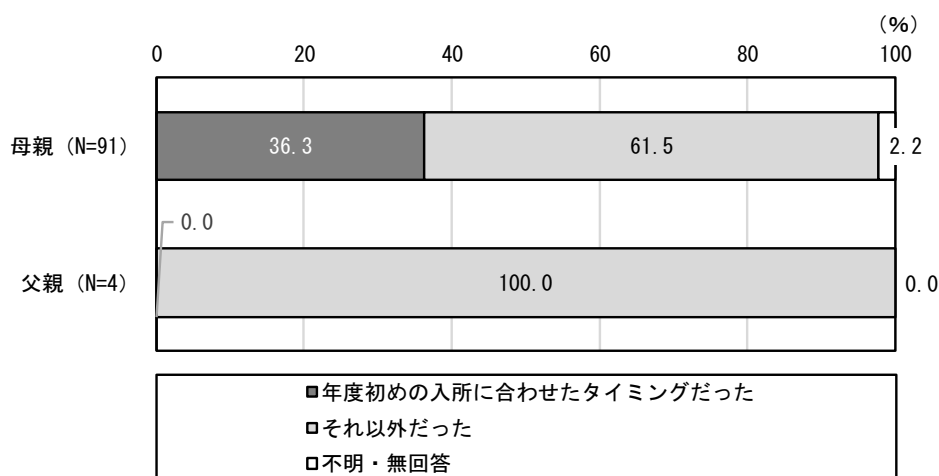


問 19-3 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた人への質問

問 19-4 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだったか、それ以外だったか。(それぞれ1つに○)

母親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が36.3%、「それ以外だった」が61.5%となっています。

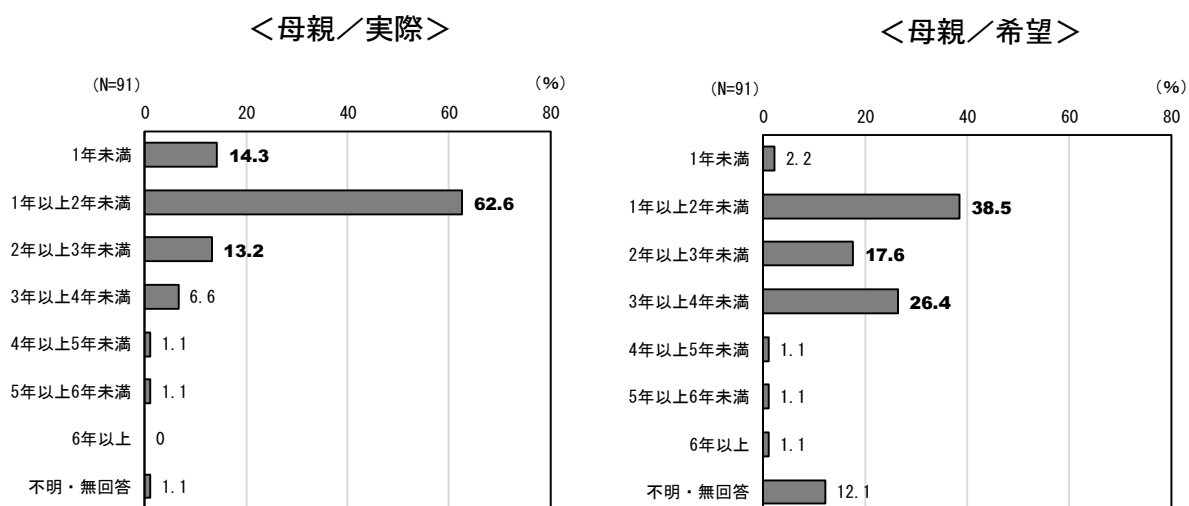
父親では、「それ以外だった」が100.0%となっています。(N数が4人と少数であることに注意)



問 19-5 育児休業の取得期間（実際）と、取得したかった期間（希望）。
(数字で記入)

母親の取得期間（実際）では、「1年以上2年未満」が62.6%と最も多く、次いで「1年未満」が14.3%、「2年以上3年未満」が13.2%となっています。

母親の取得期間（希望）では、「1年以上2年未満」が38.5%と最も多く、次いで「3年以上4年未満」が26.4%、「2年以上3年未満」が17.6%となっています。



父親の取得期間（実際）では、「1年未満」が1人となっています。

父親の取得期間（希望）では、有効回答がありませんでした。（N数が4人と少数のため、構成比（％）ではなく、人数で分析）

<父親／実際>

期間	人数（人） (N=4)
1年未満	1
1年以上2年未満	0
2年以上3年未満	0
3年以上4年未満	0
4年以上5年未満	0
5年以上6年未満	0
6年以上	0
不明・無回答	3

※N数が4人のため、人数で分析

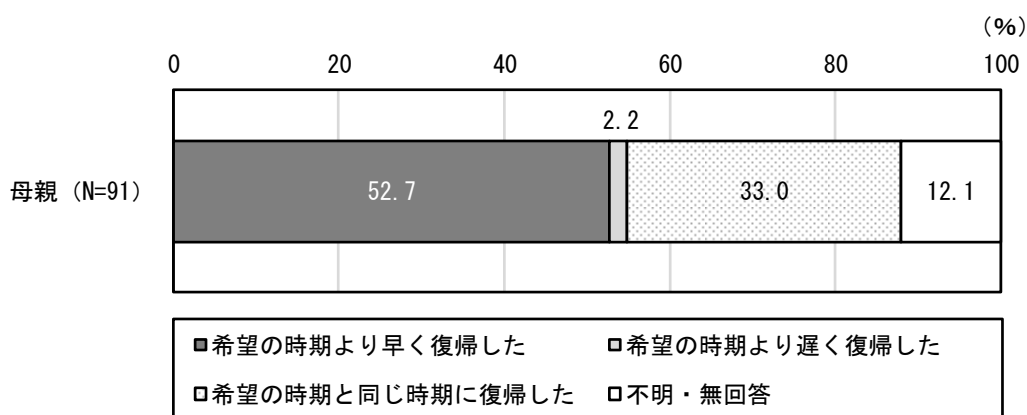
<父親／希望>

期間	人数（人） (N=4)
1年未満	0
1年以上2年未満	0
2年以上3年未満	0
3年以上4年未満	0
4年以上5年未満	0
5年以上6年未満	0
6年以上	0
不明・無回答	4

※N数が4人のため、人数で分析

実際の職場復帰時期と希望の復帰時期の相違では、母親は「希望の時期より早く復帰した」が52.7%と最も多く、次いで「希望の時期と同じ時期に復帰した」が33.0%、「希望の時期より遅く復帰した」が2.2%となっています。

父親は、有効回答がありませんでした。



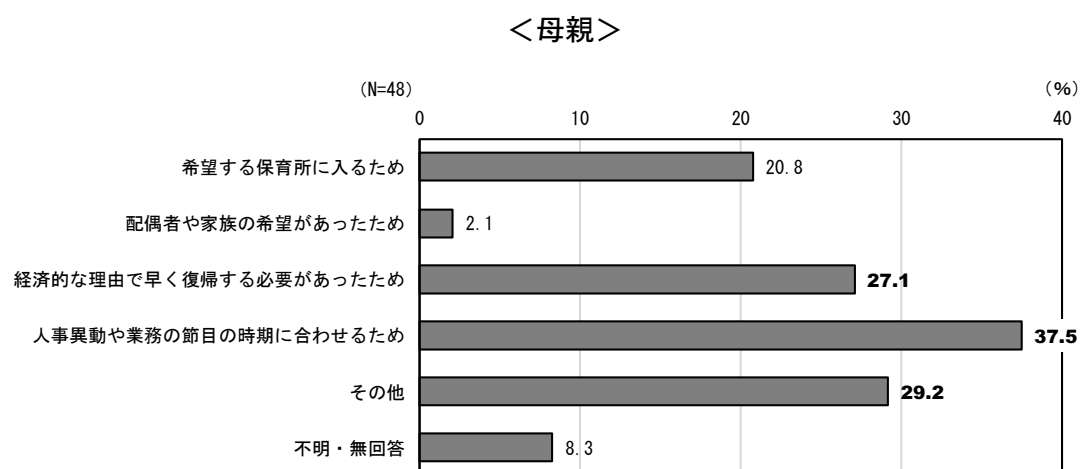
問 19-5 で実際の復帰時期と希望の復帰時期が異なる人への質問

問 19-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由。(〇はいくつでも)

●希望より早く復帰した人の理由

母親では、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が37.5%と最も多く、次いで「その他」が29.2%、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が27.1%となっています。

父親では、分析対象者がいませんでした。



— 「その他」の回答（主なもの） —

職場の制度で育児休業が1年しかとれないから（6件）／会社の要請があったため（2件）／会社に育児休業の制度がなかったため／昇給・昇格が気になったため／長期間休むことに不安があったため／職場の人数が少なく、仕事がまわらないため／仕事が気分転換になるから／仕事をやめた

●希望より遅く復帰した人の理由

母親では、「希望する保育所に入れなかったため」と「その他」がともに1人となっています。(N数が2人と少数のため、構成比(%)ではなく、人数で分析)

父親では、分析対象者がいませんでした。

<母親>

理由	人数(人) (N=2)
希望する保育所に入れなかったため	1
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	0
配偶者や家族の希望があったため	0
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0
子どもをみてる人がいなかったため	0
その他	1
不明・無回答	0

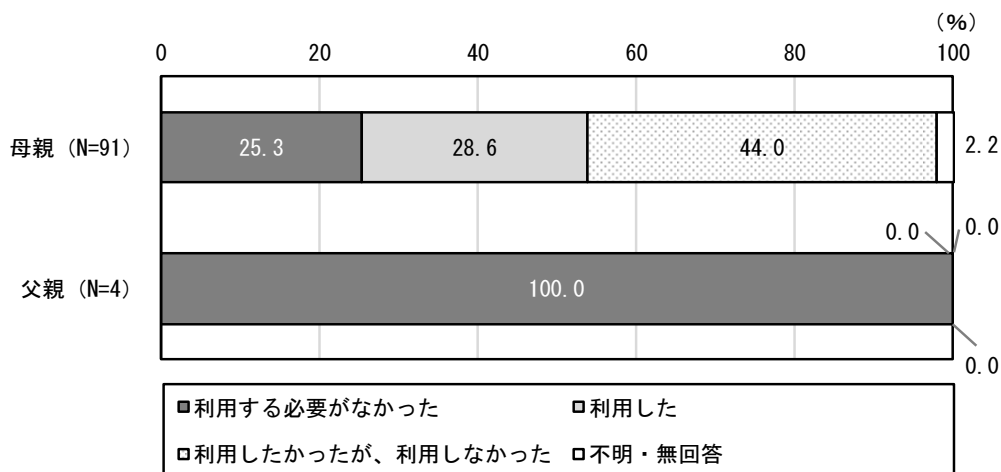
※N数が少ないため、人数で分析

問 19-3 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた人への質問

問 19-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用したか。
(1つに○)

母親では、「利用したかったが、利用しなかった」が44.0%と最も多く、次いで「利用した」が28.6%、「利用する必要がなかった」が25.3%となっています。

父親では、「利用する必要がなかった」が100.0%となっています。(N数が4人と少数であることに注意)

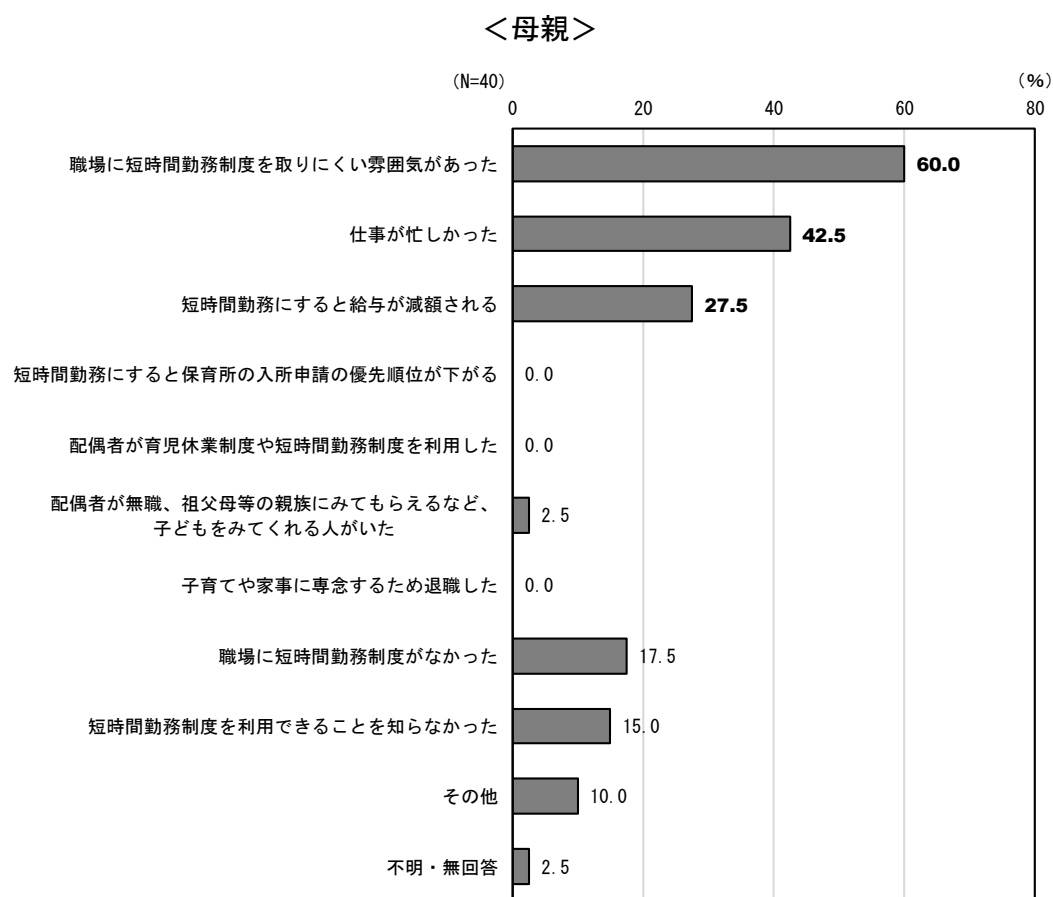


問 19-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった」に○をつけた人への質問

問 19-8 利用しなかった（利用できなかった）理由。（○はいくつでも）

母親では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が60.0%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が42.5%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が27.5%となっています。

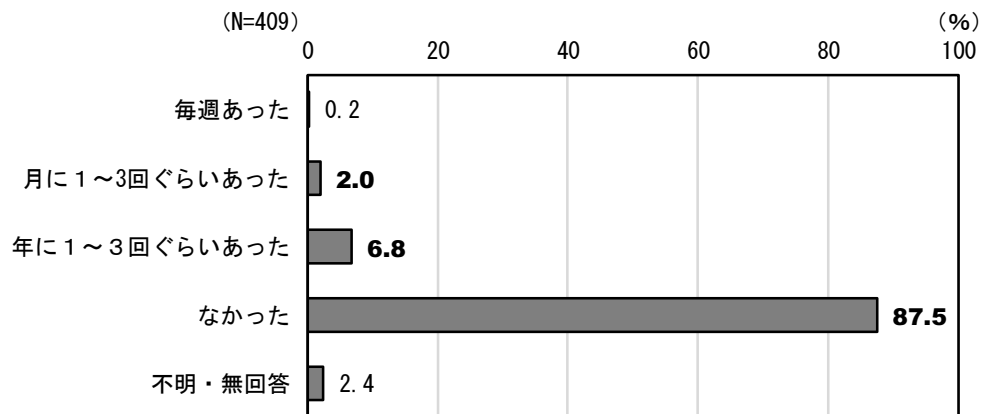
父親では、分析対象者がいませんでした。



5. 子どもの生活について

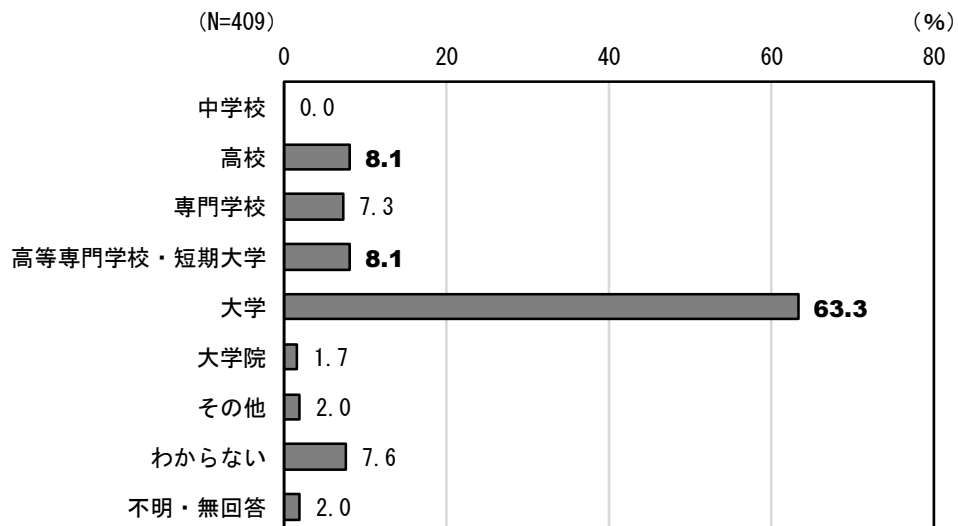
問 20 過去1年間に、お金がなくて家族が必要とする食料や衣服が買えないことがあったか。(1つに○)

「なかった」が87.5%と最も多く、次いで「年に1～3回ぐらいあった」が6.8%、「月に1～3回ぐらいあった」が2.0%となっています。



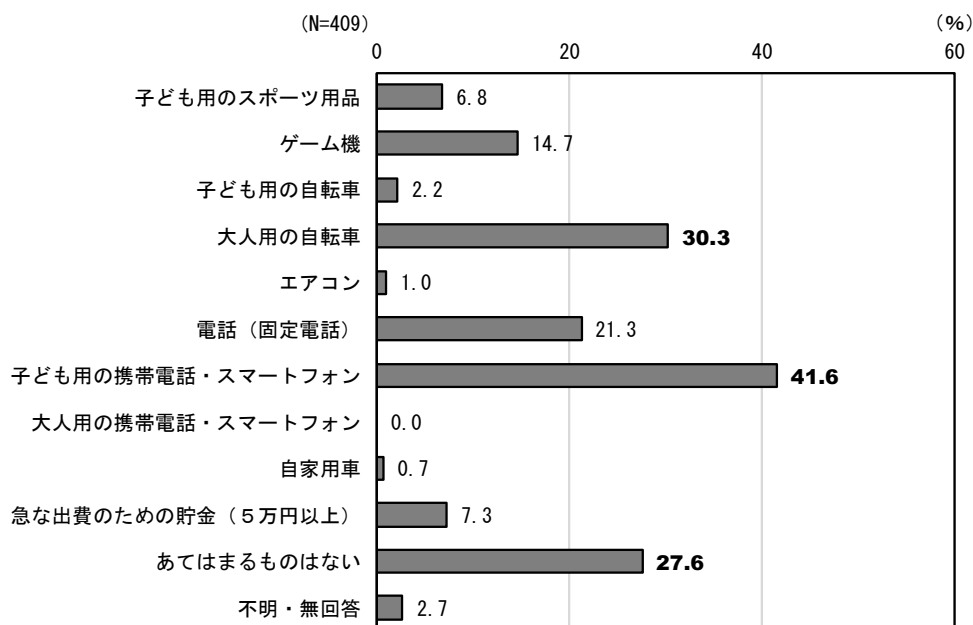
問 21 子どもに、最終学歴としてどのくらいまで学ばせたいか。(1つに○)

「大学」が63.3%と最も多く、次いで「高校」と「高等専門学校・短期大学」がともに8.1%となっています。



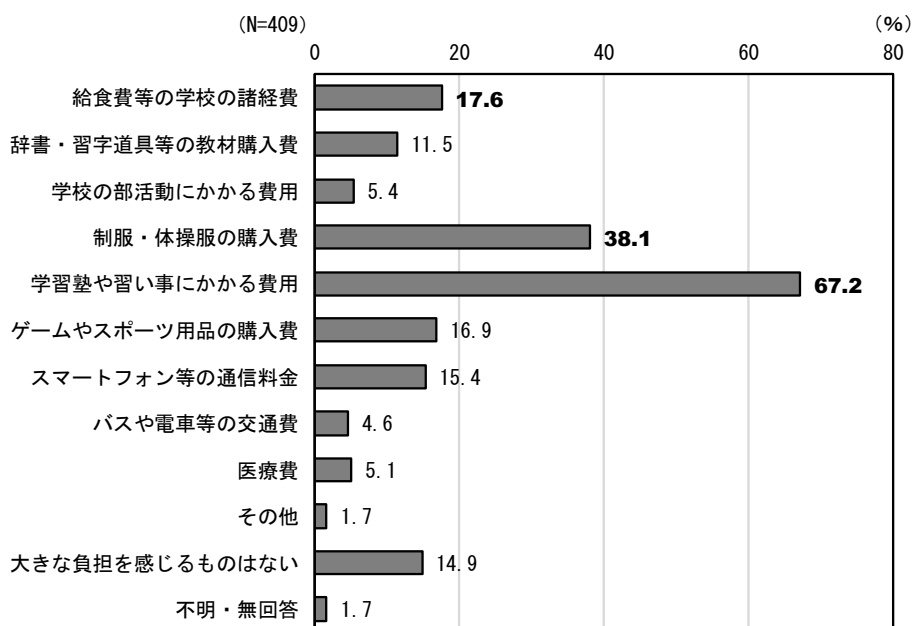
問 22 家庭にないもの。(〇はいくつでも)

「子ども用の携帯電話・スマートフォン」が41.6%と最も多く、次いで「大人用の自転車」が30.3%、「あてはまるものはない」が27.6%となっています。



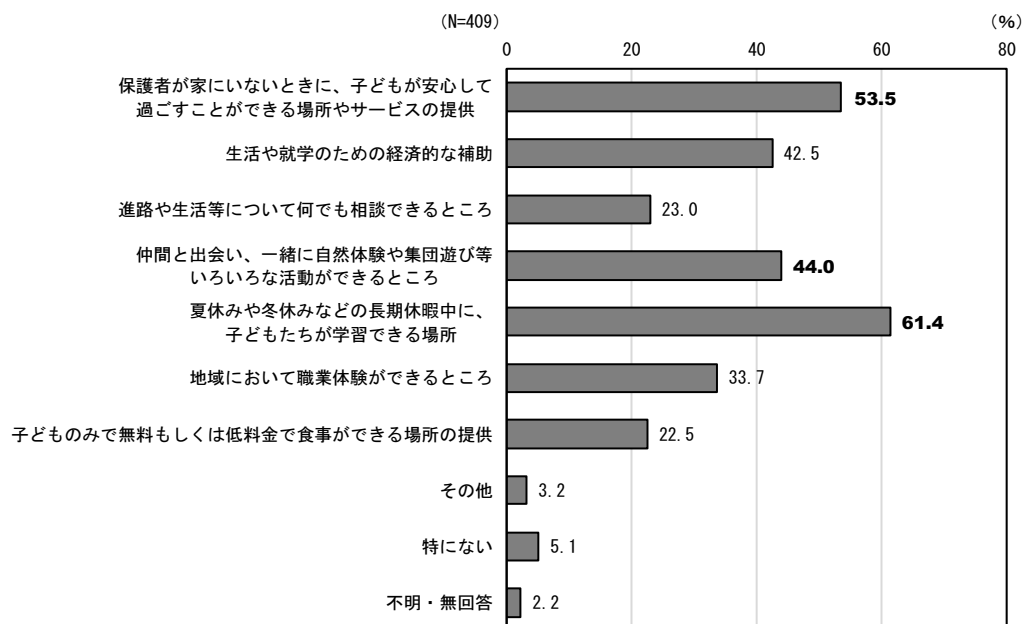
問 23 子どもにかかる費用のうち、経済的に負担が大きいと感じるものは何か。(〇はいくつでも)

「学習塾や習い事にかかる費用」が67.2%と最も多く、次いで「制服・体操服の購入費」が38.1%、「給食費等の学校の諸経費」が17.6%となっています。



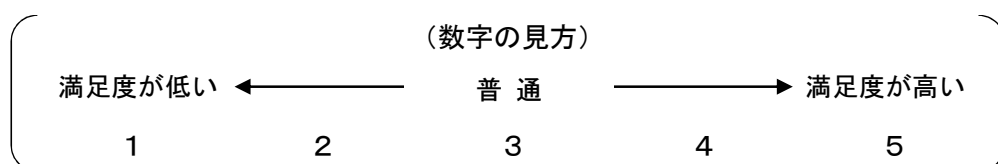
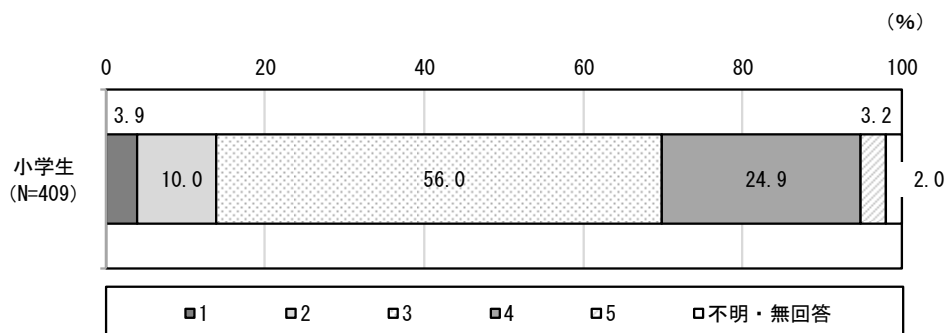
問 24 現在または将来的に、次のような支援があったら利用したいと思うか。
(○はいくつでも)

「夏休みや冬休みなどの長期休暇中に、子どもたちが学習できる場所」が61.4%と最も多く、次いで「保護者が家にいないときに、子どもが安心して過ごすことができる場所やサービスの提供」が53.5%、「仲間と出会い、一緒に自然体験や集団遊び等いろいろな活動ができるところ」が44.0%となっています。



問 25 紀の川市の子育ての環境や支援制度への満足度（5段階評価）。
(1つに○)

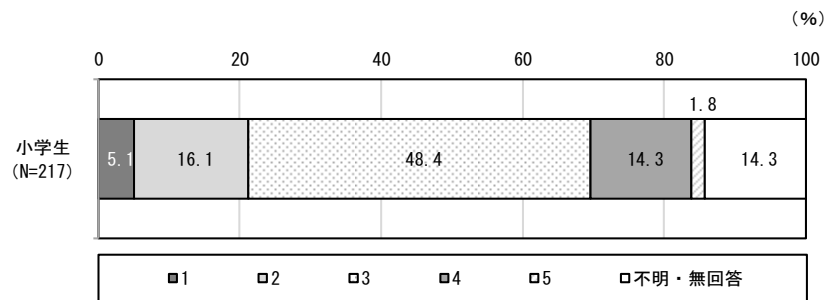
「(満足度) 3」が56.0%と最も多く、次いで「4」が24.9%、「2」が10.0%となっています。



【前回調査との比較】

前回の調査との比較でみると、「1」が1.2ポイント減、「2」が6.1ポイント減、「3」が7.6ポイント増、「4」が10.6ポイント増、「5」が1.4ポイント増となっています。

前回調査の結果



紀の川市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
結果報告書

平成 31 年 3 月

発行：紀の川市 編集：こども課
〒649-6492 和歌山県紀の川市西大井 338
TEL：0736-77-2511（代表） FAX：0736-79-3926